

特65
793

和田盛慈著

和音 日用大辞典

東京 日用書房發行

明治
45. 7. 3
丙寅

ソセスシサコケクキカオエウイア

四三三二二一
四〇〇三七八四三二
四〇〇三七八四三二

ホヘフヒハノネヌニナトテツチタ

五五五五四四四四四四
五三三三三三三三三三
五三三三三三三三三三

ワロレルリラヨユヤモメムミマ

六六六六六六六六六六
六三三三三三三三三三
六三三三三三三三三三

よかわおるぬりちとへほにはるい

三三三三三三三三三三
三〇〇三三三三三三三
三〇〇三三三三三三三

ふけまやくのうむらなれつそれた

五五五五五五五五五五
五三三三三三三三三三
五三三三三三三三三三

すせもひしみめゆきさあてえこ

三三三三三三三三三三
三〇〇三三三三三三三
三〇〇三三三三三三三

(五十音索引)

(いろは索引)

附録

一……四

(エト30/100)

家嚴古稀の記念として
此書を其の膝下に捧ぐ

音引日用大辭典自序

忘れも難き明治三十七年、日露大戦役の酬なる時、「教育の事は軍國多事の際に在りと雖も之を忽にすべからず」と宣ひし 聖勅を奉し、余は文筆もて聊か國家に貢資する所あらんとて、弘文館主の請を容れ、音引日用辭典の編輯に従ひ、戦役の終局を告ぐる頃上梓して之を公にせり。爾後わが國に倣うて類書の續出するもの、拾數に止らず、甚しきは全然本書を模作して出せる者さへあるに至れり。されど本書の輕便精確にして、妄りに射利を事とせざるが爲めか、専ら世の殊寵を蒙ること、宛ら凱旋將士の各地に優待せらるゝの概あり、改版又改版、瞬時にして發行高七萬の多きに達し、類書中の先登たるのみならず、又覇者の地歩を占め得たるは、實に望外の大歡喜にして余の本懐眞に空しからず、深く感謝に堪へざる所なり。越えて四拾二年晩春、館主余に請ふらく、日用辭典や幸にして販路全國に及ばざるなきの盛況を見たるは弊館の光榮之に過ぎず、されば大方の翹望に聽き、蹶然出費を吝まず、大に増補訂正して、幾多眷顧の厚誼に酬いんとす。先生冀くは、一臂の勞を添へ給へと。

余乃ち欣然として曰く諾と。然れども公私多忙、繫縛頻々、荏苒又荏苒 館主督促更に督促、漸く

四拾四年の夏其の業を卒へ、直にに剗胸付し、今や全く成るに至りぬ。其の歳月を閲する實に四年、即ち名けて日用大辭典と稱す。

夫れ日露戦役は國民の腦裏に印象せられたる千古不滅の大快心事、其れと時を同うして生れ出でたる本書も亦永遠に江湖机上の伴侶たるを得ば著者の光榮と快心之に過ぎざるべし。若夫れ本書の内容形式については自ら誇るの愚を學ばず、一緋以て之を批判せられよ。終に臨み、弘文館員林讓君等が、本書上刊に關し、滿腔の熱血を濺かれし忠誠は、大いに嘉すべき所なり。即ち編輯の經過を叙して序文に代ふ。

明治四拾五年端午の節

東都礪川の寓にて 和田盛慈識す

例言

一 本書は、現今行はるゝ普通語を編纂し、文字の備忘に資せんとするものなり。

一 各語の意義は、勉めて簡單に之を附せり。されど語によりては、註釋を施し反て煩雜を來すが如きものなしとせず。それ等は其の用例を示し、若くは同意語を以て註解に代へたり。

一 各語の配列順序は五拾音順に従ひ、「一」は「イ」の前、促音「ッ」はツの次、濁音・半濁音は清音の次、「ン」は「マ」の次としたり。試みに理機の順序を示せば、

ア、アー、アイ……アシ、アヅ……アツ、アッ……アハ、アバ、アパ……アワ、アン、

一 各語を検索するには、書名の示す如く、總て發音通りの假字によるべし。

例之、愛嬌(あいけう)、愛郷(あいきやう)はいづれも「アイキョー」、許嫁(いひなづけ)は「イイナズケ」、笑顔(えがほ)は「エガオ」思(おもふ)は「オモウ」、官員(くわんぬん)は「カンイン」、道樂(だうらく)は「ドーラク」としたるが如し。但し其の歴史的假字遣と異なる分には(連勝)の如く漢字の右側に之を併記し置けり。なほ特に注意すべきものを左に示さん、
イ(い、ぬ) エ(え、ゑ) オ(お、を) カ(か、くわ) シ(じ、ぢ) ズ(ず、づ)。此他附録の字音假

字遣表を参照すべし。

一本書には、四十有餘頁の多きに亘る附録を設け、府縣郡區名、音韻、動詞形容詞助動詞の活用表、並に國語假字遣、字音假字遣に關して簡明に之を表解し、以て益書名に背かざらんことを期したり。

例言終

音目用大辞典

「あ」

ア	ア	アイカイ	アイサツ
ア	ア	アイガン	アイシ
ア	ア	アイキョー	アイジ
ア	ア	アイキョー	アイジャク
ア	ア	アイクチ	アイジュツ
ア	ア	アイケイ	アイショ
ア	ア	アイコ	アイショ
ア	ア	アイゴ	アイジョ
ア	ア	アイコク	アイズ
ア	ア	アイコトバ	アイズ
ア	ア	相生(ーの松)	挨拶(答へ、あしら)
ア	ア	愛玩(愛してもあ)	愛子(かはゆい子)
ア	ア	愛嬌(愛相)	愛兒(愛子)
ア	ア	愛郷(ー心)	愛着(愛におぼれる)
ア	ア	七首(短刀)	哀恤(あはれみめぐ)
ア	ア	愛敬(愛しうやまふ)	哀傷(かなしみい)
ア	ア	愛願(ひいき)	相性(性のおふこと)
ア	ア	愛護(愛しまもる)	愛情(愛する心)
ア	ア	愛國(くにを愛する)	合圖(信號)
ア	ア	合言(暗號)	會津(地名)

アイズ

アイスクリム	氷漿(氷菓子)	アイニク	生憎(なりあしく)	アイレン	愛憐(あはれむこと)
アイセキ	愛惜(なしむこと)	アイノテ	間手(三味のー)	アイロ	文色(あやいろの略)
アイソ	哀訴(歎願)	アイノリ	相乗(ー車)	アエグ	喘(いきせく)
アイソ	愛想(あいそ)	アイバ	愛馬(愛するうま)	アエテ	敢(肯)
アイゾ	愛憎(愛すると憎む)	アイブ	愛撫(愛しなづること)	アエモノ	藥物(和物)
アイソ	愛孫(かはゆいまこ)	アイフク	間服(冬と夏との間)	アエン	亞鉛(金屬の名)
アイタイ	愛難(たなびく)	アイベツ	哀別(別れをかなしむこと)	アオイ	葵(草の名)
アイタイ	相對(向合)	アイボ	愛慕(をしましたふこと)	アオイ	青蘭(青いぬ)
アイタガイ	相互(おたがひ)	アイボ	相棒(相手)	アオギリ	梧桐(木の名)
アイダカラ	間柄(なからひ)	アイマイ	曖昧(不明白)	アオグ	仰(上向く)
アイツ	彼奴(他人を賤む語)	アイユ	隘勇(臺灣のー)	アオザシ	青緞(さしに貫ける)
アイデシ	相弟子(同門)	アイラク	哀樂(かなしみとたのしみ)	アオズジ	青筋(青きすぢ)

アオズリ	青摺(青色のすり)	アカガネ	銅(金屬の名)	アカネ	茜(草の名)
アオタ	青田(青々したる田)	アカギレ	砥(輝)	アカハゲ	赤禿(毛のなきこと)
アオダイシヨ	黄領蛇(蛇の一種)	アカク	蹴(もがく)	アカハジ	赤耻(大はぢ)
アオニサイ	青二歳(若い者をのしる語)	アカザ	藜(草の名)	アカボ	赤帽(汽車のー)
アオバエ	青蠅(蟲の名)	アカシ	明石(あかいしの略)	アカヒゲ	赤鬚(赤いひげ)
アオバナ	青涕(鼻より出るもの)	アカス	明(かくさすに)	アガメル	崇(あがむ)
アオビヨ	青瓢箪(顔がー)	アカズラ	赤面(赤い顔)	アカラサマ	白々地(明々地)
アオムク	仰(上向く)	アガタヌシ	縣主(姓のー)	アカリ	證(ーが立つ)
アカ	垢(からだより出るもの)	アカツキ	曉(夜明)	アカリ	明光(ーがさす)
アカ	闕伽(仰に供へる水)	アガノウ	贖(購)	アガリダン	昇壇(二階のー)
アカ	洽(船底のー)	アカニシ	辛螺(貝の名)	アガル	揚(舉、騰、上)
アカガイ	赤貝(貝の名)	アカヌケ	垢抜(ーがした人)	アカシボ	赤坊(生れたてのこ)

アキウド	商人(商賈)	アキウ	惡意(わるい心)	アクシユ—	惡習(わるいくせ)
アキカゼ	秋風(あきのかぜ)	アクウシ	惡運(わるいうん)	アクシユ—	惡臭(いやなかなり)
アキス	空巢(—れらひ)	アクエン	惡縁(わるいえん)	アクジユ—	惡獸(わるいけもの)
アキナイ	商業(商賈)	アクギ	惡戯(わるいいたづら)	アクセイ	惡聲(わるいきこえ)
アキマ	明間(人の居らぬ室)	アクギヤク	惡逆(無道)	アクセン	惡戰(はげしいいく)
アキヤ	明屋(人の尾らぬ家)	アクギョ—	惡行(悪き所作)	アクジョ	惡女(わるい女)
アキヨ—	阿嬌(やさしきこと)	アクゴ—	惡業(前世のつみ)	アクソ—	惡僧(わるい坊主)
アキラカ	明(昭)	アクサク	離齋(こせづくこと)	アクソ—	惡相(わるき顔付)
アキラメ	諦(斷念)	アクシ	惡詩(へたな詩)	アクタ	芥(ほこり)
アキレル	惘(あきる)	アクジ	惡事(わるいこと)	アクタイ	惡體(惡口)
アク	灰汁(灰のしる)	アクシツ	惡疾(わるいやまひ)	アクト	惡徒(わるもの)
アク	飽厭(一つばいに なること)	アクシユ	握手(西洋禮式、手 をにぎること)	アクト—	惡黨(わるものなか)

アクド—	惡道(わるいみち)	アクミョ—	惡名(わるい名)	アゲシオ	上潮(さしほ)
アクニン	惡人(わるいひと)	アグム	倦勞(つかれうむ)	アケタテ	開閉(開鎖)
アクネン	惡念(わるき心)	アクユ—	惡友(わるい友だち)	アゲツロ—	論(議論する)
アクバ	惡馬(わるいうま)	アグラ	跌座(箕踞、足を組 みてすわると)	アケビ	荀子(植物の名)
アクバ	惡婆(わるいば)	アクリョ—	惡靈(鬼崇)	アケボノ	曙(夜明)
アクビ	欠伸(退屈の時出る いき)	アケ	朱(赤)	アゲマキ	總角(小兒の髪 <small>の結</small>)
アクヒツ	惡筆(わるいふで)	アゲアシ	舉足(—をとる)	アゲマキ	揚卷(束髪 <small>の一種</small>)
アクヒョ—	惡評(わるいひや うばん)	アゲアブラ	煎油(あげもの <small>につ</small>)	アゲマク	揚幕(能の—)
アクビョ—	惡病(わるい病氣)	アケガタ	明方(未明、早天)	アゲル	上(揚、舉)
アクフウ	惡風(わるい風俗)	アゲク	舉句(の句名より起 る)	アゴ	頤(顎、おとがひ)
アクヘイ	惡弊(わるいくせ)	アケクレ	明暮(常々)	アコオ	赤穂(地名)
アクマ	惡魔(わるい神)	アゲサゲ	上下(抑揚)	アコガレル	憧(—憬)

アザ	痣 (顔にーがある)	アザナウ	糾 (よりからむ)	アサル	漁 (さぐり求める)
アサオキ	朝起 (あさはやく起 きること)	アサネ	朝寝 (ー坊)	アザワライ	嘲笑 (げなし笑ふ)
アサウラ	麻裏 (ー草履)	アサハカ	淺墓 (淺淵)	アシ	悪 (わるい)
アサガホ	牽牛花 (朝顔、草の 名)	アサヒ	朝日 (旭)	アシ	足 (脚)
アサガレイ	朝飯 (天皇の)	アサボラケ	朝朗 (朝はやく)	アシ	葦 (草の名)
アサギ	淺葱 (色の一 種)	アサマシ	淺 (ーい心)	アジ	鱈 (魚の名)
アサクサ	淺草 (ー海苔)	アザミ	薊 (草の名)	アジ	味 (風味)
アザケル	嘲 (そしりわらふ)	アサムク	欺 (瞞、だます)	アシカ	簀 (農具の名)
アサジ	淺茅 (ーが原)	アザヤカ	鮮 (鮮明)	アシカ	海獺 (海獣の名)
アサズケ	淺漬 (漬物の一 種)	アサユ	朝夕 (あさばん)	アシガセ	足枷 (罪人の足には)
アサツテ	明後日 (あすの次の 日)	アザラシ	海豹 (海獣の名)	アジキナシ	無味 (面白く無し)
アザナ	字 (別の名)	アサリ	蛤蜊 (貝の名)	アジサイ	紫陽花 (木の名)

アシズリ	蹠 (一趾)	アシラウ	待遇 (もてなす)	アスワフル	土濼背 (ーをし いた路)
アシゾロエ	足揃 (馬のー)	アジロ	足代 (あししろ)	アズマジ	東路 (東國)
アシタ	明日 (あす)	アジロ	網代 (ー車)	アズマヤ	東屋 (小亭)
アシタ	旦 (晨、あさ)	アジワイ	味 (舌の感)	アゼ	畔 (田の)
アシダ	足駄 (下駄の一 種)	アス	明日 (みやうにち)	アセイ	阿世 (曲學ー)
アシテマト	足手纏 (係累)	アズカル	關 (興、かゝはる)	アセジム	汗染 (汗にてぬれる)
イ	塞 (壁)	アズカル	預 (品物を)	アセル	急 (魚)
アシナエ	足拍子 (足で地なた)	アズキ	小豆 (穀物の名)	アソバス	遊 (あそびせる又 は敬語 でいある)
アシビョー	足踏 (足でふむ)	アズケル	預 (あづく)	アソブ	遊 (あそびせる又 は敬語 でいある)
アシヤリ	阿闍梨 (僧官の名)	アスコ	彼所 (かしこ)	アソソ	朝臣 (あさおみの略)
アシユラ	阿修羅 (ーの如 く怒る)	アズサ	梓 (木の名)	アダ	寇 (敵、仇)
アシヨワ	足弱 (足がよわい)	アズチ	塙 (射塚)	アダ	徒 (無益)

アダ	阿娜(たなやか)	アタリ	邊(此の—)	アッサリ	淡泊(たんぱく)
アタイ	假(値) あたひ	アタリマエ	當前(當然) まへ	アツシ	熱(暑)
アタエ	直(かばねの名) あたへ	アタル	當(中)	アツシ	厚(うすくなし)
アタエル	興(あたふ)	アチラ	彼方(彼地) あつかふ	アツシ	篤(病が—)
アタカモ	恰(宛)	アツカウ	扱(處置)	アツシ	歴死(おさへつけら れて死ぬると)
アタゴ	愛宕(—の山)	アツカン	熱爛(あつい酒)	アツシ	遏止(ふせぎとめる)
アタタカ	暖(暖和)	アツカン	惡漢(わるもの)	アツセイ	歴制(おさへつける)
アタタメル	煖(温、あたゝむ)	アツカン	歴卷(文などの上作) くわん	アツセン	斡旋(世話する)
アタマ	天窓(頭顱)	アツギ	厚着(着物を多くき)	アットー	歴倒(おしたふすこ)
アタマワリ	頭割(分頭)	アツキ	惡鬼(わるいおに)	アツパク	歴道(おさへこむこ)
アタラ	可惜(なしむべきこ)	アツケ	呆氣(瞠若)	アツパレ	天晴(適)
アタラシ	新(—い本)	アツコー	惡口(わるくち)	アツプク	歴伏(おさへつける)

アツブサ	厚總(馬具の名)	アト	痕(痕跡)	アナガチ	強(しひて)
アツマル	集(聚)	アトー	能(なしえらる)	アナゴ	穴子(魚の名)
アツメル	集(聚、輯、纂)	アトー	興(くれてやるこ)	アナドル	倭(慢)
アツモノ	羹(吸物)	アトオサエ	後押(後殿)	アナナス	鳳梨(植物の名)
アツラエ	誂(こしらへるこ)	アトジマイ	跡仕舞(結末をつけ ること)	アニウエ	兄上(兄の尊稱)
アテ	宛(一名)	アトスザリ	逡巡(しゆんじゆん)	アニハカラ ンヤ	豈圖(思ひがけなし)
アテガウ	宛行(興、充、試合)	アトゾナエ	後備(後軍)	アニヨメ	嫂(兄の妻)
アテコスリ	諷詆(諷刺) ふうし	アトツギ	嗣子(相續人)	アネ	姉(ねえさん)
アテコム	當込(休日な—)	アトトリ	跡取(—むすこ)	アノヨ	來世(後生)
アテル	當(あつ)	アトボー	後棒(うしろなかく)	アバク	汗(摘發)
アト	跡(蹟、迹、蹤)	アトマワシ	後廻(繰延)	アバタ	痘痕(菊石)
アト	墟(故墟)	アナ	穴(孔)	アバラ	肋骨(骨の名)

アバラヤ	荒屋(あれた家)	アブラミ	脂肉(牛肉の—)	アマオーイ	雨覆 <small>おほひ</small> (かぶせもの)
アバレル	暴(亂暴する)	アブラムシ	油蟲(蛭)	アマガサ	雨傘 <small>さ</small> (雨に川あるか)
アヒル	鶯(鳥の名)	アフル	煽(扇などにて)	アマカス	甘粕(酒の糟)
アビル	浴(あぶ)	アブル	焙炙(火にて)	アマギ	雨着 <small>の</small> (雨の時きるも)
アブ	蕨(蟲の名)	アフレル	溢(あふる)	アマクダル	天降(天より下る)
アブナシ	危(あやふし)	アベコベ	反對(はんたい)	アマゴイ	雨乞 <small>こひ</small> (祈雨)
アブミ	鐙(馬具の名)	アヘン	鴉片(喫烟の一種)	アマザケ	醴(甘酒)
アブラ	油(脂、膩)	アホー	阿房 <small>あほう</small> (愚)	アマタ	數多(無數)
アブラエ	油繪(洋畫の一種)	アホードリ	信天翁 <small>あほう</small> (鳥の名)	アマダイ	甘鯛 <small>あまだい</small> (魚の名)
アブラカス	油糟(しめかす)	アマ	尼(女僧)	アマダレ	霈 <small>あまら</small> (雨滴)
アブラサシ	油注(油を入れる器)	アマ	海人(蟹)	アマツサエ	剩 <small>あまつさへ</small> (其上に)
アブラナ	油菜(植物の名)	アマ	亞麻 <small>あま</small> (物の名、植)	アマツヒツ	天日嗣(天皇の御位)

アマナット	甘納豆 <small>あまな</small> (菓子の名)	アミダ	阿彌陀(—佛)	アヤウシ	危(危険)
アマニ	甘蔗(あまくにる)	アム	編 <small>あみ</small> (くみあはす)	アヤカシ	妖怪(ばけもの)
アマノガワ	天河 <small>あまの</small> (銀河)	アメ	天(てん)	アヤカル	宵 <small>あや</small> (による)
アマノリ	甘海苔(あまさのり)	アメ	雨(—が降る)	アヤシ	怪 <small>あやし</small> (不思議)
アマミ	甘味(あまいあぢ)	アメイ	蛙鳴 <small>あめい</small> (かへるのなく)	アヤシム	怪 <small>あやしむ</small> (ふしぎに思ふ)
アマモヨ	雨模樣 <small>あま</small> (雨の模樣)	アメノウオ	鯢 <small>あめのうお</small> (魚の名)	アヤマチ	過 <small>あやまち</small> (失錯)
アマモリ	雨漏(雨のもるこ)	アメンボ	水澄 <small>あめんぼ</small> (蟲の名)	アヤツル	操 <small>あやつる</small> (人形を—)
アマリ	餘(剩餘)	アメンボ	餉棒 <small>あめんぼ</small> (菓子の名)	アヤナス	操 <small>あやなす</small> (客を—)
アマルガム	汞和金(礦物の名)	アモ	阿蒙 <small>あも</small> (愚人)	アヤニク	生憎 <small>あやにく</small> (—他出中)
アマンズ	甘(小成に)	アヤ	文(かざり)	アヤブム	危 <small>あやぶむ</small> (あぶなく思ふ)
アミ	網(器の名)	アヤ	綾 <small>あや</small> (—羅紗)	アヤマル	過 <small>あやまる</small> (誤、謬)
アミガサ	編笠 <small>あみがさ</small> (笠の一種)	アヤ	淡 <small>あや</small> (—織)	アヤメ	黑白 <small>あやめ</small> (くろしろ)

アヤメ	蒼蒲(草の名)	アラカワ	粗皮(手入れせぬ皮)	アラタメル	改(あらたむ、俊)
アユ	阿諛(おしねること)	アラギモ	荒肝(鋭氣)	アラテ	新手(新兵)
アユム	歩行(あるく)	アラギョー	荒行(あらしぎ)	アラト	荒砥(荒きといし)
アライコ	洗粉(薬の名)	アラシ	嵐(つよき風)	アラナワ	荒繩(粗索)
アライハリ	洗張(衣物を—)	アラシ	荒(氣が—)	アラビヤ	亞刺比亞(—数字)
アラウ	洗(濯)	アラシ	粗(きめが—)	アラマシ	大概(たいがい)
アラウマ	暴馬(あばれ馬)	アラジヨタ	新世帯(新しく家を)	アラレ	霰(雪粒の氷つた)
アラウマ	新馬(新しい馬)	アラス	荒(あらしめる)	アラワス	現(顯、著、彰)
アラカベ	粗壁(中塗せぬ壁)	アラソウ	争(競争)	アラワレル	顯(著、あらはる)
アラカジメ	豫(前以て)	アラタカ	灼(あきらか)	アリ	蟻(蟲の名)
アラカタ	荒方(大概)	アラタマ	新玉(新年)	アリ	在(何々に—)
		アラタマル	改(革、更)	アリ	有(無の反對)

アリウチ	右内(—のここと)	アレイ	啞鈴(—操)	アワレム	憐(可愛さうに思)
アリガト	難有(多謝)	アワ	泡(沫)	アン	餽(饑頭などの)
アリガタシ	難有(御志—)	アワイ	問(隙)	アン	庵(いほり)
アリスアマ	右様(状況)	アワシ	淡(あつさり)	アンイツ	安逸(安佚)
アリテイ	右體(實狀)	アワセ	裕(夾衣)	アンカ	安價(やすれ)
アリヤケ	右明(—の月)	アワタダシ	週(愈劇)	アンカ	行火(器具の名)
アリユー	亞流(二の舞)	アワテル	周章(あわづ)	アンカ	案下(つくゑのしと)
アリンサン	亞磷酸(薬品の名)	アワビ	鮑(鮑、貝の名)	アンガ	晏駕(崩御)
アルク	歩(歩行)	アワモチ	粟餅(餅の名)	アンガイ	案外(思の外)
アルジ	主人(亭主)	アワモリ	泡盛(—酒)	アンキ	安危(危急)
アルハベツ	字母(英語の—)	アワヤ	嗟哉(驚きの聲)	アンキ	諍罷(そらで覚える)
アルヘイト	右平糖(菓子の名)	アワレ	哀(憐)	アンギヤ	行脚(旅行)

アング	暗愚(おろか)	アンガン	暗算(心算)	アンシン	安心(心を安めること)
アングウ	行宮(かり御所)	アンザン	安産(やすくとう)	アンズ	杏(菓の名)
アンケン	按驗(しらぶること)	アンザンシ	案山子(かいし)	アンセイ	安靜(やすくしづか)
アンケンサ	暗劊殺(方位上の語)	アンジ	暗示(一を興へる)	アンゼン	安全(たしか)
アンコー	鮫鯨(魚の名)	アンシツ	庵室(いほり)	アンゼンベ	安全瓣(汽罐の—)
アンコー	安康(やすらか)	アンシツ	暗室(くらいへや)	アンソー	暗箱(寫眞器の—)
アンゴ	暗號(一電報)	アンジャク	暗弱(馬鹿でよわい)	アンソク	案側(机のそば)
アンコク	暗黒(まつくら)	アンジユ	菴主(いほりのあ)	アンソク	安息(一一日)
アンコロ	餡轉(一餅)	アンジユ	安住(やすらかに)	アンタイ	安泰(安全)
アンザイ	行在(行宮)	アンシヨ	諳誦(そらよみ)	アンタン	暗憺(物すごきこと)
アンサツ	暗殺(闇討)	アンシヨ	暗確(かくれいは)	アンチ	安置(すゑおくこと)
アンサツ	按察(しらべ見るこ)	アンジヨ	案上(つくゑのうへ)	アンチモニ	安質母尼(礦物の名)

アンチヨク	安直(價のやすい)	アンペラ	安平(行唐)	イ	亥(十二支の一)
アンド	安堵(安心)	アンポー	罷法(療治の一法)	イ	胃(内臓の名)
アント	暗闘(秘密にいさか)	アンボンタ	安本丹(愚物の稱)	イアイ	遺愛(生前に愛した)
アンドン	行燈(道具の名)	アンマ	按摩(おさすり)	イアイ	居合(劍術の一派)
アンナ	彼様(あのやうな)	アンミン	安眠(やすらかにね)	イアケ	帷帳(まく)
アンナイ	案内(導、通知)	アンモン	案文(下巻)	イアン	慰安(なぐさめ安ん)
アンネイ	安寧(やすらか)	アンラク	安樂(たのしくやす)	イイ	善(よいこと)
アンノン	安穩(おだやか)	アンリヨ	安慮(安心)	イイ	訓(いはれ)
アンバイ	鹽梅(按排)			イイ	透迤(連山—たり)
アンビ	安否(機嫌)			イイアイ	言合(口論)
アンブク	按腹(はらをもむ)			イイカケ	言掛(兼詞)
アンブン	按分(一比例)			イイグサ	音種(辭柄)

イイダコ	飯納(納の一種)	イエモト	家元(本家、宗家)	イカイ	位階(くらゐ)
イイツケ	言付(命令)	イエル	癒(病が直る、い)	イガイ	遺骸(なきがら)
イイナズケ	許嫁(親が許した)	イオ	五百(百を五つ)	イガイ	以外(會員—の人)
イイヌケ	云脱(遁辭)	イオ	庵(草ぶきの家)	イガイ	意外(案外)
イイハル	言張(主張)	イオ—	祝(賀)	イカガ	如何(奈何)
イイワケ	言譯(辯解)	イオリ	庵(草の—)	イカキ	篋(籬)
イイワタス	言渡(宣告)	イカ	烏賊(魚の名)	イガク	醫學(—士)
イイン	委員(委任された人)	イカ	以下(已下)	イガグ	毬栗(—あたまた)
イエスジ	家筋(家系)	イカ	風(紙蔭)	イカケ	鑄掛(鍋釜の—)
イエカラ	家柄(門地)	イガ	毛毬(毬蔭)	イカス	活(生)
イエズト	家苞(土産)	イカイ	醫會(醫師の會)	イカズチ	雷(神鳴)
イエヌシ	家主(やぬし)			イカダ	筏(桴)

イガタ	鑄型(鑄物のかた)	イカン	衣冠(装束の名)	イキカエル	生返(蘇生)
イカデ	争(いかにして)	イカン	遺憾(残念)	イキギモ	生肝(—を抜く)
イカバカリ	如何許(どれほど)	イガン	依頼(願ひによつて)	イキジ	意氣地(いち)
イカホ	伊香保(地名)	イガン	胃癌(病の名)	イキズカイ	息遣(呼吸)
イガム	唯(かみあふ)	イキ	位記(位がき)	イキダオレ	行斃(道にて倒れ)
イガム	丕(曲る)	イキ	域(境)	イキドオル	憤(立腹)
イカメシ	殿(おごそか)	イキ	遺棄(すておく)	イキナリ	突然(—けんか)
イカリ	碇(錨)	イキ	意氣(氣だて)	イキマク	敦園(せきこむこと)
イカル	怒(悲、慍、忿、おこる)	イギ	意義(意味)	イキモノ	生物(動物)
イカルカ	班鳩(鳥の名)	イギ	異議(苦條)	イキヨ—	異教(他國の宗旨)
イカン	醫官(海軍—)	イギ	威儀(容姿のいかめ)	イキヨ—	異境(外國)
イカン	尉官(士官)	イキオイ	勢(勢力)	イキヨ—	異郷(他國)

イギョー	醫學(醫者)	イクエ	幾重(ちうく)	イクラ	幾何(どれほど)
イギョー	偉業(大業)	イクカ	幾箇(いくつ)	イクン	偉勳(大功)
イギョー	異形(かばつたなり)	イクサ	軍(戦争)	イクン	遺訓(いひのこしの教へ)
イギョー	遺業(死者の遺せる)	イクジ	意氣地(心のいち)	イケイ	畏敬(おそれうやま)
イギョー	意氣揚揚(ほこりが)	イクジ	育兒(子供をそだつ)	イケガキ	生垣(立木のかき)
イキョク	委曲(委細)	イクタビ	幾度(何たび)	イケス	池禦(生洲)
イギリス	英吉利(英國)	イグチ	兎缺(不具者)	イケドリ	生捕(擒)
イキリョー	生靈(生きてゐる)	イクドーオ	異口同音(皆一緒に)	イケニエ	穢(牲)
イキル	生(いく)	イクバク	幾許(幾何)	イケバナ	插花(活花)
イキン	衣襟(きもの)	イクヘン	幾遍(いくたび)	イケミズ	池水(小湖の水)
イクイ	堰材(川などに立つるもの)	イクヨ	幾世(一經ぬらん)	イケン	違憲(憲法にそむく)
イグイ	居食(徒食)	イクヨ	幾夜(多くの夜)	イケン	異見(ちがつたかん)

イケン	意見(見こみ)	イコウ	息(息)	イサツ	緘殺(しめこるす)
イケン	威權(いきほひ)	イコク	異國(他國)	イザナウ	誘(さそふ)
イケン	遺言(ゆゑごん)	イコツ	遺骨(のこれるほね)	イサミハダ	俠肌(俠客風)
イゴ	圍碁(ごなうつこと)	イコン	遺恨(のこるうらみ)	イサム	勇(さげら)
イゴ	以後(これからのち)	イサイ	委細(くわしきこと)	イサメル	諫(いさむ)
イコー	以降(このかた)	イサオ	勳(功)	イザヨイ	既望(十六夜)
イコー	遺稿(山陽のー)	イサカイ	評(口論)	イザリ	膝行(壁)
イコー	威光(威權)	イザカヤ	居酒屋(店前で飲ませる酒や)	イサリビ	漁火(漁舟の火あか)
イコー	衣桁(きものかけ)	イサギヨシ	潔(清淨)	イサン	違算(算用ちがひ)
イコー	偉功(大切)	イサゴ	砂(すな)	イサン	遺産(死者ののこせ)
イコー	異香(かばりしにほ)	イサザ	鱒(魚の名)	イシ	意志(こゝろばせ)
イコー	意向(こゝろのむき)	イササカ	聊(少々)	イシ	醫師(いしや)

イシ	遺志(亡父の—)	イシタタキ	鶴鶴(せきれい鳥の名)	イジユ	移住(他國に住む)
イシ	願使(あごにてさしづすること)	イシダン	石段(石階)	イシユク	萎縮(しなれちむ)
イシ	異志(二心)	イシツ	遺失(とり落すこと)	イシニク	畏縮(おそれちむ)
イシ	遺子(親にわかれたる子)	イシバイ	石灰(礦物の名)	イジユツ	醫術(醫者のみち)
イジ	異時(時ならぬこと)	イジバル	意地張(頑強)	イシヨ	醫書(醫學の本)
イジ	遺兒(父なしの子)	イシブミ	石碑(せきひ)	イシヨ	異書(かほつた本)
イジ	維持(もちつゝくること)	イシモチ	鯪(魚の名)	イシヨ	意匠(工夫)
イジ	意地(—いわる)	イシヤ	醫者(醫師)	イシヨ	衣裳(きもの)
イシキ	遠式(法式にたがふ)	イジヤク	胃弱(病の名)	イシヨ	遺詔(みことのり)
イシキ	意識(理を認め知る心力)	イシユ	蝟集(むらがり集ること)	イジヨ	異常(ふだんとちがふこと)
イシズエ	礎(もとぬ)	イシユ	意趣(恨み)	イジヨ	異狀(變りし有様)
イシズリ	石摺(—の習字手本)	イシユ	異宗(他宗)	イジヨ	以上(これよりうへ)

イジヨ	異條(別條)	イズカタ	何方(どちら)	イセキ	遺跡(ふるきあと)
イジル	玩弄(もてあそぶこと)	イズク	何處(どこ)	イセキ	慰籍(なぐさめる)
イシワタ	石綿(石絨)	イズクンゾ	焉(どうして)	イセキ	堰(水をせくもの)
イシン	維新(あらたまること)	イスパニア	西班牙(國名)	イゼン	已然(—言)
イシン	異心(二心)	イズマイ	居住(あすわること)	イゼン	緯線(地球の—)
イシン	威信(威嚴)	イズミ	泉(水のわきいづる處)	イゼン	以前(まへ)
イジン	異人(かほつた人)	イズレ	執(どれ)	イゼン	依然(そのまへ)
イシンデン	以心(心より心につ)	イスワリ	居坐(じつとすわつてある)	イソ	磯(濱邊)
シン	傳心(たへること)	イセイ	以西(これよりにし)	イソ	異相(人並ならぬ相)
イス	椅子(こしかけ)	イセイ	異性(男から女、女から男をいふ)	イソ	遺贈(おくること)
イズ	出(でる)	イセイ	威勢(いきほひ)	イソオロオ	居候(食客)
イスウ	異敷(拔群)	イセオンド	伊勢首頭(伊勢のおんど)	イソガワシ	忙(せはし)
イスカ	鷗(鳥の名)				

イソゲ	急 (せく)	イタイ	異體 (いどう)	イタダキ	頂 (てつべん)
イソク	委囑 (まかせたのむ)	イタガコイ	板圍 (板で圍ふこと)	イタダク	戴 (のせる)
イソク	遺族 (軍人—)	イタク	依託 (たのみあづく)	イタチ	鼯 (獸の名)
イソジ	磯路 (海邊のみち)	イタク	委託 (たのむ)	イタデ	痛手 (負傷)
イソジ	五十 (ごじふ)	イタク	抱 (懷)	イダテン	韋駄天 (早く走る神)
イソシム	勤 (つとむる)	イタクブツ	依託物 (たのんだも)	イタドリ	虎杖 (草の名)
イソップ	伊蘇普 (—の物語)	イタクコ	潮來 (—ぶし)	イタバサミ	板挾 (—の苦しみ)
イゾン	異存 (異見)	イダケ	居丈 (—高に)	イタバイ	板塀 (板のへい)
イタ	板 (材木をうすくひ)	イダス	致 (すること)	イタマ	板間 (臺所の—)
イタイ	遺體 (死骸)	イダス	出 (だす)	イタミ	伊丹 (—の酒)
イダイ	偉大 (大いなること)	イタズキ	勞 (病、勞)	イタム	痛 (疼、傷、悼)
イタイ	衣帶 (きものやおび)	イタズラ	徒 (惡戯)	イタメル	煤 (油でいりつけ)

イタル	至 (到、臻)	イチオ	一應 (一通り)	イチゴ	一合 (一勺の十倍)
イタリヤ	以太利亞 (國の名)	イチガイ	一概 (おしなべて)	イチゴ	一毫 (すこし)
イタワル	勞 (ねぎらふ)	イチギ	一義 (一理)	イチゴン	一言 (—半句)
イタン	異端 (横道)	イチグ	一具 (ひと組)	イチザ	一座 (同席、連中)
イタン	畏懼 (おそればか)	イチグン	一軍 (—皆振ふ)	イチジ	一時 (かつて、ある時)
イチ	位置 (たちば)	イチグン	一群 (ひとむれ)	イチジ	一事 (一つのこと)
イチアシ	逸足 (はやあし)	イチグン	一郡 (ひとこほり)	イチジツ	一日 (—千秋)
イチイ	一位 (水松、木の名)	イチゲイ	一藝 (—に長ず)	イチジユク	無花果 (木の名)
イチイ	櫟 (木の名)	イチゲン	一元 (—論)	イチジヨ	一條 (ひとすぢ)
イチウ	一字 (—の堂)	イチゲン	一絃 (—琴)	イチジヨ	一盤 (たみ一つ)
イチウチ	一打 (—にして書)	イチゴ	一期 (一生)	イチジヨ	一丈 (十尺)
イチエン	一圓 (一錢の百倍、又全體の意)	イチゴ	覆盆子 (莓、草の名)	イチジヨ	一場 (暫時)

イチジヨ 一帖(半紙一)

イチジヨ 一定(しつかと)

イチジヨ 一貼(藥一)

イチジルシ 著(明か)

イチジン 一陣(一の風)

イチズ 一途(ひとすぢ)

イチゼン 一膳(一飯)

イチゾク 一族(同じちすぢ)

イチゾン 一存(自分一人の考)

イチダイ 一代(一世一)

イチダイ 一壺(銘酒一)

イチダス 一打(十二)

イチダン 一段(ひときは)

イチダン 一團(ひとかたまり)

イチド 一度(いつべん)

イチド 一同(皆)

イチドク 一讀(一度よむ)

イチニン 一任(まかせる)

イチニン 一人(一前)

イチネン 一念(女の一)

イチノ 一能(一藝一)

イチバ 市場(人の多く集り)

イチバイ 一倍(ばい)

イチハツ 鳶尾(草の名)

イチハヤシ 逸速(迅速)

イチバン 一番(相撲一)

イチブシジュ 一部始終(根から葉まで)

イチベツ 一別(わかれ)

イチベツ 一瞥(ちらと見る)

イチマイ 一枚(紙)

イチマツ 間格(一縞)

イチマツ 市松(一人人形)

イチマツ 一抹(一の雲)

イチマン 一萬(千の十倍)

イチミ 一味(同心)

イチメイ 一名(又の名)

イチメイ 一命(いのち)

イチメン 一面(琴など一つ、又全體の意)

イチモクサ 一目散(わきめもふ)

イチモツ 逸物(上等)

イチモツ 一物(胸に一)

イチモン 一門(一族)

イチユ 意中(心のうち)

イチヨ 一葉(一枚)

イチヨ 一様(一體)

イチヨ 一陽(一來復)

イチヨ 鴨脚(銀杏、木の名)

イチヨ 移牒(かけあふ)

イチヨク 違勅(天子の命にたがふ)

イチラク 一樂(一織)

イチラン 一覽(一拂)

イチリツ 一律(千篇一)

イチリユ 一流(一の紳士)

イチリユ 一粒(ひとつぶ)

イチリン 一厘(一錢)

イチリン 一輪(一活)

イチルイ 一類(平氏の)

イチレイ 一禮(一する)

イチレツ 一列(ひとならび)

イチレン 一聯(一連)

イチレン 一蓮(一托生)

イチロクシヨ 一六勝負(冒險)

イツ 稜威(御威光)

イツ 何時(なんとき)

イツカ 一荷(行李一)

イツカ 幾日(何日)

イツカ 一家(一族)

イツカイ 一介(一の書生)

イツカイ 一回(一度)

イツカク 一角(ひとつのかど)

イツカク 一攫(一千金)

イツカゲン 一家言(一人の意見)

イッカツ	一喝(一度どなる)	イッキョー	一興(おもしろみ)	イッケン	一件(一事件)
イッカド	一廉(一稜)	イッキョク	一曲(一を奏す)	イッケン	一見(一覽)
イッカン	一貫(始終)	イッキン	一斤(目方の名)	イッコ	一己(自分)
イッカン	一管(笛など)	イツク	齋(ものいみ)	イッコ	一向(ひたすら)
イッカンバ	一閑帳(紙はりぬき)	イツク	居著(すみなれる)	イッコ	一行(某大臣の)
イッキ	一揆(土寇)	イツク	一區(ひとしきり)	イッコク	一國(國中、一つの)
イッキカセ	一氣(ひといきにや)	イツク	一句(一の句)	イッコク	一刻(一千金)
イッキト	呵成(り上げること)	イツクシ	嚴(美)	イッコジン	一箇人(一人)
イッキト	一騎當千(強いこと)	イツクシム	愛(憐)	イッコン	一獻(酒など)
イッキユ	一級(一階)	イツクケイ	一系(一のちすぢ)	イッサイ	一妻(一夫)
イッキユ	一休(一憩)	イツクケイ	一計(一策)	イッサイ	一切(一衆生)
イッキョ	一舉(一兩得)	イツケツ	一決(一定)	イッサク	一昨(一日)
イッキョ	一驚(おどろくこと)				

イッサツ	一札(一の證文)	イッシヤ	一瀉(一千里)	イッスン	一寸(一法師)
イッサン	一散(一に逃げる)	イッシヤク	一酌(一を催す)	イッセイ	一齊(一射撃)
イッシ	一絲(一亂れず)	イッシユ	一周(一思)	イッセキ	一夕(ある夜)
イッシ	一私(一人)	イッシヨ	一絡(共に)	イッセキ	一席(碁)
イッシ	一子(一相傳)	イッシヨ	一所(ひとところ)	イッセキ	一隻(舟)
イッシ	一視(一同仁)	イッショ	一笑(一に付す)	イッセツ	一説(別のせつ)
イツジ	逸事(美談)	イッショ	一生(生涯)	イッセツ	一節(ひとふし)
イツシカ	何時(いつか)	イッショケン	一所懸命(命がけ)	イッセツ	一切(一知らぬ)
イツシキ	一色(ひといろ)	イッシン	一心(一不亂)	イッセン	一戰(一で勝つ)
イツシキ	一式(すべて、一切)	イツスイ	一睡(ひとねむり)	イッセン	一煎(茶)
イツシツ	一室(ひとつのへや)	イツスイ	一醉(ひとよひ)	イッセン	一洗(悪習を)
イッシハン	一紙半錢(わづかなる者の意)	イツズケ	居續(流連)	イッソ	一導(むしろ)

イッソ	一層(そのうへに)	イッチュー	一中(一節)	イッテンバ	一點張(一心)
イッソ	一雙(屏風など)	イッチョー	一町(六十間)	イット	一途(ひとみち)
イッソ	一掃(悪風を一掃す)	イッチョー	一挺(墨など)	イット	一頭(一足)
イッソク	一束(薪など)	イッチョー	一調(ひとしらべ)	イット	一統(一同)
イッソク	一足(履一)	イッチョー	一朝(一一夕)	イット	一等(一卒)
イッソヤ	日外(先頭)	イッチョーラ	一張羅(一枚ぎもの)	イット	一刀(一兩断)
イッタイ	一隊(一の兵士)	イッチョクセ	一直線(一にける)	イットク	一得(一失)
イッタイ	一體(一体)	イッテイ	一定(きまること)	イッパ	一派(一とすぢ)
イッタイ	一帯(沿岸)	イッテイジ	一丁字(無し)	イッパ	一把(菜など)
イッタン	一端(一反)	イッテツ	一徹(一短慮)	イッパイ	一敗(一とまけ)
イッタン	一旦(ひとたび)	イッテ	一手(一販賣)	イッパイ	一輩(ともがら)
イッチ	一致(同心)	イッテン	一天(一萬乗)	イッパイ	一杯(一機嫌)

イッパツ	一發(ひとつち)	イッピン	一顰(一笑)	イツワ	逸話(正傳に洩れた)
イッパン	一版(第一の版)	イップク	一服(藥など)	イツワル	偽(詐)
イッパン	一半(なかば)	イップク	一幅(かけものなど)	イテキ	夷狄(えびす)
イッパン	一般(すべて)	イッペン	一遍(一とほり)	イデタチ	出立(扮装)
イッパン	一斑(一部分)	イッペン	一篇(文など)	イテン	移轉(うつりかはる)
イツビ	溢美(ほめすぎ)	イッペン	一變(ひとかはり)	イデン	遺傳(子孫につたは)
イツビ	一臂(一の力)	イッペン	一片(ひときれ)	イト	最(もつとも)
イツピキ	一匹(一疋)	イッポ	一步(ひと足)	イド	緯度(地理上の語)
イツピツ	一筆(ひとふで)	イッポ	一鶴(一の争)	イト	以東(これよりひが)
イツピョー	一俵(米など)	イッポン	一本(筆など)	イトウ	厭(いやがる)
イツピョー	一瓢(へうたん一つ)	イッポン	一品(位の名)	イド	移動(うつりうごく)
イツピン	一品(ひとしな)	イツヤ	乙夜(一の覽)	イド	異同(ことなりおな)

イドガワ	井戸側(みどのふち)	イトマキ	絲捲(絲絡)	イナム	否(固辭)
イトク	威徳(神の—)	イトマゴイ	暇乞(告別)	イナリ	稻荷(神の名)
イトグチ	緒(瑞緒)	イドム	挑(きそひあふこ)	イナン	以南(これよりみな)
イトケナシ	幼(稚)	イトユウ	絲遊(陽炎、野馬)	イニシエ	古(昔)
イトコ	従兄弟(父母の兄弟)	イナ	否(葉(うちけしの言))	イニョー	圍繞(とりまくこと)
イトシ	愛(—子)	イナ	鯰(魚の名)	イニョー	遺尿(小便垂れ)
イトスジ	糸筋(縷)	イナイ	以內(百人—)	イニン	委任(信じまかすこ)
イトダテ	絲經(席の一種)	イナオリ	居直(—強盜)	イヌ	犬(狗)
イトダテ	絲立(糸を入れる袋)	イナカ	田舎(都に遠き處)	イヌ	戌(十二支の一)
イトド	蟋蟀(こほろぎ)	イナコギ	稻扱(農具の名)	イヌ	往(行くこと)
イトナム	營(とこのへつく)	イナズマ	稻妻(電)	イヌ	寢(れること)
イドバタ	井戸端(—會議)	イナナク	嘶(馬がなく)	イヌイ	戌亥(乾)

イヌジニ	徒死(むだじに)	イバラ	茨(刺ある木)	イフウ	異風(かばつたなり)
イネ	稻(草の名)	イバリ	尿(小便)	イフウ	威風(威光)
イネムリ	居眠(すわつてれる)	イバル	威張(高ぶる)	イフウ	遺風(遺俗)
イノー	衣囊(衣服のかくし)	イハン	違犯(法律に背くこ)	イブカル	訝(あやしむ)
イノコ	猪(豕、獸の名)	イビ	萎微(よわること)	イフク	異腹(はらちがひ)
イノシシ	猪(獸の名)	イビキ	鼾(寝る時出るい)	イフク	威服(威光で従ふ)
イノチガケ	命懸(一生懸命)	イビヨ	意表(思ひもかけぬ)	イフク	畏服(おそれしたが)
イノル	祈(禱)	イビヨ	胃病(病の名)	イフク	衣服(きもの)
イハイ	位牌(死人の名をか)	イフ	異父(—兄)	イフク	遺腹(わすれがたみ)
イハイ	違背(そむくこと)	イブ	慰撫(なぐさめる)	イブス	燻(くすべること)
イハツ	遺髮(かたみのかみ)	イブ	威武(たけしきこと)	イブセシ	幽鬱(—ぎ家)
イバラ	薔薇(花の名)	イブ		イブツ	遺物(かたみ)

イブツ	異物(かはつたもの)	イボー	威望(人望)	イマリ	伊萬里(—焼)
イブン	異聞(めづらしい話)	イホク	以北(これよりきた)	イマワ	今際(臨終)
イヘン	違變(かはること)	イボク	異木(かはつた木)	イミ	意味(わけ)
イヘン	章編(—三び絶つ)	イボク	遺墨(志士の—)	イミアケ	忌明(—の禮)
イヘン	異變(非常なこと)	イホン	異本(かはつた本)	イミキ	忌寸(かばねの名)
イヘン	移變(うつりかへり)	イマ	居間(室)	イミナ	諱(正しき名)
イボ	疣(小さきこぶ)	イマイマシ	忌忌(—しいこと)	イミヨ	異名(別名)
イボ	異母(—妹)	イマサラ	今更(今になつて)	イミジ	甚(はなはだし)
イホー	違法(法律にたがふ)	イマシメ	戒(誠、箴)	イミン	移民(他國に行く人)
イホー	彙報(雜報)	イマダ	未(まだ)	イメイ	違命(命令にたがふ)
イホー	異邦(外國)	イマドキ	今時(今じぶん)	イム	忌(きらふ)
イボー	遺忘(わすれるること)	イマヨ	今様(今のさま又歌曲の一體)	イメツ	夷滅(たひらげほる)

イモ	芋薯(植物の名)	イヤシクモ	荷(かりそめ)	イライ	以來(このかた)
イモオト	妹(女弟)	イヤシム	卑(見下げる)	イラカ	蕨(かはら)
イモセ	妹背(夫婦)	イヤス	癒(なほす)	イラダツ	苛立(あせる)
イモノ	鑄物(金器を溶かして型に入れて作った物)	イヤラシ	可厭(—い人)	イリアイ	入相(日没)
イモムシ	芋蠅(蟲の名)	イユ	癒(病がなほる)	イリエ	入江(水の陸に入りこみたる處)
イモリ	蝶蠅(蠅、蟲の名)	イユ	慰諭(なぐさめさとすこと)	イリケム	複雑(錯綜)
イモン	慰問(なぐさめとふこと)	イヨ	異様(異態)	イリコ	煎海鼠(海參)
イヤカ	否應(—無しに)	イヨ	威容(大將たる—)	イリコム	入込(いりきたること)
イヤク	意譯(意味を取りて譯すること)	イヨイヨ	愈(彌、だんく)	イリシオ	炒鹽(いつたしほ)
イヤク	違約(約束をやぶること)	イヨス	伊豫藤(藤の一種)	イリチガウ	入交(いりまじる)
イヤク	醫藥(くすり)	イラ	薊(草の名)	イリヒ	入日(夕陽、落日)
イヤシ	卑(賤)	イライ	依頼(たのむ)	イリヤキ	煎焼(鯛の—)

イリユ	遺留(一用品)	イルイ	遺類(殘黨)	イレバ	入齒(義齒)
イリヨ	入用(にうよう)	イルイ	衣類(きものるゐ)	イレメ	入目(義眼)
イリヨ	醫療(醫者のれうち)	イルカ	異類(ちがつた類)	イレル	入(容、納、いる)
イリヨク	威力(威光)	イレイ	海豚(海獸の名)	イロ	慰勞(なぐさめいた)
イリン	彝倫(人道)	イレイ	違例(病又は例にた)	イロ	遺漏(もれおち)
イル	射(弓を)	イレイ	威靈(祖宗の)	イロ	應(返事する)
イル	容(納)	イレコ	違戻(そむく)	イロアゲ	色揚(そめなほし)
イル	居(なる)	イレコ	入于(の器)	イロイロ	色々(種々)
イル	率(ひきつれる)	イレジエ	入智恵(つけぢゑ)	イロカ	色香(花の)
イル	鑄(金屬を)	イレズミ	入墨(黥)	イロケ	色氣(色情)
イル	煎(いりつける)	イレツ	偉烈(大きなこと)	イロズク	色附(楓が)
イル	熬(あぶりこが)	イレツ	遺烈(残れる功)	イロツヤ	色澤(艶)

イロドリ	色取(色彩)	イワマ	岩間(岩のあひだ)	インカ	姻家(しんるゐ)
イロハ	伊呂波(一歌)	イワヤ	窟(岩窟)	インカ	允可(ゆるし)
イロヤイ	色合(色の工合)	イワユル	所謂(いふ所の)	インカ	印頼(印形)
イロリ	圍爐裏(地爐)	イワンヤ	況(まして)	インガ	因果(むくいといふ)
イロン	異論(かへつたるん)	インイツ	隱逸(世のがれる)	インガイ	員外(人數の外)
イワ	岩(巖)	インイン	殷々(一たる雷)	インカン	殷鑑(手本)
イワイ	祝(賀)	インウ	淫雨(長雨)	インカン	印鑑(印形)
イワオ	巖(岩)	インウツ	陰鬱(氣ふさぎ)	インキ	陰氣(氣のふさぎ)
イワキ	岩木(一にあらぬ)	インウン	陰雲(暗き雲)	インキ	洋墨(西洋の墨、正)
イワシ	鱈(鰯、魚の名)	インエイ	陰影(かげ)	インキ	飲泣(すゝりなき)
イワシミズ	右清水(一の神)	インエイ	印影(印のあと)	インキ	允許(ゆるし)
イワタオビ	岩田帶(額肌帶)	インエン	賁縁(はひまとふ)	インキ	隱居(世を退く)

インキョー	韻鏡(木の名)	インコー	咽喉(のんど)	インジ	印璽(印形)
インギョー	印形(印のこと)	インゴ	因業(前世の罪)	インジ	韻事(風流—)
インギン	懇懃(丁寧)	インコク	印刻(印をほること)	インシツ	陰濕(かげうらのし)
インク	印矩(印を捺すとき)	インサイ	允裁(允可)	インシュ	飲酒(さけを飲むこと)
イング	飲具(飲物に用ゐる)	インザイ	印材(印をほる材料)	インシユ	因襲(しきたり)
インクシン	隠君子(かくれたる君子)	インサツ	印刷(—局)	インジュン	因循(ぐづ—)
インケン	引見(よひよせてあ)	インシ	淫祠(正しくない神)	インシヨ	陰症(いんき病)
インケン	隠見(見えがくれ)	インシ	印紙(證券—)	インシヨ	印章(印形)
インケン	陰險(腹のわるき)	インシ	因子(数学の語)	インシヨ	引證(例をひくこと)
インゲン	隠元(—豆)	インシ	隠士(隠者)	インシヨ	印象(心におぼえ)
インコ	鸚哥(鳥の名)	インジ	隠事(密事)	インシヨク	飲食(のみくひ)
インゴ	隠語(かくし言葉)	インジ	韻字(詩の—)	インシン	音信(おとづれ)

インシン	殷賑(にぎやか)	インチ	引致(ひつばること)	インピ	陰祕(秘密)
インセイ	陰晴(くもりはれ)	インチョー	院長(院の長官)	インピ	陰庇(かくまふ)
インゼイ	印税(著書の—)	インドー	引導(みちびく)	インプ	印譜(印影集)
インセキ	隕石(天より降つた石)	イントク	陰徳(人に知れず善)	インプ	殷富(金持ち)
インセキ	姻戚(親類)	イントク	隠匿(かくすこと)	インブ	允武(たけしき)
インセツ	引接(人をよんであ)	イントン	隠遁(世をのがれる)	インブ	陰部(かくしどころ)
インセン	院宣(上皇の—)	インニク	印肉(印を捺す時ッリ)	インブン	韻文(散文に對して)
インゾク	姻族(妻のつゞきの親類)	インネン	因縁(いはれ)	インベ	因部(—焼)
インソツ	引率(ひきつれること)	インバイ	隱賣(かくしうること)	インペイ	隱蔽(かくす)
インタイ	隱退(役をやめてひ)	インバイ	淫賣(ひそかに色を)	インボー	隱謀(わるだくみ)
インタク	隱宅(隱居所)	インバン	印判(印形)	インボツ	湮沒(湮滅)
インチ	吋(英國の尺度の名)	インビ	隱微(かすか)	インボン	院本(じやうるりぼ)

インポン	淫奔(一—女)	インレイ	引例(例をひくこと)	ウイ	雨衣(あまぎ)
インボン	印本(版本)	インレキ	陰曆(大陰曆)	ウイキヨ—	茴香(草の名)
インメツ	湮滅(ほろびたゆる)	インロー	印籠(小さき箱の如)	ウイジン	初陣(初めて)
インモツ	音物(進物)	インワイ	淫猥(みだら)	ウイロ—	外郎(菓子の名)
インヤク	印輪(印とかぎ)			ウエキ	植木(うゑたる木)
インヨ—	引川(ひき川ある)			ウエツカタ	上方(上の方)
インヨ—	陰陽(陰と陽と)			ウエジニ	飢死(かつえて死ぬ)
インヨ—	飲用(一—氷)			ウエボ—ソ	種痘(植痘瘡)
インヨク	淫慾(色慾、情慾)			ウエン	迂遠(まはり遠い)
インラン	淫亂(色好み)			ウエン	有縁(えんのある)
インリヨ—	飲料(のみしろ)			ウオ	魚(動物の名)
インリヨク	引力(ひくちから)			ウオ—ザオ	右往左往(四散)

『う』

ウカ	羽化(羽の生ずる)	ウキナ	浮名(亞名)	ウケオイ	請負(引受)
ウカイ	迂回(まはりみち)	ウキブクロ	浮囊(魚の一—)	ウケガウ	肯(承諾)
ウガイ	嗽(口をすいぐ)	ウキミ	憂身(一—をやつす)	ウケシヨ	請書(請狀)
ウカウカ	浮浮(おちつかぬ)	ウキメ	憂目(なんぎ)	ウケジヨ—	請狀(受書)
ウカガウ	伺(窺、瞰)	ウキヨ	浮世(憂世)	ウケタマワ	承(承知)
ウカツ	迂淵(うつつかり)	ウク	浮(うかぶ)	ウケツケ	受附(役所の一—)
ウガツ	穿(ほる)	ウグ	迂愚(ばかもの)	ウケトリ	受取(領收)
ウカブ	浮(水上に一—)	ウグイ	石斑魚(魚の名)	ウケミ	受身(動作を他より)
ウカラ	親族(一族)	ウゲイス	鶯(鳥の名)	ウケモチ	受持(一—教員)
ウキ	雨季(雨の多い時候)	ウケ	有卦(一—に入る)	ウゴ	雨後(あめあがり)
ウキクサ	浮草(萍)	ウケアイ	請合(保證)	ウゴ—	烏合(よりあつまり)
ウキス	浮洲(沼などに砂の積つた處)	ウケウリ	請賣(受賣)	ウゴク	動(靜の反)

ウゴメク	蝨 (少し動く)	ウシミツ	丑三(午前二時の頃)	ウスバ	薄刃(刃のうすい)
ウコン	爵金(色の名)	ウシロ	後 (あとの方)	ウスバ	白齒(齒の名)
ウザギ	兎 (獣の名)	ウス	白 (米をつくもの)	ウズメル	埋 (うづめる)
ウサン	胡散(一ーな奴)	ウズ	髻華(髪のかざり)	ウズタガシ	堆 (うづたかし)
ウシ	丑 (十二支の一)	ウズ	渦 (水のー)	ウスヨ	薄葉(紙の名)
ウシ	大人(他人の尊稱)	ウスイ	雨水(あまみづ)	ウズラ	鶉 (鳥の名)
ウジ	蛆 (蟲の名)	ウスイ	碓氷(地名)	ウセイ	迂生(小生)
ウジ	氏 (苗字)	ウスギ	薄着(着物を多くき)	ウセイ	雨聲(あめのおと)
ウジウジ	逡巡(あとすさり)	ウズク	疼 (いたむ)	ウソ	鶯 (鳥の名)
ウシオ	潮 (汐)	ウスゲシヨ	薄化粧(淡粧)	ウゾームツ	有象無象(萬物)
ウシトラ	良 (東北の方)	ウスチャ	薄茶(一ー茶椀)	ウソツキ	嘘突(虚言者)
ウシナウ	失 (喪)	ウスノロ	薄鈍(少し馬鹿なこ)	ウソムク	嘯 (口笛ふく)

ウタ	雅樂(一ー寮)	ウチカブト	内胃(一ーを見すく)	ウチユ	雨中(あめふり)
ウタアワセ	歌合(うたをあは)	ウチキ	内氣(一ーな娘)	ウチョーテ	有頂天(うはのそら)
ウタイ	謡 (謡曲)	ウチギ	袿 (婦人の服の名)	ウチワ	團扇(風を出すもの)
ウダイ	字内(世の中)	ウチケシ	打消(否定)	ウチワ	内輪(内分)
ウタガウ	疑 (狐疑)	ウチツズク	打續(晴天一ーく)	ウチワケ	内譯(かどがき)
ウタタ	轉 (ますく)	ウチトケル	打解(胸襟を披く)	ウツ	討 (伐、征、拍、打、撲、擊)
ウタタネ	轉寢(一ーの枕)	ウチヌク	打貫(打抜)	ウツクシ	美 (一麗)
ウチアワセ	打合(協議)	ウチヒモ	打紐(くみひも)	ウツクツ	鬱屈(心がふさぐ)
ウチイリ	討入(義士の一ー)	ウチブ	打歩(手数料の一ー)	ウツケツ	鬱結(氣がむすばれ)
ウチイリ	内入(一ー金五圓)	ウチマク	内幕(裏面)	ウツケモノ	痴漢(愚物)
ウチガエ	藁 (金を入れる袋)	ウチユ	雨注(雨の如くふ)	ウツサン	鬱散(氣晴)
ウチカエス	打返(反覆)	ウチユ	宇宙(天地の間)	ウツス	寫 (描)

ウツス	映 (幻灯を)	ウツボ	鰻 (魚の名)	ウツワ	器 (器財)
ウツス	移 (遷)	ウツボ	靱 (矢を入れるもの)	ウデオシ	腕押 (闘腕)
ウツセミ	空蟬 (一の世)	ウツボツ	鬱勃 (心にこもる)	ウテナ	臺 (樓臺)
ウツゼン	蕭然 (一として茂る)	ウツリカワ	移變 (變遷)	ウデル	湯煮 (ゆでるの訛)
ウツソ	鬱蒼 (木のしげりたること)	ウツモン	鬱悶 (氣分のふさがり甚し)	ウテン	雨天 (あめふり)
ウツタエ	訴 (訟)	ウツユ	鬱憂 (氣のふさがり)	ウド	獨活 (土當婦、植物の名)
ウツツ	現 (現在)	ウツユ	鬱悒 (氣のふさがること)	ウトシ	疎 (親しくない)
ウツトシ	鬱陶 (氣のふさがること)	ウツル	映 (光がてりあふ)	ウトム	疎 (嫉忌)
ウツトリ	恍惚 (ぼうやり)	ウツル	移 (世がくる)	ウドン	鯁飽 (うんどんの略、食物の名)
ウツバリ	梁 (はり)	ウツル	染 (病氣がくる)	ウドンゲ	優曇華 (一の花)
ウツプルー	十六島 (一海苔)	ウツロ	空 (から)	ウナイ	髻髮 (古のかみの一種)
ウツペン	鬱憤 (はれぬ不平)	ウツロウ	移 (變)	ウナガス	促 (いそがす)

ウナギ	鰻 (魚の名)	ウノハナ	卵花 (花の名)	ウベナウ	諧 (承知)
ウナジ	項 (えりくび)	ウバ	姥 (老いたる女)	ウマイ	甘 (うまし)
ウナズク	點頭 (首肯)	ウバ	乳母 (めのと)	ウマオイ	馬逐 (蟲の名)
ウナダレル	項垂 (うなたる)	ウバウ	奪 (奪、褫)	ウマゴ	午後 (ひるの後)
ウナバラ	海原 (うみ)	ウバタマ	烏羽玉 (一の夜)	ウマズメ	不生女 (石婦)
ウナリ	風箏 (紙鳶の一)	ウバラ	茨 (植物の名)	ウマノリ	馬乘 (一袴)
ウナル	唸 (呻吟)	ウブリ	産衣 (赤子に始めて着せる着物)	ウマヤ	廐 (うまつなぎ)
ウニ	雲丹 (海膽)	ウブゴエ	産聲 (一をあげる)	ウマヤジ	驛路 (宿場)
ウヌボレ	自惚 (自分で自分をえらく思ふ)	ウブスナ	産土 (一神)	ウマレカワ	生變 (再生)
ウネ	畦 (田畠の)	ウブユ	産湯 (湯をつかはせること)	ウマレツキ	生付 (性質)
ウネビ	畝傍 (一山)	ウベ	宜 (なるほど、もつとも)	ウミ	膿 (できもの)
ウネル	盤紆 (まがりくねること)	ウベ	筌 (漁具、筈)	ウミ	海 (地球上、陸でなく)

ウミオソ	海獺(あしか獣の名)	ウモレル	埋(うもる)	ウラボン	孟蘭盆(七月の靈祭)
ウミベ	海邊(かいへん)	ウヤマウ	敬(尊敬うやまふ)	ウラミ	怨(恨)
ウム	有無(あるなし)	ウヤムヤ	有耶無耶(のうち)	ウラヤム	羨(けなるく思ふ)
ウム	生(子を)	ウユ	烏有(消失)	ウララカ	厩(のどか)
ウム	績(麻を)	ウヨ	雨餘(雨の後)	ウラル	烏拉兒(一山)
ウム	倦(勉學に)	ウヨク	右翼(一聯隊)	ウラワ	浦回(浦の曲りたる)
ウム	熟(腫物が)	ウヨク	羽翼(はねつばさ)	ウリキレ	賣切(品切)
ウメ	梅(木の名)	ウラガエス	裏返(かへす)	ウリコミ	賣込(うりこむこと)
ウメアワス	埋合(補缺)	ウラガキ	裏書(手形の)	ウリサバキ	賣捌(うり出す)
ウメボシ	梅干(食物の名)	ウラギリ	裏切(内通)	ウリズル	瓜蔓(うりのつる)
ウメモドキ	梅擬(植物の名)	ウラジ	裏地(裏にする反物)	ウリダシ	賣出(賣りはじめ)
ウメユ	注入湯(湯に水を加へること)	ウラノウ	占(卜、筮)	ウリハライ	賣拂(賣却)

ウリモノ	賣物(賣品)	ウルワシ	麗(美麗)	ウワガキ	上書(手紙の)
ウリヨ	雨量(あめのかさ)	ウレシ	嬉(よろこぶこと)	ウワカワ	上側(上面)
ウリヨウ	憂(患、愁)	ウレッコ	賣子(一の文士)	ウワキ	浮氣(多情)
ウル	賣(沽、售)	ウロ	雨露(あめつゆ)	ウワギ	上着(上衣)
ウル	得(手に入れる)	ウロ	烏鸛(からすとさ)	ウワゴト	譚(噺)
ウル	間(一年)	ウロ	迂路(まはりちみ)	ウワサ	噂(世評)
ウルオウ	潤(濕)	ウロオボエ	空覺(たしかに覺えぬこと)	ウワジキ	上敷(夜具の)
ウルカ	鱧(鮎の)	ウロコ	鱗(魚などの)	ウワズツミ	上包(表被)
ウルサシ	五月蠅(かまびすし)	ウロタエ	狼狽(周章)	ウワチヨ	上調子(一で話)
ウルシ	漆(木の名)	ウロツク	彷徨(迷ひ歩む)	ウワツラ	表面(へうめん)
ウルチ	粳(うる米)	ウロン	胡亂(怪しき)	ウワヌリ	上塗(吐の)
ウルメイワ	潤目鱒(魚の名)	ウロン	烏龍(一茶)	ウワバミ	蟒蛇(蟲の名)

ウワベ	上邊(外觀)	ウニコ	糞(くそ)	ウニチク	蘊蓄(たくはへ)
ウワヤク	上役(上司、上官)	ウニコ	運行(めぐりゆく)	ウニデイ	雲泥(雲とどろど)
ウン	諾(承知の聲)	ウンザ	運座(俳句のー)	ウニテン	運轉(はたらかす)
ウンオ	蘊輿(物のおく)	ウンザン	運算(分數のー)	ウンド	運動(うごくこと)
ウンカ	雲霞(くもかすみ)	ウンシユ	雲集(多集)	ウンヌン	云々(しかじか)
ウシカ	浮塵(子蟲の名)	ウンジヨ	運上(税)	ウニパン	運搬(はこぶこと)
ウシガ	運河(ほりわり)	ウンジヨ	雲上(くものうへ)	ウニピツ	運筆(ふでのほこび)
ウシカン	雲間(くものあひだ)	ウンジヨ	雲壤(天と地)	ウニム	雲霧(くもきり)
ウシキ	雲氣(雲ゆき)	ウニスイ	雲水(僧)	ウニメイ	運命(うんのこと)
ウシキ	運氣(しあはせ)	ウニセイ	運勢(運氣)	ウニユ	運輸(はこぶこと)
ウシキ	溫氣(暑さ)	ウニソ	運漕(舟にてはこぶ)	ウニヨ	運川(はたらかす)
ウシゲイ	雲霓(雲とにじ)	ウニソ	運送(はこびおくる)	ウニリュ	雲龍(ー閣)

「え」

エ	餌(鳥などの)	エイエイ	曳々(ー聲)	エイキョ	盈虚(みちかける)
エ	柄(杓のー)	エイエイ	營營(いそがしい形)	エイキョ	影響(さしひき)
エ	荏(植物の名)	エイエン	永遠(永久)	エイギョ	營業(生業)
エ	會(法)	エイカ	詠歌(うたをよむ)	エイキョク	郢曲(謠物のー)
エ	繪合(遊びの名)	エイガイ	榮華(榮耀)	エイギン	咏吟(うたふ)
エ	繪合(遊びの名)	エイカク	營外(兵營のこと)	エイケツ	英傑(豪傑)
エイ	纓(冠の部分)	エイカク	銳角(直角より小さ)	エイケツ	永訣(ながわれ)
エイ	穎(ほさき)	エイガク	英學(英語)	エイコ	榮枯(盛衰)
エイ	鯉(魚の名)	エイカン	淑感(天子の御感)	エイゴ	穎悟(聰明)
エイ	銳意(心をげます)	エイキ	銳氣(するどき氣象)	エイゴ	英語(いぎりすの語)
エイ	榮位(すぐれた位置)	エイキ	英氣(銳氣)	エイゴ	永劫(長久)
エイ		エイキユ	永久(ながく)	エイコク	英國(イギリス)

エイサイ	穎才(すぐれた才智)	エイシヨ	營所(衛戍)	エイゼン	營繕(つくるひ)
エイサイ	英才(すぐれたちゑ)	エイシヨ	英書(英國の本)	エイソ	營倉(兵士の犯人を 入れる處)
エイシ	英姿(すぐれたすが た)	エイジヨク	榮辱(名譽とばち)	エイソ	詠草(うたの下書)
エイシ	英資(すぐれた性質)	エイシン	詠進(歌をよみたて まつること)	エイゾク	永續(ながくつづく)
エイシ	英志(すぐれた志)	エイジン	英人(イギリスの人)	エイタイ	永代(ながき代)
エイシ	緞旨(天子の思召)	エイジン	銳刃(するどいやへ ば)	エイダオレ	酔倒(大酩酊)
エイジ	英字(英國の字)	エイズ	映(うつる)	エイタツ	榮達(出世)
エイジ	嬰兒(みどり子)	エイズ	詠(歌をー)	エイダン	英斷(果斷)
エイジツ	永日(はるの日)	エイセイ	衛生(攝養)	エイチユ	營中(陣中)
エイシヤク	榮爵(貴い爵位)	エイセイ	永世(ながきよ)	エイテン	榮典(めでたい式、 名譽のしるし)
エイジユ	永住(ながくすむ)	エイセイ	叡聖(文武の天皇)	エイテン	榮轉(よき役にかへ ること)
エイシユン	英俊(すぐれた古人)	エイセイ	衛星(附屬せる星)	エイナイ	營内(兵營のうち)

エイネン	永年(ながのとし)	エイユ	英雄(豪傑)	エキサク	易簣(學者の死亡)
エイピン	銳敏(するどきこと)	エイヨ	榮譽(名譽)	エキシヤ	易者(うらなひ)
エイブツ	英物(才物)	エイヨ	營養物(滋養物)	エキシユ	腋臭(わきが)
エイブン	叡聞(天子のおき)	ツ	叡覽(天子の御覽)	エキジユ	液汁(しる)
エイヘイ	衛兵(番兵)	エイラン	營利(かためうけ)	エキス	越幾斯(醬油ー)
エイホ	銳鋒(するどきほこ り)	エイリ	銳利(するどい)	エキタイ	液體(水の如きもの の稱)
エイホ	英法(イギリス法)	エイリヨ	叡慮(天子の思召)	エキチヨ	驛長(驛の長)
エイマイ	英邁(すぐれたること)	エイルイ	營壘(兵のたてこも る處)	エキテイ	驛遞(宿つき)
エイマン	盈滿(みちること)	エイワ	英和(一辭典)	エキフ	驛夫(驛の人夫)
エイミン	永眠(死亡)	エイガ	餌飼(ゑにてかふこ と)	エキフ	役夫(人夫)
エイメイ	榮名(名譽)	エイガオ	笑顏(わらひかほ)	エキユ	益友(よき友達)
エイメイ	英名(すぐれた名聲)	エキガク	易學(漢學のー)	エキレイ	驛鈴(うまやちのす り)

エキレイ	疫癘(流行病)	エズ	繪圖(圖面)	エツプク	悅服(よろこび従ふ)
エキロ	驛路(うまやち)	エズク	吐(嘔)	エツペイ	閱兵(イイ式)
エグイモ	醜芋(あぐい芋)	エセ	似非(似てちがふも)	エツラン	閱覽(しらべ見る)
エクボ	盤(笑窪)	エセゴト	僻事(ひがごと)	エツレキ	閱歴(履歴)
エグル	剝(くじる)	エソ	鰮(魚の名)	エテ	得手(上手)
エコ	依怙(ひいき)	エゾ	蝦夷(えびす)	エト	干支(曆の語)
エコー	廻向(死人の幸を祈)	エゾー	畫像(繪像)	エド	江戸(一子)
エコマ	荏胡麻(植物の名)	エゾーシ	繪草紙(繪本)	エド	磯土(塵世)
エシ	繪師(畫工)	エタ	穢多(非人)	エナオケ	胞桶(えなのわけ)
エジプト	埃及(一國)	エダ	枝(條)	エニシ	綠(えん)
エシヤク	會釋(あいさつ)	エツケン	越權(なつけん、で)	エニシダ	金雀枝(植物の名)
エシヤシヨ	會者定離(あひしもあはしも)	エツケン	謁見(高貴に見ゆる)	エノキ	榎(木の名)

エバ	餌(えじき)	エマキモノ	繪卷物(卷物にした)	エル	彫(ほりつける)
エハガキ	繪葉書(繪のあるは)	エム	笑(わらふ)	エレキ	電氣(でんき)
エハツ	衣鉢(奥儀)	エモノ	得物(獲物)	エンイン	援引(ひっぱりあふ)
エビ	蝦(海老)	エモリ	柄漏(水のもる)	エンウ	烟雨(けむりの如き)
エビス	夷(戎狄)	エモン	衣紋(衣服着用等の)	エンエキ	演繹(一論理)
エビス	惠比須(神の名)	エヨ	榮耀(榮華)	エンエン	炎焔(ほのほ)
エビチャ	蝦茶(一色)	エラ	鰓(魚のあぎと)	エンオ	鸞鷲(鳥の名)
エビラ	蠶繭(養蠶の具)	エラブ	擇(選)	エンオ	冤枉(むじつの罪)
エビラ	腋(胡録、武具の)	エリ	衿(襟)	エンカ	烟霞(一の癖)
エホ	惠方(歳徳のある方)	エリ	舩(竹履)	エンカ	鹽化(一水素)
エボシ	烏帽子(被り物)	エリカザリ	襟飾(ネクタイ)	エンカ	嚙下(のみ下す)
エマ	繪馬(神のさげ物)	エリマキ	襟卷(くびまき)	エンカ	縁家(親類)

エンカイ	宴會(さかもり)	エンギ	演義(意義をときあ)	エンゲン	怨言(うらみごと)
エンカイ	沿海(海のふち)	エンギ	延喜(一一棚)	エンコ	緣故(つらきあひ)
エンカク	沿革(うつりかはり)	エンキョ	燕居(らくにゐること)	エンゴ	掩護(たすけまもる)
エンカク	遠隔(遠くはなる)	エンキン	遠近(ちかちか)	エンゴ	援護(たすけまもる)
エンカツ	圓滑(角たるめ)	エンガン	援軍(たすけ勢)	エンコ	遠行(遠足)
エンガワ	緣側(座敷外の板敷)	エンケイ	遠景(とほくの景色)	エンコ	猿猴(さる)
エンカン	鉛管(なまりのくだ)	エンケイ	圓形(まるいかたち)	エンゴク	遠國(遠い國)
エンガン	沿岸(きしはた)	エンゲイ	演藝(藝を演ずること)	エンサツ	遠察(遠方にて察す)
エンキ	延期(のびす)	エンゲイ	園藝(にはづくり)	エンザイ	冤罪(無實のつみ)
エンキ	緣起(おこり)	エンゲキ	演劇(芝居)	エンザン	演算(運算)
エンギ	演戲(演技)	エンケン	遠見(とほみ)	エンシ	遠視(とほめ)
エンギ	衍義(ときあがす)	エンゲン	淵源(もとづく所)	エンジ	衍字(誤入の字)

エンジ	臘脂(べに)	エンシヨ	炎上(もえあがる)	エンタイ	延滞(とまほる)
エンジャ	緣者(親類一)	エンシン	圓心(圓の中心)	エンダイ	演題(演説の題目)
エンジャク	燕雀(つばめやす)	エンジン	圓陣(まるく陣ど)	エンダイ	演臺(演説者の前の)
エンジュ	枕(木の名)	エンズウ	遠陬(國のはしはし)	エンダン	演壇(演説するだん)
エンシユ	掩襲(おそひうつ)	エンスイ	圓錐(一一體)	エンダン	緣談(緣組ばなし)
エンシユ	圓周(圓のまはり)	エンズイ	延髓(腦と脊髓との)	エンチュ	圓柱(まるいはしら)
エンシユ	怨讎(かたき)	エンセイ	遠征(遠方を征する)	エンチュ	圓頂(僧のこと)
エンシユ	演習(練習)	エンセイ	厭世(世をいとふこ)	エンチヨ	延長(ひきのばす)
エンシヨ	炎暑(あつきこと)	エンセキ	宴席(宴會場)	エンテイ	園丁(にはもり)
エンシヨ	蠟書(なまめかしい)	エンゼン	宛然(あたかも)	エンテン	宛轉(一一滑脱)
エンシヨ	燄硝(火藥)	エンゼツ	演説(演説)	エンテン	炎天(あつきそら)
エンシヨ	延焼(やけひろがる)	エンソク	遠足(遠方へ散歩すること)	エンデン	鹽田(しほを製する)

エントー	沿道(みちすぢ)	エインブ	衍文(不用の文)	エンメイ	延命(いのちをのばす)
エンドー	豌豆(豆の名)	エンブ	鹽分(しほけ)	エンモン	轅門(軍門)
エントツ	烟突(烟筒)	エンブ	艶聞(色めきたる評)	エンユー	園遊(一會)
エンニチ	縁日(一商人)	エンペイ	援兵(たすけの兵)	エンユイ	遠遊(とほくにゆき學ぶこと)
エンニン	延引(のびく)	エンペン	縁邊(みより)	エンヨ	婉容(おだやかな容子)
エンネツ	炎熱(あつさ)	エンボ	怨望(うらむこと)	エンヨ	遠洋(一航海)
エンバン	鉛板(なまりのいた)	エンボ	遠望(とほくを見る)	エンライ	遠來(遠くより來ること)
エンピ	猿臂(一を伸し)	エンボ	遠談(遠くを見ぬい)	エンリ	遠慮(ふかき用心)
エンピツ	鉛筆(なまりふで)	エンボ	遠方(とほき地)	エンルイ	縁類(しんるゐ)
エンビフク	燕尾服(通常禮服)	エンマ	閻魔(地獄の王)	エンレイ	艶麗(うつくしくは)
エンブ	演武(武術を行ふ)	エンマン	圓満(缺くること)	エンロ	遠路(遠方)
エンブ	怨府(うらみのあつまり場處)	エンム	烟霧(けむりとかす)	エンロ	圓顛(坊主あたま)

エンロ	沿路(沿道)	オウ	被(かぶせる)	オキ	王畿(帝都附近の國)
オ	芋(麻の)	オエン	應援(たすけ)	オキ	輿儀(輿の手)
オ	緒(一じめ)	オオ	快々(心地悪しき)	オキ	扇(せんす)
オ	尾(しりのを)	オカ	王化(帝德)	オキヤク	横逆(よこしま)
オ	御(敬語)	オカ	謳歌(ほめうたふ)	オキユ	應急(一手段)
オ	逢(遭、遇、會)	オガ	歐化(一主義)	オキヨ	王業(天子の業)
オ	追(逐)	オガ	枉駕(訪問)	オキヨ	大形(做大)
オ	負(擔)	オガ	横臥(よこになれる)	オグ	仰(上むこと)
オ	王威(王の威光)	オガ	横隔膜(胸と腹との間)	オクラ	大藏(一大臣)
オ	王位(王のくらゐ)	オカ	大方(大概)	オケキ	横撃(横からうつ)
		オカミ	狼(獸の名)	オゲサ	大袈裟(一にいふ)
		オカン	往還(ゆき)	オケナシ	無負氣(過分)

オーコ	往古(むかし)	オーシ	横死(變死)	オーシヤ	往者(すんだこと)
オーゴ	擁護(神佛のまもり)	オージ	往時(むかし)	オーシヤ	王者(一の師)
オーコー	王公(一の富)	オージ	王子(親王の御子)	オーシヤ	横斜(よこやないめ)
オーコー	横行(威張りあるく)	オージ	王事(一につくす)	オーシヤ	冠弱(かよわし)
オーゴエ	大聲(大なる聲)	オージ	往事(過ぎしこと)	オーシヤ	歐洲(ヨーロッパ)
オーコク	王國(王を戴く國)	オージ	大路(街衢)	オーシヤ	奥州(むつのくに)
オーゴン	黄金(金のこと)	オージ	皇子(天皇の御子)	オーシヤ	皇女(天子の御むすめ)
オーサツ	鑿殺(皆殺)	オージ	祖父(父の父)	オーシヤ	黄鐘(音律の名)
オーシ	横恣(さまよ)	オーシオ	大潮(さしほ)	オーシヤ	鞅掌(つかさどる)
オーシ	奥旨(奥儀)	オーシツ	王室(天子の御家)	オーシヤ	王將(將棋の駒の名)
オーシ	啞(不具者の一)	オージツ	往日(このあいだ)	オーシヤ	王城(天子の宮居)
オーシ	枉死(のたれじに)	オーシヤ	枉車(枉駕)	オーシヤ	往生(死して極樂に赴くこと)

オーセ	仰(下命)	オーダ	毆打(うちたたく)	オーテイ	押丁(獄吏の名)
オーセイ	王政(一復古)	オータイ	應對(あいさつ)	オーテキ	横笛(よこぶえ)
オーセイ	旺盛(さかん)	オーダク	應諾(受合)	オート	嘔吐(はく)
オーセイ	横政(亂暴なせいぢ)	オータク	王澤(天子のおめぐみ)	オード	王土(帝王の支配せ)
オーゼイ	大勢(多数)	オーダツ	横奪(よこどり)	オート	應答(うけこたへ)
オーセキ	往昔(むかし)	オータバ	大把(一に括る)	オート	王統(王系)
オーセツ	應接(一室)	オーダン	黄疽(病の名)	オード	王道(王たるみち)
オーセン	應戰(敵の來るにむかふ)	オーダン	横断(よこにたつ)	オード	黄道(天體のめぐり)
オーセン	横線(よこのすぢ)	オーチ	棟、樑(木の名)	オード	横道(よこしま)
オーセン	鏖戰(きついたか)	オーチャク	横着(我儘)	オードリ	大通(神田の一)
オーゾク	王族(王の一族)	オーチヨ	王朝(一時代)	オートツ	凹凸(でくぼく)
オーソン	王孫(王の子孫)	オーテ	王手(將棋の語)	オーヌサ	大麻(神事に用ゐる)

オーノ	懊惱(あうなう) (心なやます)	オーヘン	往返(わうたん) (往還)	オーヤケ	公(こう) (私の反対)
オーハ	王覇(わうは) (王道と覇道)	オーボ	應募(おうぼ) (つのりに應ず)	オーヨ	應用(おうよう) (ばたらく)
オーバク	黄蘗(わうばく) (禪宗の一派)	オーホー	王法(わうはふ) (王の法)	オーヨソ	大凡(おほ) (たいてい、す)
オーバコー	外套(がいとう) (ガイトー)	オーミカブ	應報(おうほう) (むくい)	オーライ	往來(わうらい) (ゆきき)
オーヒ	奥祕(おくのて) (あふ)	ラ	近江燕書(あふみ) (野菜の名)	オーリヨ	横領(わうりやう) (よこどり)
オーヒ	王妃(わうひ) (おきさき)	オーム	鸚鵡(あふ) (鳥の名)	オーリヨ	横領使(あふりやうし) (官名)
オーワク	往復(わうふく) (ゆきかへり)	オームカシ	大昔(おほ) (大古)	オーワライ	大笑(おほ) (哄笑)
オーブン	横文(わうぶん) (よこもんじ)	オームギ	大麥(おほ) (麥の名)	オイ	筧(おひ) (器具の名)
オーブン	應分(おうぶん) (分相應)	オームネ	大概(おほ) (たいがい)	オイ	甥(おひ) (兄弟の子)
オーブン	歐文(おうぶん) (ヨーロッパの文)	オーメイ	王命(わうめい) (王の命令)	オイカケ	綏(おひ) (冠の)
オーヘイ	横柄(わうへい) (傲慢)	オーモテ	大持(おほ) (一に持てる)	オイカケル	追懸(おひ) (おひかく)
オーベイ	歐米(おうまい) (ヨーロッパ)	オーモン	應問(おうもん) (質問にこたへ)	オイカゼ	追風(おひ) (順風)

オイキ	老木(らうぼく) (古木)	オイル	老(らう) (としよる、お)	オカメ	陸目(らくめ) (傍眼)
オイシ	旨(うまし) (笈を負ふとき)	オイワケ	追分(おひ) (街道の二方にわかれる處)	オカモチ	提筒(ていとう) (料理等を入れたる提げ行く具)
オイズリ	笈摺(おひ) (肩にあてるもの)	オウ	追(おひ) (逐)	オカユ	岡湯(おか) (あがり湯)
オイダキ	追炊(おひ) (飯のー)	オウ	貢(おひ) (肩にー)	オガワ	小川(おが) (小きき川)
オイダス	追出(おひ) (放逐)	オエツ	鳴咽(めい) (涙にむせぶ)	オカン	悪寒(あく) (さむけ)
オイタツ	生立(おひ) (成育)	オカ	岡(おか) (丘、陵、陸)	オキ	沖(おき) (澳)
オイテ	追手(おひ) (順風、又追ふ)	オガクズ	鋸屑(おが) (鋸で木をひいたくづ)	オギ	荻(おぎ) (草の名)
オイテ	於(おいて) (おきての音便)	オカゲ	御蔭(おん) (高庇)	オキアガリ	起上小法師(おきあがり) (不倒翁玩具の名)
オイデ	御出(おいで) (出での敬語)	オカシ	可笑(おかし) (おもしろし)	コボシ	椀(わん) (汁の)
オイハギ	追剽(おひ) (盜賊の一種)	オカス	犯(おかし) (胃、侵)	オキセ	掟(おきて) (法律)
オイボレ	老耄(らうぼう) (老衰)	オカベ	豆腐(とう) (豆腐)	オキナ	翁(おきな) (老人)
オイラン	花魁(おいらん) (遊女の一種)	オガム	拜(おがむ) (禮拜)	オギナウ	補(おぎなう) (たす)

オキヨ	御經 <small>(きやう)</small> (一をよむ)	オクテヨ	億兆 <small>(てい)</small> (多數)	オクレル	後 <small>(おくる)</small>
オキル	起 <small>(おく)</small>	オクツキ	墳墓 <small>(はか)</small>	オクレル	臆 <small>(おくびやう)</small>
オク	置 <small>(机の上に)</small>	オクテ	晩稻 <small>(わせに對して)</small>	オクル	贈 <small>(物を)</small>
オクイ	奥意 <small>(おくの意味)</small>	オクビ	噫 <small>(小欠)</small>	オクル	送 <small>(旅人を)</small>
オクイン	奥印 <small>(區長の一)</small>	オクビ	衽 <small>(衣服の)</small>	オクロー	屋漏 <small>(君子一に)</small>
オクガキ	奥書 <small>(書付のあとに)</small>	オクビヨ	臆病 <small>(卑怯)</small>	オケ	桶 <small>(器の名)</small>
オクウ	屋宇 <small>(いへ)</small>	オクユカシ	奥床 <small>(奥懷)</small>	オケラ	求 <small>(草の名うけら)</small>
オグサ	小草 <small>(小さい草)</small>	オクユキ	奥行 <small>(間口に對して)</small>	オコ	痴 <small>(嗚呼)</small>
オクサマ	奥様 <small>(夫人)</small>	オグラ	小倉 <small>(一羊羹)</small>	オコ	汚行 <small>(きたないおこ)</small>
オクセツ	臆説 <small>(推しばかりの)</small>	オクリジヨ	送狀 <small>(送納書)</small>	オコシゴメ	糶 <small>(菓子の名)</small>
オケソク	臆測 <small>(おしばかり)</small>	オクリナ	詮 <small>(送名)</small>	オコス	起 <small>(興)</small>
オクダン	臆斷 <small>(よい位の判断)</small>	オクリモノ	贈物 <small>(進物)</small>	オコゼ	虎魚 <small>(魚の名)</small>

オコソ	御高祖 <small>(一一口巾)</small>	オサエ	抑 <small>(おしとむ)</small>	オシ	惜 <small>(名残一)</small>
オゴソカ	嚴 <small>(嚴重)</small>	オサエル	押 <small>(抑、おさふ)</small>	オジ	伯父 <small>(叔父)</small>
オコタル	怠 <small>(情)</small>	オサオサ	多 <small>(大抵)</small>	オシアウ	押合 <small>(こみあふ)</small>
オコナウ	行 <small>(行爲)</small>	オザサ	小笹 <small>(小さい竹)</small>	オシイレ	押入 <small>(室につきたる)</small>
オコリ	瘡 <small>(病の名)</small>	オサト	御里 <small>(一が知れる)</small>	オシウツル	押移 <small>(推移)</small>
オコル	怒 <small>(立腹)</small>	オサナシ	幼 <small>(稚)</small>	オシウリ	押賣 <small>(強賣)</small>
オコル	熾 <small>(火が一)</small>	オサマル	治 <small>(家が)</small>	オシエ	教 <small>(訓)</small>
オコル	興 <small>(起、作)</small>	オサメル	治 <small>(修をさむ)</small>	オジ	祖父 <small>(父母の父)</small>
オゴル	驕 <small>(奢)</small>	オサメル	收 <small>(納、藏、なさむ)</small>	オジカ	牡鹿 <small>(獸の名)</small>
オコワ	強飯 <small>(こはめし)</small>	オサン	於饜 <small>(下女)</small>	オシカケ	押掛 <small>(一女房)</small>
オサ	長 <small>(かしら)</small>	オシ	啞 <small>(不具の一)</small>	オシカワ	章 <small>(皮の名)</small>
オサ	箴 <small>(機の名)</small>	オシ	鴛鴦 <small>(鳥の名)</small>	オシキ	折敷 <small>(器の名)</small>

オシゲ	惜氣(惜しき心)	オジヨク	汚辱(耻)	オソワレル	厩(夢中に)
オシケ	怖氣(一がつく)	オシヨセ	押寄(來襲)	オタギ	愛宕(郡名)
オシコム	押込(幽閉)	オシロイ	白粉(顔料)	オダテル	煽動(教唆、おだつ)
オシタオス	押倒(壓倒)	オス	推(壓、捺)	オタフク	阿多福(三平二満)
オシム	愛(惜)	オセジ	御世辭(諛言)	オダマキ	苜環(なのたば)
オシム	吝(嗇)	オリ	懶(獸の名)	オダヤカ	穩(平靜)
オシメ	襪襪(むつき)	オソウ	襲(不意うち、あ)	オダワラヒヨ	小田原(物のきま)
オジメ	緒締(緒をしめるも)	オソガキ	遅咲(晩開)	オジヨ	評定
オシモンド	押問答(問答をつ)	オソナオル	遅刻(おそなほる)	オチアイ	落合(おちあふこと)
オシヤベリ	多辯(饒舌)	オソバ	御側(傍)	オチイル	陥(落入)
オシヨ	和尚(寺の主)	オソマキ	遅蒔(一の種)	オチコチ	遠近(彼此)
オジヨ	御娘(御嬢)	オソレル	恐(懼、怖おそる)	オチド	落度(あやまち)

オチツク	落着(歸着)	オツネン	越年(加歳)	オトス	落(なくす)
オチブレル	零落(沈淪)	オツヤ	乙夜(一の覽)	オドス	織(よるひを)
オチル	落(おつ)	オテン	汚點(けがれた點)	オドス	威(嚇)
オツカケ	追掛(おひかけ)	オテシバ	於轉婆(一娘)	オトズレル	訪(音信、おとづ)
オツカナイ	怖(こはい)	オトオト	弟(年下の同胞)	オトツイ	一昨日(昨日の前日)
オツケン	臆見(推斷)	オトガイ	頤(あご)	オトナ	大人(成人)
オツケン	越権(ですぎ)	オトギ	御伽(一話)	オトナ	乙名(酋長)
オツコー	億劫(不容易)	オドケ	戲(諧謔)	オトメ	少女(娘)
オツテガキ	追書(書面のあとへ)	オトコ	男(一女)	オトモ	御供(一一致します)
オツト	夫(亭主)	オトコメシ	男郎花(草の名)	オトヨメ	娣(弟のつま)
オツトセイ	臘胸臍(獸の名)	オトサタ	音沙汰(一も無)	オトリ	囀(媒鳥)
オツボネ	御局(女官)	オトシアナ	筭(陷穴)	オトル	劣(まける)

オドル	踊 (躍)	オバ	祖母 (父母の母)	オブネ	小舟 (小さいふね)
オドロエル	衰 (衰微、おとろふ)	オバ	伯母 (叔母の姉)	オベツカ	阿諛 (おもねること)
オナジ	同 (等)	オハグロ	鐵漿 (齒をそめるか)	オボエル	覺 (おぼゆ)
オナラ	屁 (へのこと)	オハチ	飯櫃 (めしびつ)	オボシメシ	思召 (おもひの敬語)
オナンド	御納戸 (一色)	オバナ	尾花 (花の名)	オボツカナ	覺束無 (不分明)
オニガワラ	鬼瓦 (瓦の一種)	オヒイサマ	御姫様 (高貴の方)	オボレル	溺 (おぼる)
オニヤライ	鬼儼 (年中行事の一)	オビエル	怯 (おびゆ)	オボロ	朧 (ぼんやり)
オノ	斧 (器の名)	オビジ	帶地 (帯にするもの)	オマエ	御前 (人の前)
オノオノ	各 (各自)	オビタダシ	夥 (多大)	オミ	臣 (けらい)
オノズカラ	自 (自然)	オビドメ	帶留 (帯をとめるも)	オミキ	大御酒 (神酒)
オノノク	戰慄 (ふるふ)	オビヤカス	劫 (脅)	オミゴロモ	小忌衣 (祭服の名)
オノレ	己 (自己)	オビル	帶 (佩、おぶ)	オミナメシ	女郎花 (草の名)

オメイ	汚名 (悪名)	オモダカ	澤瀉 (水草の名)	オモンパカ	慮 (かんがへて見)
オメク	叫喚 (わめく)	オモテ	表 (面)	オモンミル	惟 (思ひ見る)
オメシ	御召 (よぶこと、着る)	オモテ	重手 (重ききず)	オヤカタ	親方 (親分)
オメミエ	御目見 (おめにか)	オモト	萬年青 (草の名)	オヤジ	親仁 (ちいおや)
オモイダス	思出 (想起)	オモニ	重荷 (おもき荷物)	オヤシラズ	親不知 (一の險)
オモイヤル	思遣 (怨)	オモネル	阿 (こびへつらふ)	オヤダマ	親玉 (一の饅頭)
オモウ	念 (思憶、懷想)	オモムク	赴 (趣)	オヤツ	御八時 (一をたべ)
オモエラク	以爲 (謂)	オモムロニ	徐 (しづかに)	オヤブン	親分 (子分に對して)
オモカゲ	倂 (面影)	オモヤ	母屋 (本宅)	オヤミ	小止 (雨の一)
オモカジ	面舵 (航海の語)	オモユ	飯汁 (米のしる)	オヤユビ	親指 (拇指)
オモシ	重 (軽くない)	オモリ	錘 (ばかりのおも)	オヨグ	泳 (游)
オモシロシ	面白 (たのし)	オモンズ	重 (尊ぶ)	オヨリ	凡 (そうたい)

オランダ	和蘭(國の名)	オル	居(ある)	オロチ	大蛇(うばみ)
オリ	汚吏(不正な吏員)	オルガン	風琴(樂器の名)	オワル	終(畢、卒、了)
オリ	檻(獸などの)	オレイ	御禮(一申す)	オンアイ	恩愛(いつくしみ)
オリ	澗(よどみ)	オレクギ	折釘(釘の一種)	オンイ	恩威(なさけとおど)
オリブ	橄欖(一色)	オレメ	折目(一正し)	オンイン	音韻(こゑとひびき)
オリカミ	折紙(一いつきの刀)	オレンジ	橙(一色)	オンガ	温雅(おだやか)
オリカラ	折柄(その時)	オロカ	愚(馬鹿)	オンカイ	音階(音樂の語)
オリスケ	折助(一ー根性)	オロシ	風(山より吹きおろす風)	オンガク	音樂(鳴物)
オリタツ	下立(くだる)	オロシ	卸(一賣)	オンガン	温顔(平和なるかほ)
オリフシ	折節(時節)	オロシダイ	下大根(食物の名)	オンギ	恩誼(めぐみ)
オリモノ	織物(おりたるもの)	オロス	下(下へやる)	オンキユ	恩給(軍人一ー)
オリユ	汚隆(盛衰)	オロソカ	疎(粗)	オンキョ	音響(ひびき)

オンギョク	音曲(なりもの)	オンシユ	恩讎(恩仇)	オンチヨ	恩寵(なさけ)
オンケイ	恩恵(めぐみ)	オンシユ	温習(さらへ)	オンチヨ	音調(音の調子)
オンゲン	温言(おだやかなる)	オンジュ	温柔(むづくりとやばらか)	オンテキ	怨敵(うらみある人)
オンコ	恩顧(ひいき)	オンジュン	温順(おとなしい)	オンテン	恩典(めぐみ)
オンコ	温故(ふるきをたづぬ)	オンシヨ	恩賞(はうび)	オント	音吐(一ー朗々)
オンコ	温厚(おだやか)	オンシヨ	恩情(おめぐみ)	オンド	温度(あたゝかさ)
オンゴク	遠國(とほいくに)	オンシン	音信(たより)	オンド	音頭(一ー取)
オンシ	恩賜(たまもの)	オンジン	恩人(恩をうけた人)	オント	穩當(おだやか)
オンシ	恩師(厄介になつた先生)	オンセイ	音聲(こゑ)	オンドク	音讀(聲をだしてよむ)
オンシツ	温室(むる)	オンセン	温泉(いでゆ)	オントク	恩徳(めぐみ)
オンシヤク	恩借(かりること)	オンタク	恩澤(めぐみ)	オンビキ	音引(一ー日用辭典)
オンシヤク	温石(やさいし)	オンダン	温暖(あたゝか)	オンピョ	音標(一ー文字)

オンビン	音便(文法上の語)	オンリョー	温良(むつくりし)	ガイ	我意(わがま)
オンピン	穩便(おだやか)	オンワ	溫和(むつくりした)	ガイ	該(其といふ意)
オンブ	音符(音楽上の語)			カイアク	改悪(あらためて悪)
オンブツ	恩物(幼稚園の)			カイアワセ	貝合(遊の名)
オンボ	御坊(僧の尊稱)			カイイ	魁(偉(せの大きな)
オンボ	温袍(わたいれ)			カイイ	解頤(大笑)
オンムン	諺文(朝鮮の字)			カイイ	介意(氣にかける)
オンマイ	恩命(有がたき仰せ)			カイイ	會意(會心)
オンメン	恩免(ゆるし)			カイイ	怪異(あやしいこと)
オンヨシ	陰陽師(天文家)			ガイイ	害意(わるい心)
オンリツ	音律(音のしらべ)			カイイレ	買入(購入)
オンリョー	怨靈(幽霊)			カイイン	改印(印をあらため)

「か」

カイイン	海員(ふなのり)	ガイガイ	皚皚(白い形容)	ガイカン	外觀(外見)
カイイン	開院(一形式)	カイガイシ	精悍(つよき事)	ガイカン	外患(そとの心配)
カイイン	會員(政友一)	カイカク	改革(あらためる)	カイキ	回忌(死んだ日のめ)
カイウン	開運(運の開く事)	ガイカク	外廊(そとぐるわ)	カイキ	會期(會の期限)
ガイエン	外援(他のたすけ)	ガイカツ	快調(からりと)	カイキ	甲斐絹(織物の名)
カイエキ	改易(とりあげ)	ガイカツ	概括(ひつくるめ)	カイキ	開基(開山)
カイエン	開演(藝をばじむる)	カイカブル	買被(實際より高)	カイキ	皆既(日、月蝕の)
カイエン	回縁(親類つゞき)	カイカン	開卷(書物のはじめ)	カイキ	快氣(快方)
カイカ	開化(ひらけすいむ)	カイカン	海關(一税)	カイキ	怪疑(あやし)
カイガ	繪畫(ゑ)	カイカン	開函(はこをひらく)	カイギ	會議(相談)
ガイカ	凱歌(かちどき)	カイガン	海岸(うみのきし)	カイギヤク	諧謔(おどけ)
カイガイ	海外(外国)	カイガン	開眼(地蔵の一形式)	カイキユ	懷舊(むかしを思ふ)

カイキョー	階級(階段)	カイケツ	解決(きめる)	カイコ	懐古(昔を憶ふこと)
カイキョ	快擧(舞)	カイケツ	壞血(病)	カイコ	解雇(やとひをとく)
カイキョー	海峽(海のせまき處)	カイゲン	改元(年號改め)	カイゴ	悔悟(さとること)
カイギョー	開業(業を開く)	カイケン	懷劍(小さき刀)	カイゴ	解語(花)
カイキン	皆勤(一日も休まぬ)	カイケン	開眼(かいがん)	カイコ	開港(港をひらく)
ガイキン	外勤(外のつとめ)	カイケン	會見(面會)	カイコ	開校(學校をひらく)
ガイケ	街衢(町)	ガイケン	外見(みえ)	カイコ	借行(共にゆくこと)
カイグイ	買食(不行儀に食)	ガイゲン	該件(其件)	カイコ	海港(みなと)
カイゲン	海軍(省)	ガイゲン	概言(あらましをい)	カイコ	回航(舟のかへる)
ガイケイ	外形(そのかた)	カイゲンレ	戒嚴令(法律の名)	カイコ	蟹行(の文字)
カイケイ	會稽(の耻)	カイコ	蠶(蟲の名)	カイコ	邂逅(めぐりあふ)
カイケイ	會計(勘定)	カイコ	回顧(ふりかへりみ)	カイゴ	會合(よりあひ)

ガイコ	外寇(外國から攻)	カイサク	開鑿(ほりひらく)	カイシキ	解式(數學の)
ガイコ	外交(外國との交)	カイサツ	改札(札あらため)	カイシメ	買占(一人でみな買)
カイコク	開國(國をはじめた)	カイサン	解散(會のちりわか)	カイゾメ	買初(はつがひ)
カイコク	廻國(國々をまはる)	カイサン	海産(物)	カイシヤ	會社(組合の社)
ガイコク	外國(ほかの國)	カイサン	開山(寺の開祖)	カイシヤ	膾炙(人口にのる)
カイコク	海國(男子)	カイザン	改竄(改めなほす)	カイシヤク	介錯(つきそび)
ガイコツ	骸骨(人體の骨ぐみ)	ガイサン	概算(およその見積)	カイシヤク	解釋(ときあかし)
カイコン	開墾(土地を開く)	カイシ	界紙(けいし)	カイシユ	會主(會のあるじ)
カイコン	悔恨(とらむ)	カイシ	懷紙(ふとるがみ)	カイシユ	回收(とりもどす)
カイサイ	皆濟(みなすむこと)	カイシ	開始(はじめること)	カイシユ	改修(あらためなほ)
カイサイ	睡毗(こらみつける)	カイジ	海事(協會)	カイシユ	會衆(よりあひ)
カイザイ	介在(はさまつてあ)	ガイジ	孩兒(幼兒)	カイジユ	海獸(海に住むけし)

カイシユ—	改宗(宗旨をかへる)	カイジヨ—	開場(場所をひらく)	ガイシン	害心(わるい心)
カイジユ—	懐柔(なづけること)	カイジヨ—	開城(旅順—)	ガイジン	凱陣(勝てかへる)
カイシユン	改春(正月のこと)	ガイシヨ—	外妾(外人の妾外)	カイシン	改進(改めずいむ)
ガイシユツ	外出(そとへでる)	カイジヨ—	回状(回章)	カイスイ	海水(うみのみづ)
カイシユシ	悔悛(くいあらたむ)	カイシヨク	戒飾(いましめと)	カイスウ	回数(—切符)
カイシヨ	會所(碁—)	カイシヨク	解職(やくをやめる)	カイスウ	海陬(海邊のかたゑ)
カイシヨ	楷書(眞書)	カイシン	開進(ひらけずいむ)	カイセイ	改正(あらためる)
カイジヨ	解除(とりのぞく)	カイシン	改心(心をあらため)	カイセイ	快晴(上天氣)
カイジヨ	刈鋤(雑草をきりと)	カイシン	改新(あらたまる)	ガイセイ	概世(世のことなを)
カイシヨ—	改稱(改名)	カイシン	戒心(用心)	カイセイ	改姓(姓をかへる)
カイシヨ—	海嘯(津浪)	カイシン	快心(愉快)	ガイセイ	蓋世(世をおほいつ)
カイジヨ—	海上(うみのうへ)	カイジン	灰燼(火のもえがら)	カイセキ	解析(ときわかつ)

カイセキ	會席(—料理)	ガイゼン	駭然(おどろく)	カイソク	會則(會のきまり)
ガイセキ	外戚(母方のしんる)	ガイゼン	慨然(なげく)	カイソク	海賊(海でほたらく)
カイセツ	解説(ときあかし)	カイソ	解訴(ねがひさげ)	ガイソク	概則(おほかたの規)
カイセツ	開設(はじめ設ける)	カイソ	開祖(開基)	ガイソク	外側(そとがは)
ガイセツ	凱切(ひつたりあた)	ガイソ	外祖(—父)	ガイソン	外孫(我娘の嫁して)
ガイセン	凱旋(勝てかへる)	カイソ—	改葬(あらため葬む)	カイダ	懈惰(なまける)
カイセン	界線(さかひのすぢ)	カイソ—	回想(おもひめぐ)	ガイダ	咳唾(つば)
カイセン	開戦(いくさする)	カイソ—	廻漕(水上をは)	カイダイ	拐帶(もちにげ)
カイセン	疥癬(病名ひぜん)	カイソ—	會葬(葬式に行く)	カイダイ	懷胎(子を孕む)
カイセン	改選(議員—)	カイソ—	海藻(海草)	カイダイ	海内(我國の内)
カイセン	海戦(旅順—)	ガイソ—	効奏(わるく天子へ)	カイソ—	潰走(敗走)
カイゼン	改善(あらためよく)	ガイソ—	咳嗽(口をすいぐ)	カイゾ—	改造(あらためつく)

カイダイ	改題 (題をあらためる)	カイテヨ	開帳 (啓籠)	カイテイ	孩提 (少し長じた赤坊)
カイダイ	解題 (書物の大要をときあかす)	カイテヨ	會長 (會頭)	ガイテツ	街鐵 (市街電氣鐵道)
カイダク	快諾 (心地よくうけひく)	ガイテユ	害蟲 (わるいむし)	カイテン	回轉 (まはること)
カイタク	開拓 (あれ地をひらく)	カイツウ	開通 (ひらき通ずる)	カイテン	開店 (店びらき)
カイダン	階段 (きだはし)	カイツク	搔繕 (つくらふこと)	カイデン	皆傳 (みなつたへる)
カイダン	怪談 (怪しきはなし)	ウ	搔摘 (—で話す)	カイト	會頭 (會のかしら)
ガイタン	慨歎 (なげくこと)	カイテイ	階梯 (はしごだん)	カイト	街燈 (町のおかり)
ガイタン	骸炭 (コークス)	カイテイ	海底 (うみのそこ)	カイト	解答 (ときあかしの答)
カイチク	改築 (あらため築く)	カイテイ	改訂 (なほすこと)	カイト	回答 (返事)
カイチユ	海中 (うみのなか)	カイテイ	海程 (海上の里程)	カイド	海道 (東—)
カイチユ	蝸 蝸 (蟲の名)	カイテイ	解停 (とめをとく)	カイド	會堂 (よりあつまる堂)
カイチユ	懷 中 (ふところの中)	カイテイ	開廷 (裁判をはじめ)	カイド	會同 (よりあつまる)

カイド	海棠 (木の名)	カイノ	皆納 (みなをさむる)	カイビョ	開票 (投票を開く)
ガイト	外套 (コート)	カイバ	飼葉 (馬の—)	カイヒョ	界標 (さかひのしる)
カイド	街道 (大道)	カイハイ	壊敗 (くづれやぶる)	カイヒン	海濱 (はまべ)
ガイト	該當 (あてはまる)	ガイハク	該博 (ひろきこと)	カイフウ	海風 (うみかぜ)
ガイド	孩童 (幼児)	カイハツ	開發 (開き出すこと)	カイフウ	開封 (封をひらく)
カイトク	會讀 (集つて讀む)	カイバツ	海拔 (—三千尺)	カイフク	回復 (恢復)
カイナ	肱 (腕)	カイハン	開帆 (船がでる)	カイフク	快復 (病のなほること)
カイニン	解任 (やくをやむる)	カイハン	解版 (活字をとりはづす)	カイブツ	怪物 (あやしきもの)
カイニン	懷妊 (はらむこと)	カイヒ	開扉 (とびらを開く)	ガイブツ	外物 (自分以外のもの)
カイヌシ	飼主 (犬の—)	カイヒ	回避 (よけること)	ガイブン	怪聞 (あやしき評判)
カイネン	改年 (改歳)	カイビヤク	開關 (ひらけること)	ガイブン	廻文 (くわいじやう)
ガイネン	概念 (大體の觀念)	カイヒョ	海豹 (海獸の名)	ガイブン	外聞 (よその評判)

カイヘー	海兵(一團)	カイホー	快報(心地よきし)	カイメン	海綿(動物の名)
カイヘー	開閉(あけたて)	カイボ	海防(海邊のまもり)	ガイメン	外面(そとつら)
カイヘー	開平(數學の二法)	カイボ	解剖(人體などをきりわくること)	カイメン	海面(海の上)
カイヘー	解兵(兵をときばな)	ガイボ	外 貌(よその見え)	カイモク	皆目(すつぱり)
カイヘン	海邊(海ばた)	カイマキ	搔卷(夜着の一種)	カイモン	開門(門をあける)
カイベン	快辯(よき辯)	カイミ	快味(心持よいこと)	カイモン	海門(せと、海峡)
カイホー	會 報(同窓一)	カイミヨ	戒名(死者の名)	カイユ	快癒(病のなほること)
カイホー	懷抱(見一せる意)	カイム	皆無(すつぱりない)	カイユ	誨諭(をしへ)
カイホー	快方(一に赴く)	ガイム	外務(一、大臣)	カイユ	回遊(一、列軍)
カイホー	壞崩(くづる)	カイメイ	改名(名をあらたむ)	カイヨ	海容(ゆるす)
カイホー	開放(あけな)	カイメイ	開明(一、の世)	カイヨ	解備(やとひをとく)
カイホー	介抱(病のせわ)	カイメイ	晦冥(くらきこと)	カイヨ	外 洋(おほうみ)

ガイヨ	外 用(一、藥)	カイリツ	介立(はさまりたつ)	カイロク	回祿(火事のこと)
ガイライ	傀儡(でく人形)	ガイリヤク	概略(あらまし)	カイワ	會話(はなし)
ガイライ	外來(一、患者)	カイリユ	海流(うみのながれ)	カイワイ	界限(近邊)
カトラク	快樂(たのしみ)	カイリユ	開立(數學の二法)	カイワン	海灣(入江、内海)
カトラク	偕樂(ともに楽しむ)	カイリヨ	改良(改善)	カイン	課員(會計一)
カイラン	潰亂(つぶれること)	カイレキ	改曆(こよみがあら)	カイン	過員(定員以上に)
カイラン	回覽(まはし見る)	カイロ	懷爐(一、灰)	カウ	買 (品物を)
カイラン	解纜(舟の出發)	カイロ	海驢(海獸の名あし)	カウ	飼 (鳥を)
カイリ	海狸(動物の名)	ガイロ	海路(海のみち)	カウ	飼 (鳥を)
カイリ	解離(とけばなれる)	ガイロ	街路(まちのみち)	ガエ	家運(いへの運)
カイリ	乖離(そむきはなる)	カイロ	偕老(共におゆる)	ガエウタ	替唄(三味の)
カイリク	海陸(うみとわか)	カイロ	回廊(まはり廊下)	カエキ	課役(人をつかふ)

カエス	返 <small>かへす</small> (還、反)	カオ	花押 <small>くわあふ</small> (かき判)	カカエ	抱 <small>かかへ</small> (だくこと)
カエス	解 <small>かへす</small> (卵を)	カオク	家屋 <small>かなく</small> (いへ)	カカエル	抱 <small>かかへる</small> (だく、かかふ)
カエツテ	却 <small>かへつて</small> (うちかはつて)	カオル	蕪 <small>かをる</small> (にぼふ)	カカク	華客 <small>くわ</small> (得意先き)
カエデ	楓 <small>かへて</small> (木の名)	カカ	嚙 <small>かへり</small> (妻の賤稱)	カカク	家格 <small>いへの格式</small>
カエリミル	願 <small>かへりみる</small> (省)	カカ	呵呵 <small>いーと笑ふ</small>	カカク	價格 <small>れうち</small>
カエル	替 <small>かへる</small> (代、變、かふ)	ガガ	哦哦 <small>トトたる高山</small>	カガク	家學 <small>家につたはる</small>
カエル	歸 <small>かへる</small> (還)	カカイ	嘉會 <small>くわい</small> (賀會)	カガク	歌學 <small>歌についての</small>
カエル	蛙 <small>かへる</small> (蟲の名)	カガイ	禍害 <small>くわがい</small> (わざわい)	カガク	科學 <small>學問の名</small>
カエン	火焰 <small>くわ</small> (ほのほ)	カガイ	加害 <small>害を加へし者</small>	カガク	化學 <small>學問の名</small>
ガエン	賀宴 <small>かへん</small> (祝ひのさかも)	カガイ	花街 <small>いるまち</small>	ガカク	賀客 <small>新年のー</small>
ガエンス	肯 <small>かへん</small> (うけがふ)	カカイ	歌會 <small>うたの會</small>	ガカク	雅客 <small>風流人</small>
カオ	顔 <small>かほ</small> (面)	ガカイ	瓦解 <small>くだける</small>	ガガク	雅樂 <small>音樂の一種</small>

カカゲル	掲 <small>かかぐ</small> (かかぐ)	カカン	花冠 <small>くわかん</small> (花の部分の名)	カギ	歌妓 <small>うたひめ</small>
カカシ	案山子 <small>あざなこ</small> (鳥おどし)	カガン	河岸 <small>かはぎし</small>	カギ	鉤 <small>まがつたるか</small>
カカト	踵 <small>くびす</small>	カキ	禍機 <small>くわがい</small> (ころなり)	ガキ	餓鬼 <small>うゑたる鬼</small>
カガミ	鏡 <small>かみ</small> (鑑)	カキ	花卉 <small>くわ</small> (花のさく草木)	カキイレ	書入 <small>記入、ひきあ</small>
カガム	屈 <small>かがむ</small> (跼躄)	カキ	柿 <small>かき</small> (柿、木の名)	カキオキ	書置 <small>遺書</small>
カガヤク	輝 <small>かがやく</small> (耀)	カキ	牡蠣 <small>かき</small> (貝の名)	カキカタ	書方 <small>かき様習字</small>
カカリ	掛 <small>かかり</small> (係)	カキ	花器 <small>くわ</small> (はないけ)	カギザキ	鉤裂 <small>着物をひつか</small>
カガリ	大鋸 <small>かがり</small> (器具の名)	カキ	垣 <small>かき</small> (牆)	カキツケ	書付 <small>かきもの、書</small>
カガリ	箒 <small>かがり</small> (燎火)	カキ	嫁期 <small>よめいり時</small>	カキツバタ	杜若 <small>かきつばた</small> (燕子花、草の名)
カカル	掛 <small>かか</small> (懸、挂)	カキ	夏季 <small>かき</small> (一休業)	カキトメ	書留 <small>郵便などの</small>
カガル	隙 <small>かがる</small> (絲にて)	カギ	鉤 <small>かぎ</small> (鍵)	カキトリ	書取 <small>英文のー</small>
カカワル	關 <small>かか</small> (與、拘)	カギ	嘉儀 <small>めでたきこと</small>	カキヌキ	書拔 <small>拔萃</small>

カキネ	垣根(かき)	カギリ	限(限界)	ガク	額(家具の名)
カキマワス	振廻(振拌)	カキワリ	書割(背景)	ガク	樂(音楽)
カキユ	下級(一学生徒)	カキン	瑕瑾(きず)	ガク	尊(花のうてな)
カキユ	火急(大急)	カキン	家禽(家にかふ鳥)	カクイ	各位(皆々さま)
カキユ	蝸牛(蝸の名)	カク	佳句(よい句)	カクイ	隔意(隔心)
カキヨ	家郷(ふるさと)	カク	書(字を)	ガクイ	學位(博士號)
カキヨ	架橋(はしをかける)	カク	搔(抓)	カクイ	畫(一つにしきる)
カキヨ	寡居(やもめぐらし)	カク	鼻(かつぐ)	カクイン	客員(客分の會員)
カキヨ	佳境(よき處)	カク	缺(闕)	カクイン	各員(皆々)
カキヨ	家業(家のわざ)	カク	嗅(鼻にて)	ガクウ	架空(想像)
カキヨ	課業(わりあてた)	カク	下愚(おろか)	カクエリ	角矜(角なるえり)
カキヨ	歌曲(譜曲)	カク	家具(家の道具)	ガクオ	嶽翁(岳父)

カクガイ	廓外(くわくがい)	カクサク	劃策(計略を立てる)	カクシヤ	客舎(やどや)
カクガイ	格外(法外)	カクジ	各自(おの)	カクシヤ	客車(貨車に對して)
カクギ	閣議(内閣の會議)	ガクシ	學資(學問のもと)	カクシヤク	嬰孺(老壯)
ガクギョ	學業(まなびのわざ)	ガクシ	學士(學問上の稱號)	カクシユ	各種(いろ)
ガクゲイ	學藝(がくもんげい)	ガクジ	學事(學問のこと)	カクジユ	擴充(ひろげみた)
カクゲツ	各月(毎月)	カクシキ	格式(分限)	ガクジユツ	學術(學問と技術)
カクゲツ	客月(先月)	ガクシキ	學識(學問知識)	カクシヨ	各處(おのの場)
カクゲツ	隔月(一月をき)	カクシゲイ	隱藝(ひそかに學ん)	カクシヨ	鶴氈(鶴の毛衣)
カクゲン	格言(金言)	カクシツ	確執(なかつがひ)	カクシヨ	確證(たしかな)
カクゴ	覺悟(心がまへ)	カクジツ	隔日(一日おき)	カクジヨ	各條(おのの箇)
カクサイ	學才(學問上の才)	カクジツ	確實(たしか)	ガクシヨク	學殖(學問のある)
カクサイ	客歲(前の年)	ガクシヤ	學者(學問のある人)	カクシン	閣臣(大臣たち)

カクシン	確信(しつかり思ふ)	ガクソー	學窓(まなびのまど)	ガクチヨ	學長(大—)
カクシン	革進(あらたまり進む)	ガクソク	學則(學生に關する)	カクツウ	各通(各々の書面)
カクジン	各人(おの—)	ガクゼン	愕然(びつくり)	カクテイ	確定(しかと定むる)
カクス	隱(匿、藏)	カクダイ	廓大(おほきくなる)	カクテイ	角觚(すまふ)
カクセイ	隔世(よなへだてる)	ガクタイ	樂隊(音樂隊)	ガクテン	樂典(音樂の規則)
ガクセイ	學生(生徒)	カクダン	格段(とくべつに)	カクド	赫怒(大怒り)
カクセイ	廓清(きよめる)	カクチ	各地(おの—の土)	カクド	角度(角の度数)
ガクセイ	學制(學校について)	カクチク	角逐(競争する)	カクト	格闘(た—かふ)
ガクセキ	學籍(—簿)	カクチュ	廓中(くるわの内)	カクト	客冬(去年の冬)
ガクセツ	學說(學問上のせつ)	カクチヨ	較著(いちじると)	カクト	確答(たしかな返事)
カクセツ	確說(たしかな説)	カクチヨ	擴張(ひろがること)	カクトク	獲得(手に入る—)
カクゼツ	隔絶(へだてる)	ガクチヨ	樂長(軍—)	カクニ	確認(しかと認むる)

ガクニン	樂人(音樂をやる人)	ガクフ	岳父(妻の父)	ガクメン	額面(がく)
カクネン	隔年(一年おき)	ガクフウ	學風(學校の風)	ガクモン	學問(まなび)
カクネン	客年(先年)	カクブツ	格物(理をきほめる)	カクモ	圍(隱匿)
ガクネン	學年(第一—)	カクベエ	角兵衛(—獅子)	カクヤ	隔夜(かくばん)
ガクハ	學派(學問上の流派)	ガクヘン	萼片(植物學の語)	ガクヤ	樂屋(芝居の—)
ガクバツ	學閥(學問上のぼつ)	カクホ	確報(たしかなしら)	ガクユ	學友(—會)
カクハン	各般(色々)	カクポ	角帽(—の生徒)	カグラ	神樂(神前の音樂)
カクバン	隔番(一番づ—おい)	ガクボク	學僕(學問さしても)	カクラン	霍亂(病の名)
カクバン	隔晩(一夜おき)	カクマク	角膜(眼球の一部分)	カクリ	隔離(へだてはなす)
カクビキ	畫引(—の字典)	カクマク	膈膜(横—)	ガクリ	學理(學問上の理論)
カクヒツ	摺筆(筆をおく)	ガクム	學務(—委員)	ガクリヨ	學寮(生徒の寄宿す)
ガクフ	樂譜(音樂の譜曲)	カクメイ	革命(代のかはり)	ガクリヨク	學力(學問の力)

ガケレイ	學齡 <small>(小學校に入る年齢)</small>	カケイ	家系 <small>(家すぢ)</small>	カケザン	掛算 <small>(乗算)</small>
カクレイ	閣令 <small>(内閣より出す命令)</small>	カケイ	家兄 <small>(わがあに)</small>	カケジ	掛地 <small>(かけもの)</small>
カクレル	隠 <small>(匿、かくる)</small>	カケイ	家計 <small>(生活)</small>	カケツ	可決 <small>(よしと定むる)</small>
カクロン	確論 <small>(たしかな論)</small>	ガケイ	佳景 <small>(よき景色)</small>	カケツ	果決 <small>(思ひきつて事を断る)</small>
カクン	各論 <small>(總論に對して)</small>	カケウリ	雅兄 <small>(他人の尊稱)</small>	カケトリ	掛取 <small>(掛金を集めにまはる人)</small>
カケ	家訓 <small>(いへのをしへ)</small>	カケオチ	駈落 <small>(現金に對して)</small>	カフネ	掛直 <small>(實價よりたか)</small>
カケ	賭 <small>(勝負ごと)</small>	カケガエ	掛替 <small>(かへり)</small>	カケヒ	寬 <small>(水をひくもの)</small>
カゲ	影 <small>(陰、影)</small>	カゲキ	過激 <small>(はげしくすぐ)</small>	カケヒキ	駈引 <small>(をりを見計ふ)</small>
ガケ	崖 <small>(けはしき岸)</small>	カゲキ	歌劇 <small>(オペラ)</small>	カゲボシ	影法師 <small>(人かげのこ)</small>
カケアイ	掛合 <small>(照會)</small>	カケゴエ	掛壁 <small>(人を勵すため)</small>	カケマワル	走廻 <small>(奔走)</small>
カケアシ	駈足 <small>(走ること)</small>	カケコトバ	懸詞 <small>(兼詞)</small>	カケメ	缺目 <small>(貫目の不足)</small>

カケモノ	掛物 <small>(掛軸)</small>	カゲン	下弦 <small>(十五日以後の月)</small>	カゴ	化合 <small>(化學上の語)</small>
カケラ	缺片 <small>(かたなし)</small>	カゲン	訛言 <small>(なまりことば)</small>	カゴイ	圍 <small>(板)</small>
カケル	駈 <small>(かく)</small>	カゲン	寡言 <small>(口かすの少な)</small>	カコウ	圍 <small>(とりかこむ)</small>
カケル	翔 <small>(空をたぶ)</small>	カゲン	禍源 <small>(わざはひのも)</small>	カコク	苛酷 <small>(むごたらしき)</small>
カケル	掛 <small>(挂、懸)</small>	カコ	過去 <small>(すぎ去りし方)</small>	カコツ	詔 <small>(なげ)</small>
カゲロ	陽炎 <small>(野馬)</small>	カゴ	籠 <small>(籠、器の名)</small>	カコツケ	託 <small>(ことよせる)</small>
カケン	家憲 <small>(家のきそく)</small>	カゴ	駕籠 <small>(乗物の名)</small>	カコム	圍 <small>(圍繞)</small>
カケン	家殿 <small>(父のこと)</small>	カゴ	加護 <small>(神佛の助け)</small>	カゴン	過言 <small>(いひすぎ)</small>
ガケン	我見 <small>(おのれ一人の意見)</small>	カコ	佳肴 <small>(よいさかな)</small>	カサ	笠 <small>(かぶる)</small>
ガケン	雅言 <small>(ひやびな言)</small>	カコ	河口 <small>(かはぐち)</small>	カサ	傘 <small>(紙ばりの)</small>
カゲン	加減 <small>(工合)</small>	カコ	花崗 <small>(一石)</small>	カサ	嵩 <small>(分量)</small>
カゲン	嘉言 <small>(よきことば)</small>	ガコ	畫工 <small>(ゑし)</small>	カサ	暈 <small>(日月の)</small>

カサ	瘡 (病の名)	カサネル	重 (襲、かさね)	カシ	下肢 (足のこと)
カサイ	火災 (火事)	カサヅタ	瘡蓋 (腫物の上皮)	カシ	瑕疵 (きず)
カザイ	貨財 (たから)	カサムキ	風向 (一がわるい)	カシ	家資 (資産)
カザイ	家財 (家の財産)	カザリ	飾 (鏝)	カジ	火事 (出火)
カサク	家作 (いへつくり)	カサン	家産 (身代)	カジ	梶 (木の名)
カザケ	風氣 (風邪)	カサン	加算 (くはへて数へ)	カジ	舵 (舟の)
カサク	假作 (かりのつくり)	カザン	火山 (烟をはく山)	カジ	加持 (祈禱)
カサク	佳作 (上等の作)	カサン	加餐 (養生)	カジ	鍛冶 (金をきたふ)
カササギ	鶺鴒 (鳥の名)	カシ	菓子 (食物の名)	ガシ	餓死 (うゑじに)
カザシ	挿頭 (一の花)	カシ	檜 (木の名)	ガシ	賀詞 (いはひの言葉)
カザス	驛 (ふりかざす)	カシ	河岸 (河のきし)	カジカ	鯀 (魚の名)
カサツ	苛察 (厳しくさぐる)	カシ	下士 (軍人の階級)	カジカ	河鹿 (かへるの一種)

カジカム	龜屈 (寒さで手が)	カシマ	鹿島 (一神宮)	カシヨ	歌書 (うたのほん)
カシグ	炊 (飯を)	カシマシ	喧 (やがまし)	カシヨ	華胥 (一の夢)
カジケル	憔悴 (冷える、衰へ)	カシヤ	華奢 (おごり)	カシヨ	箇處 (指す處)
カシコ	彼處 (あそこ)	カシヤ	貸家 (かすべきいへ)	カシヨ	寡少 (すこし)
カシコシ	畏 (恐)	カジヤ	冠者 (太郎一)	カシヨ	過賞 (ほめすぎ)
カシコシ	賢 (愚の反)	カシヤク	苛責 (せめさいなむ)	カシヨ	火傷 (やけど)
カシコマル	畏 (おそれいる)	ガシユ	雅趣 (面白味)	カシヨ	歌頌 (うたひほむ)
カシズク	傳 (愛護)	カシユ	家集 (西行の一)	カシヨ	家乗 (日記)
カシツ	過失 (あやまり)	カシユ	歌集 (うたをあつめ)	カシヨ	箇條 (條款)
カジツ	過 (このあひだ)	カジュ	家従 (一家の雇人)	カシヨ	下情 (下々のあり)
カジツ	果實 (木のみ)	ガシユ	我執 (固執)	カシヨ	過剩 (餘)
カシマ	貸間 (かすべきへや)	カジュ	過重 (おもすぎる)	ガシヨ	臥床 (ねどころ)

ガジヨ	畫帖(畫本)	カシヨク	過食(たべすぎる)	カシヨク	稼穡(農事)	カシヨク	貨殖(まうけこと)	カシヨク	華燭之典(婚禮)	カシラ	頭(あたま)	カジル	齧(物の片はした)	カシワ	柏(木の名)	カシン	家臣(けらい)	カシン	嘉辰(めでたき日)	カシン	花信(花のたより)	カジン	歌人(うたよみ)
カジン	寡人(貴人の語、わたくし)	カシン	禍心(あしき心)	カジン	佳人(美人)	カジン	家人(めしつかひ)	ガジン	雅人(風流人)	カス	嫁(よめいりする)	カス	貸(金を)	カス	滓(澱)	カス	糟(粕)	カズ	數(一、二、三)	カズ	數(如一、二、三)	カス	瓦斯(氣の名)
カスイ	河水(かはみづ)	カズイ	嘉瑞(めでたきしら)	カスカ	幽(微)	カスガイ	銚(銚)	カズク	潜(水をくぐる)	カズク	被(かぶる)	カズノコ	麗子(敷の子)	カスミ	鳥網(鳥をとる具)	カスミ	霞(霧のうすきも)	カスメル	掠(ぬすむ、すこし)	カズラ	葛(草の名)	カズラ	鬘(頭にかぶる)

カスリ	飛白(織物の名)	カスル	掠(かすめとる)	カセ	杵(糸をくる具)	カセ	柳(手足にはめる)	カセ	收齧(傷などがかせ)	カゼ	風(空をふく)	カゼ	風邪(感冒)	カセイ	苛政(ひどい政治)	カセイ	歌聖(歌の名人)	カセイ	家政(家事)	カセイ	化生(なりかばる)	カセイ	家聲(家の名)
カセイ	加勢(手だすけ)	カセイ	假聲(こわいる)	カセイ	化成(一、岩)	カセイ	火星(星の名)	カセイ	火勞(火のいきほひ)	カゼイ	課税(税をわりつけ)	カゼイ	苛税(重き税)	カセキ	化石(草木などの石)	カセグ	稼(はたらく)	カセツ	架設(かけ設ける)	カセツ	假設(かりにし)	カセツ	佳節(目出たい日)
カセン	花氈(はなもうせん)	カセン	歌仙(歌の名人)	カゼイ	果然(はたして)	ガゼン	俄然(にはかに)	ガセンシ	畫仙紙(紙の一種)	カソ	假粧(かりのよそ)	カソ	火葬(火にて死體)	カソ	下層(したつら)	カソ	家相(家の相)	カゾ	家藏(家にしまひお)	カゾ	加増(ふやすこと)	カゾ	畫像(畫にかきた)

カゾエル	數 (かぞふ)	カタイ	過意 (あやまち)	カタキウチ	敵討 (復讐)
カソク	加速 (ー動)	カダイ	課題 (題を課する)	カタク	假托 (ことよせる)
カゾク	家族 (うからやから)	ガダイ	畫題 (ゑのだい)	カタク	家宅 (いへの中)
カゾク	華族 (有爵者及びその家族)	カタイジ	片意地 (偏癖)	カタクチ	片口 (器具の名)
ガゾク	雅俗 (風流と俗と)	カタガキ	肩書 (官位學位の如きもの)	カタクナ	頑 (頑固)
カタ	方 (左のー)	カタカケ	肩掛 (シヨール)	カタクリ	片栗 (ー粉)
カタ	形 (模)	カタガタ	旁 (がてら)	カタコト	片言 (小兒のー)
カタ	肩 (からだの)	カタガタ	方々 (皆々)	カタシ	固 (堅、硬、確)
カタ	型 (鑄物の)	カタカナ	片假名 (假名の一)	カタシ	難 (困難)
カタ	濁 (水たまり)	カタカワ	片側 (一方のかは)	カタジケナ	辱 (忝)
カタ	過多 (多ほすぎる)	カタギ	氣質 (老人ー)	カタズ	固唾 (つばき)
カタ	夥多 (おびたし)	カタギ	堅氣 (忠實)	カタズク	片付 (落着)

カタチ	形 (容)	カタメル	固 (かたむ)	ガチ	雅致 (おもむきのあ)
カタツブリ	蝸牛 (蝸の名)	カタヨル	片寄 (偏倚)	カチアウ	搗合 (衝突)
カタドル	象 (眞似)	カタル	加答兒 (病の名)	カチク	家畜 (家にかふ鳥獸)
カタナ	刀 (自刃)	カタル	騙 (あざむく)	カチグリ	搗栗 (かたくほした栗)
カタハシ	片端 (一端)	カタル	語 (ばなす)	カチドキ	勝鬨 (ーをあげる)
カタバミ	酢漿 (草の名)	カタワ	不具 (癩疾)	カチマケ	勝敗 (優劣)
カタビラ	帷子 (衣の名)	カタワラ	傍 (側)	カチユ	和衷 (ー協同)
カタマリ	團 (塊)	カタン	荷擔 (力をそふるこ)	カチユ	渦中 (うづのなか)
カタマル	固 (凝固)	カダン	花壇 (花さく草木をうゑる處)	カチユ	火中 (火のなか)
カタミ	肩身 (ーが広い)	カダン	果斷 (決心の早きこ)	カチユ	華貴 (華族)
カタミ	形見 (記念)	カチ	價值 (ねうち)	カチユ	家中 (大名のー)
カタムク	傾 (傾斜)	カチ	徒行 (あるくこと)	カチヨ	課長 (課のかしら)

カチヨ—	蚊帳(かや)	カツカク	赫赫(赫赫たる功名)	カッキン	恪勤(よくつとめる)
カチヨ—	家長(戸主)	ガツカリ	落膽(失望)	カツケ	脚氣(病の名)
ガチヨ—	花鳥(はなとり)	カツカン	客観(客観的)	カツケイ	活計(くらし)
カツ	鷺鳥(鳥の名)	カツガン	活眼(活眼を開く)	カツゲキ	活劇(活劇を演ず)
カツ	捷(勝、克)	ガツカン	學監(教員の總長)	カツケイ	活計(くらし)
カツ	且(又の意)	カッキ	活氣(勢のよいこと)	カツコ	羯鼓(樂器の名)
カツアイ	割愛(思ひ切る)	カッキ	客氣(年少のはやり)	カツコ	括弧(符號の名)
カツオ	堅魚(松魚)	ガツキ	樂器(音樂に用ゐる器)	カツコ	確固(たしか)
カツカ	隔靴(くつをへだつ)	ガツキ	學期(第一—)	カツコ	各個(一一教練)
カツカ	各科(おの—の科)	カツグ	擔(になふ)	カツコ—	恰好(容子のよき)
ガツカ	閣下(貴人の尊稱)	ガツキユ—	學級(一一主任)	カツゴ—	渴仰(ふかく望む)
ガツカ	學科(學問のしな)	カッキヨ	割據(分れたてこと)	ガツコ—	學校(學びの家)

カッサイ	喝采(やんやの聲)	ガツソ—	合奏(樂器をあはす)	ガツテン	合點(承知)
カツジ	活字(活版の字)	カツソク	活塞(ホンプの—)	カツト—	葛藤(紛争)
ガツシキ	合式(いつさい)	カツタイ	癩(天刑病)	カツド—	喝道(さけぶ)
カツシヤ	滑車(器械の名)	ガツタイ	合體(一つにする)	カツド—	活動(一一寫眞)
ガツシユ—	合衆(一—國)	カツタツ	淵達(からつとする)	カツパ	河童(獸の名)
カツジヨ—	割讓(わけゆづる)	カツダン	割斷(わりたつ)	カツパ	合羽(雨具の名)
ガツシヨ—	合掌(手をあはす)	カツタン	褐炭(礦物の名)	カツパ	喝破(どなりつける)
ガツシヨク	月蝕(天文の語)	カツチ	猾智(わるちゑ)	カツパツ	活潑(勢のよきこと)
カツセン	括栓(水道の—)	カツチ	點智(かうかつなこ)	カツパライ	搔擾(盜人の一種)
カツセン	合戦(いくさ)	カツチュ—	甲冑(よろひかぶと)	カツパン	活版(版の名)
カツゼン	豁然(からりと)	カツテ	嘗(曾、まへかど)	カツプク	恰幅(大きい—)
ガツソ—	合葬(あはせ葬むる)	カツテ	勝手(隨意)	カツブツ	活物(いきもの)

カッブク	割腹(腹をきること)	カツロ	活路(にげみち)	カド	門(出入口)
ガッペイ	合併(あはす)	カテ	糴(かれひ)	カド	家奴(めしつかひの)
カッペキ	合壁(近所—)	カテ	糴(補ひ加へる食)	カド	下奴(やつこ)
カッポ	濶歩(大またにある)	カテイ	假定(かりにきめる)	カド	角(すみ)
カッポ—	渴望(しきりにのぞむこと)	カテイ	課程(學科の程度)	カド	廉(條件)
カッポ—	割烹(料理)	カテイ	家庭(家の内)	カド	過度(度にすぎること)
ガッポン	合本(あはせた本)	カデン	家傳(—の妙藥)	カド—	下等(上等に對して)
カッポレ	活惚(—を踊る)	カデン	訛傳(あやまりのつ)	カト—	過當(すぎる)
カツモク	刮目(目をみはるこ)	カデン	瓜田(うりばたけ)	カト—	河東(川のひがし)
カツヨ—	活川(はたらき)	ガテン	合點(しようち)	カド—	家道(いへのくらし)
カツラ	桂(水の名)	ガデン	我田(—引水)	カド—	家僮(こもの)
カツリヨク	括方(—計)	カト	過渡(—の時代)	カド—	歌道(うたのみち)

カトク	家督(あとつぎ)	カナグ	金具(かなもの)	カナメモチ	要冬青(植物の名)
カドズケ	門付(物もらひの—)	カナクギ	金釘(かれのくぎ)	カナラズ	必(屹度)
カドナミ	門並(毎戸)	カナグシ	金串(かれのくし)	カナリ	可也(—のでき)
カトリ	縑(織物の名)	カナケ	金氣(金屬の氣)	カニ	蟹(動物の名)
カドリツク	加特力(——教)	カナシミ	悲(哀)	カニユ—	加入(仲間入り)
カドワカス	誘拐(勾引)	カナズ	奏(音樂を)	カネ	鐘(鉦)
カトンボ	蚊蜻蛉(蟲の名)	カナズカイ	假名遣(かなを正し)	カネ	鐵漿(齒をそむる)
カナイ	家内(いへのうち)	カナズチ	鐵槌(器具の名)	カネガシ	金貸(—業)
カナウ	叶(稱、適、かなふ)	カナタ	彼方(あなた)	カネザシ	曲尺(尺の名)
カナエ	鼎(器の名)	カナダラヒ	金盥(器具の名)	カネテ	豫(前以て)
カナキリ	金切(—こぎ)	カナボ—	鐵棒(てつの棒)	カネモチ	金持(富豪)
カナキン	金巾(織物の名)	カナメ	要(主眼)	カネル	兼(二のしごとす)

カネル	難 (行きし、かぬ)	カハン	過般 (このあひだ)	ガビョー	臥病 (病氣にて床につく)
カノ	嘉納 (よしとしてき)	カハン	加判 (他人と共に印を捺す)	カヒン	佳貨 (よいおきやく)
カノエ	庚 (十千の一)	カハン	河畔 (かはのほとり)	カヒン	河濱 (かはぎし)
カノコ	鹿子 (縞絞)	カバン	革袋 (鞆)	カヒン	佳品 (上等品)
カノト	辛 (十千の一)	カハン	過半 (半分以上)	カフ	家父 (ちい)
カバ	樺 (木の名)	カヒ	下婢 (下女)	カフ	家扶 (一家の雇人)
カバ	河馬 (獸の名)	カヒ	可否 (よしあし)	カフ	寡婦 (後家)
カバカリ	斯許 (これほど)	カビ	華美 (うつくし)	カフ	家譜 (系圖)
ガハク	畫伯 (ゑしの敬稱)	カビ	黴 (腐敗して生ずるもの)	カフ	下附 (下げ渡す)
カバネ	屍 (しかい)	ガビ	蛾眉 (三月月形のまゆ)	カフウ	家風 (いへのふう)
カバネ	加婆羅 (尺、姓)	カヒツ	加筆 (筆を加ふる)	カフウ	下風 (かざしも)
カバヤキ	蒲焼 (鰻の一)	ガビョー	餓死 (うゑ死んだ人)	カブキ	冠木 (一門)

カブキ	歌舞伎 (芝居)	カヘイ	貨幣 (金銭)	カマ	鎌 (草をかる)
カフキユ	過不及 (すぎる足らぬ)	カヘイ	花瓶 (花いけ)	ガマ	蒲 (草の名)
カブケン	株券 (實業上の語)	ガヘイ	畫餅 (無益)	ガマ	蝦蟇 (ひきがへる)
カブシキ	株式 (一會社)	カホー	過褒 (ほめすぎ)	カマエ	構 (門)
カブツ	貨物 (しなもの)	カホー	加法 (よせざん)	ガマガチ	蝦蟇口 (ぜにいれ)
カブト	兜 (武具の名甲)	カホー	苛法 (むごい法律)	カマス	吠 (蒲葺)
カブラ	蕪菁 (野菜の名)	カホー	家法 (家のきまり)	カマス	師 (魚の名)
カブラ	鏑 (矢の名)	カホー	果報 (よきむくい)	カマチ	框 (床の上の木)
カブル	被 (蒙)	カホー	加俸 (給料を増す)	カマツカ	缺 (魚の名)
カブン	過分 (分にすぎる)	カボ	庇護 (庇保)	カマド	竈 (へつつひ)
カベ	壁 (家の)	カボチャ	南瓜 (野菜の名)	カマボコ	蒲鉾 (食物の名)
カヘイ	火兵 (一戦)	カマ	釜 (飯をたく)	ガマン	我慢 (剛愎)

カミ	神 <small>(人間以上のもの)</small>	カメイ	下名 <small>(自分の稱)</small>	カモツ	貨物 <small>(一車)</small>
カミ	加味 <small>(味を加ふるこ)</small>	カメイ	下命 <small>(命をくだす)</small>	カモメ	鷗 <small>(水鳥)</small>
カミガタ	上方 <small>(京坂地方)</small>	カメイ	家名 <small>(いへの名)</small>	カモン	花紋 <small>(はなの紋)</small>
カミクズ	紙屑 <small>(一買ひ)</small>	カメイ	佳名 <small>(よいなまへ)</small>	カモン	家紋 <small>(いへのもん)</small>
カミスキ	紙漉 <small>(かみをすくこ)</small>	カメン	加盟 <small>(仲間入り)</small>	カモン	家門 <small>(一家のこと)</small>
カミソリ	剃刀 <small>(器の名)</small>	カモイ	假面 <small>(おめん)</small>	カモン	下間 <small>(下の者にたつ)</small>
カミナズキ	神無月 <small>(十月のこと)</small>	カモイ	鴨 <small>(鳥の名)</small>	ガモン	掃部 <small>(一頭)</small>
カミナリ	雷 <small>(いかづち)</small>	カモウリ	鴨居 <small>(窓の上の木)</small>	ガモン	牙門 <small>(本陣の門)</small>
カミユイ	髮結 <small>(理髪)</small>	カモク	冬瓜 <small>(野菜の名)</small>	カヤ	衙門 <small>(支那の役所)</small>
カム	嚙 <small>(噛、咬)</small>	カモス	科目 <small>(試験一)</small>	カヤ	茅 <small>(萱、草の名)</small>
カメ	龜 <small>(動物の名)</small>	カモジ	醸 <small>(酒を)</small>	カヤ	榧 <small>(木の名)</small>
カメ	甕 <small>(瓶)</small>		鬘 <small>(そへ髪)</small>	カヤ	夏夜 <small>(なつこの)</small>

カヤ	萱 <small>(草の名)</small>	カラ	殼 <small>(身のなきがら)</small>	カラコー	争 <small>(弄戯、椰揄)</small>
カヤク	火薬 <small>(エンシヨ一)</small>	カラ	空 <small>(内に何もなき)</small>	カラサオ	連架 <small>(農具の名)</small>
カヤリビ	蚊遣火 <small>(蚊いぶし)</small>	カラ	豆滓 <small>(豆腐の)</small>	カラシ	辛 <small>(味が一)</small>
カユ	粥 <small>(食物の名)</small>	ガラ	柄 <small>(しやう)</small>	カラシ	芥 <small>(辛子)</small>
カユシ	痒 <small>(かきたき感)</small>	カラウス	碓 <small>(器の名)</small>	カラス	烏 <small>(鴉)</small>
カヨ一	斯様 <small>(このよう)</small>	カラオリ	唐織 <small>(織物の名)</small>	カラス	枯 <small>(木を一)</small>
カヨ一	加養 <small>(養生すること)</small>	カラカサ	傘 <small>(かさの名)</small>	カラス	嘎 <small>(聲を一)</small>
カヨ一	火曜 <small>(七曜の一)</small>	カラカネ	青銅 <small>(銅の一種)</small>	ガラス	玻璃 <small>(硝子)</small>
カヨイチヨ	通帳 <small>(帳面の名)</small>	カラカミ	唐紙 <small>(ふすま)</small>	ガラスキ	犁 <small>(農具の名)</small>
カヨウ	通 <small>(學校に一)</small>	カラグ	絮 <small>(くるる)</small>	カラスムギ	燕麥 <small>(雀麥)</small>
カヨク	寡欲 <small>(よくの少いこ)</small>	カラクサ	唐草 <small>(しやうの名)</small>	カラダ	體 <small>(身體)</small>
カヨワシ	弱 <small>(虚弱)</small>	カラクリ	繰 <small>(機關)</small>	カラタケ	漢竹 <small>(かんちく)</small>

カラタケ	空竹(一割 <small>わり</small>)	ガリ	我利 <small>(益)</small> (われのみの利)	カリヨ	下僚 <small>(したやく)</small>
カラッポ	空虚(むなし)	カリウド	狩人(獵人)	カリン	花欄 <small>(木の名)</small>
カラツユ	乾梅雨 <small>(晴つ<small>ま</small>きの)</small>	カリギヌ	狩衣(衣服の二種)	カル	借(物を一)
カラテ	空手(すて)	カリソメ	假初(荷)	カル	刈(草を一)
カラヒツ	唐櫃 <small>(器の名)</small>	カリバ	狩場(獵場)	カル	驅 <small>(車を一)</small>
カラム	絡 <small>(摺)</small>	カリヤ	借屋(借家)	カル	狩(獵)
カラムシ	苧 <small>(を)</small>	カリユ	假留 <small>(一檻)</small>	カルイシ	輕石 <small>(石の名)</small>
カラヨ	唐櫛 <small>(一の篋)</small>	カリユ	花柳 <small>(一の巷)</small>	カルカヤ	刈萱 <small>(草の名)</small>
カラマツ	唐松 <small>(落葉松)</small>	ガリユ	我流 <small>(自分の流儀)</small>	カルクチ	輕口 <small>(口のかるい)</small>
カラン	禍亂 <small>(わざはひみだ)</small>	カリヨ	科料 <small>(罰金)</small>	カルコ	輕籠 <small>(物を運ぶ具)</small>
ガラン	伽藍 <small>(寺院)</small>	カリヨ	迦陵 <small>(鳥の名)</small>	カルタ	骨牌 <small>(遊具の名)</small>
カリ	雁 <small>(水鳥)</small>	ガリヨ	雅量 <small>(さの大きい)</small>	カルヤキ	烘籠 <small>(やいたるかる)</small>

カルワザ	輕業 <small>(一師)</small>	カレル	涸 <small>(水が、かる)</small>	カワオソ	川獺 <small>(獸の名)</small>
カレイ	家令 <small>(役の名)</small>	カレル	噎 <small>(聲が、かる)</small>	カワオビ	革帶 <small>(かほのおび)</small>
カレイ	加齡 <small>(としをとる)</small>	カレン	可憐 <small>(かほゆらしき)</small>	カワケ	乾 <small>(燥)</small>
カレイ	佳麗 <small>(うるはしい)</small>	カロ	家老 <small>(藩老)</small>	カワグツ	革沓 <small>(かほ製のくつ)</small>
カレイ	鱈 <small>(魚の名)</small>	カロジテ	辛而 <small>(纒)</small>	カワス	交 <small>(まじふる)</small>
カレイ	餉 <small>(飯)</small>	カロケ	家祿 <small>(いへのろく)</small>	カワズ	蛙 <small>(蟲の名)</small>
カレイ	家例 <small>(いへのれい)</small>	カロハズミ	輕卒 <small>(輕忽)</small>	カワセ	爲替 <small>(郵便一)</small>
カレイ	嘉例 <small>(めでたきため)</small>	カロonz	輕 <small>(かるくする)</small>	カワセミ	翡翠 <small>(鳥の名)</small>
ガレキ	瓦礫 <small>(瓦や小石)</small>	カワ	皮 <small>(革)</small>	カワタケ	苦竹 <small>(川竹)</small>
カレコレ	彼是 <small>(あれとこれ)</small>	カワ	川 <small>(河)</small>	カワドメ	川止 <small>(大水で一に)</small>
カレラ	彼等 <small>(あの人々)</small>	カワ	側 <small>(うち)</small>	カワベ	川邊 <small>(川のふち)</small>
カレル	枯 <small>(木が、かる)</small>	カワゲチ	河口 <small>(川口)</small>	カワホネ	川骨 <small>(草の名)</small>

カワムコー	川向(川のむかひ)	カン	鑑(簞笥のー)	カンエイ	官營(政府の營業)
カワヤ	廁(便所)	ガン	願(神にーをかけ)	カンエツ	簡閱(ー點呼)
カワラ	皮屋(皮を賣るみせ)	ガン	癌(病の名)	カンエン	官烟(政府製造のたばこ)
カワユラシ	可愛(可憐)	ガン	雁(鳥の名)	カンオー	感應(神佛の徳に)
カワラ	河原(碓)	カンアケ	奸惡(わるもの)	カンオケ	棺桶(棺柩)
カワラケ	瓦(屋根におくー)	カンイ	簡易(手がる)	カンオン	漢音(漢のおん)
カワル	土器(すやきのや)	カンイ	寒威(さむさ)	カンカ	閑暇(ひま)
カワル	變(代、替)	カンイ	敢爲(しつかりした)	カンカ	干戈(いくさの道具)
カン	甲(ーこゑ)	カンイ	官位(やくとくらゐ)	カンカ	感化(感じあらたま)
カン	痲(ーが高い)	カンイン	官員(官吏)	カンカ	罅窻(やまを、や)
カン	爛(酒をーする)	カンイン	官印(やくいん)	カンカ	寛假(ゆるす)
カン	韓(一國)	カンウ	甘雨(よいあめ)	カンカ	轆轤(意の如くなら)

カンカ	坎珂(失望)	カンガエ	考(見識)	カンキ	寒氣(さむさ)
カンガ	官衙(やくしよ)	カンカク	棺槨(ひつき)	ガンギ	雁木(紙鳶のー)
カンガ	閑雅(みやびやか)	カンカク	感覺(かんじ)	カンキ	感喜(感じよるこぶ)
ガンカ	眼科(ー醫)	カンカク	看客(見物人)	カンキ	歡喜(よるこぶ)
ガンカ	眼下(目の下)	カンカク	間隔(へだり)	カンキ	喚起(よびおこす)
カンカイ	官海(官吏社會)	カンカク	勸學(學問をすゝめ)	カンキ	官組(官のきまり)
カンガイ	感慨(なげく)	カンカツ	管轄(しほいする)	カンキク	寒菊(草の名)
カンカイ	管海(海上をしほい)	カンカツ	寛濶(心のひろ)	カンキヤク	觀客(みてし)
カンガイ	灌漑(外かける)	カンガミル	鑑(考へ見る)	カンキヤク	閑却(わすれる)
カンガイ	管外(管轄のそと)	カンカン	觀艦(ー式)	カンキユ	官給(官よりたまふ)
カンガイ	旱害(ひてり)	カンガルウ	更格盧(動物の名)	カンキユ	緩急(ゆるきとい)
ガンカイ	眼界(見わたし)	カンガン	汗顔(赤面)	カンキユ	感泣(感じなくこと)

カンギョー	汗牛(うしがあせか)	カンギン	感吟(よい詩や歌)	カンケイ	還啓(行啓の反対)
カンキョ	閑居(しづかな住居)	ガンキン	元金(もときん)	カンケイ	姦計(わるだくみ)
カンギョ	官許(官のゆるし)	ガンキン	贖金(にせ金)	カンケイ	換刑(罰金の代りに苦役につく)
カンギョ	還御(天子の御かへ)	カンク	管區(管轄の区分)	カンケイ	關係(かりあひ)
カンギョ	勸業(業をすゝむ)	カンク	寒苦(さむさくるし)	カンゲイ	歡迎(よるこびむか)
カンキョ	頑強(つよきこと)	カンク	艱苦(難儀)	カンゲキ	間隙(すきま)
ガンキョ	眼鏡(めがね)	ガング	玩具(おもちゃ)	カンゲキ	感激(きつく感じる)
カンキョク	奸曲(よこしま)	ガング	頑愚(かたいぢな)	カンケツ	完結(まつたくなは)
カンキン	看經(唐音、黙つて經を讀む)	ガングツ	廢窟(いはあな)	カンケツ	間歇(ト熱)
カンキン	監禁(とぢこめる)	ガングビ	雁首(きせるのト)	カンケツ	簡潔(簡單)
カンキン	官金(官のかね)	カンゲン	官軍(城軍の反対)	カンゲン	諫言(いさめの言葉)
カンキン	嵌金(金の象眼)	カンゲン	監軍(軍を監督する人)	カンゲン	甘言(うまい言葉)

カンゲン	管絃(音樂)	カンコ	勸降(降をすゝむ)	ガンコ	眼光(めのひかり)
カンケン	管見(狭い量見)	カンコ	寛洪(心の廣きこと)	ガンコ	雁行(厂のならび)
カンケン	還元(もとへもどす)	カンコ	慣行(ト犯)	カンコ	觀光(ト團)
カンケン	寒暄(寒暑)	カンコ	慣行(おこなひな)	カンコク	勸告(すゝめつける)
カンコ	歡呼(よるこびさけ)	カンコ	還幸(天子の御かへり)	カンコバ	寒紅梅(木の名)
カンコ	監護(みまもる)	カンコ	緘口(口をつぐむ)	カンゴク	監獄(らうや)
カンゴ	看護(ト卒)	カンコ	箝口(口を塞ぐ)	カンコツ	換骨(ト奪胎)
ガンコ	統袴(貴族のこと)	カンコ	勘考(かんがへ)	カンコドリ	閑子鳥(鳥の名)
カンゴ	閑語(ひまなばなし)	カンコ	寛厚(トの人)	カンゴフ	看護婦(介抱する女)
カンゴ	漢語(漢字のみの語)	カンコ	官公(ト吏)	カンコン	冠婚(よめいり元服)
ガンコ	頑固(かたくな)	カンコ	刊行(印刷して出す)	カンサ	鑑査(調べわかる)
カンコ	勸工(ト場)	ガンコ	眼孔(眼のあな)	カンサ	監査(考へ調べる)

カンサイ	完済(皆すみ)	カンシ	監視(目をつげる)	カンシヤ	甘蔗(さとうきび)
カンサイ	關西(關東に對して)	カンシ	環視(とりまき視る)	カンジヤ	間者(まはしもの)
カンザイ	管財(一人)	カンジ	漢字(支那の文字)	カンジヤ	患者(病人)
カンサイ	陷擠(おしおとす)	カンジ	莞爾(につこり)	カンシヤク	癩癧(かんへき)
カンザシ	簪(頭にさす)	カンジ	冠辭(枕詞)	カンジヤク	閑寂(しづか)
ガンサツ	質札(にせふだ)	カンジ	幹事(せわやく人)	カンシユ	看守(役の名)
カンサツ	鑑札(しるしの札)	カンシキ	鑑識(めき)	カンシユ	監修(何先生—)
カンサツ	觀察(しらべ見る)	カンシキ	眼識(見わける知識)	カンシユ	慣習(ならはせ)
カンサン	換算(かへかぞふる)	カンジク	卷軸(まきぢく)	カンシユ	卷首(本のはじめ)
カンサン	閑散(ひま)	ガンジツ	元日(正月—)	カンシユダ	慣手段(いつものて)
カンシ	漢詩(支那の詩)	カンシヤ	感謝(かたじけなし)	カンシヨ	官署(官衙)
カンシ	諫止(いさめとむ)	カンシヤ	官舎(官宅)	カンシヨ	寒暑(さむさとあつ)

ガンシヨ	願書(れがひ書)	カンジヨ	函丈(先生といふ意)	カンシニ	感心(感服)
カンシヨ	甘薯(いも)	カンジヨ	干城(國の守)	カンシニ	歡心(よるこびの心)
カンジヨ	寛恕(ゆるす)	カンジヨ	勘定(計算)	カンシニ	關心(きにかゝる)
カンシヨ	官省(役所)	カンジヨ	感狀(ほめたるか)	カンシニ	奸臣(わるい臣)
カンシヨ	干涉(かゝはる)	カンジヨ	艦上(軍艦のうへ)	カンジン	閑人(ひまな人)
カンシヨ	勸請(神や佛を他)	カンジヨ	感情(感觸)	カンジン	肝心(大切)
カンシヨ	祭(よりうつし)	ガンシヨ	廢礎(いはほ)	カンジンチヨ	勸進帳(曲の名)
カンシヨ	歡笑(よるこびわ)	カンシヨク	官職(やく)	カンス	罐子(器具の名)
カンシヨ	觀象(天象をみる)	カンシヨク	間食(あひだぐひ)	カンスイ	肝睡(よくねる)
カンシヨ	痲症(病の名)	カンシヨク	感觸(機嫌)	カンスイ	酣醉(大醉)
カンシヨ	奸商(悪いあきうど)	ガンシヨク	顔色(かほいろ)	カンスイ	鹹水(しほ水)
カンシヨ	觀賞(みてほめる)	カンシン	寒心(驚く)	カンスウ	函數(はこかず)

カンズメ	鑑詰(牛肉の—)	カンゼツ	官設(官下—しらへ)	カンゼン	間然(—する所)
カンゼ	觀世(—流)	カンセツ	間接(直接の反對)	ガンゼン	眼前(目のまへ)
ガンゼ	頑是(—無し)	カンゼツ	關節(ふしぶし)	ガンソ	元祖(もとのおや)
カンセイ	完成(できあがる)	カンゼツ	冠絶(第一)	カンソ	乾燥(かわく)
カンセイ	閑靜(しづか)	カンゼヨリ	觀世(種—)	カンソ	諫争(きつくいさめ)
カンセイ	陷罪(おとしあな)	カンセン	感染(うつる)	カンソ	閑窓(しづかなる窓)
カンセイ	喊聲(ときのこゑ)	カンセン	酣戰(いくさ最中)	カンソ	觀相(人相をみる)
カンセイ	官制(官のきめ)	カンセン	幹線(もとになる線)	カンゾ	肝臟(五臟の—)
カンゼイ	間税(直税に對して)	カンセン	官線(—鐵道)	ガンソ	含嗽(—劑)
カンゼイ	關稅(稅關でとる)	カンセン	艦船(ふね)	ガンゾ	質造(にせ)
カンセキ	漢籍(漢文の本)	カンゼン	完全(十分)	カンソク	觀測(みはかること)
ガンセキ	巖石(いは)	カンゼン	勸善(善をすゝめる)	カンゾク	奸賊(わるもの)

カンヅク	貫屬(つきしたがつ)	カンタン	肝膽(きもたましひ)	ガンチユ	眼中(めのうち)
カンソソ	寒村(貧しき村)	カンダン	間斷(たえま)	カンチヨ	翰長(書記官長)
カンソソ	官尊(官を尊び民を)	カンダン	閑談(靜な話)	カンチヨ	間牒(間者)
カンソソ	民卑(いやしむこと)	ガンタン	元旦(正月元日)	カンチヨ	灌腸(大便を通)
カンタイ	艦隊(海軍の—)	カンダンケ	寒暖計(器械の名)	ガンチヨ	灌頂(佛式の名)
カンタイ	寒帯(—地方)	カンチ	官地(政府のちめん)	カンチヨ	管長(宗教のと)
カンタイ	欸待(もてなす)	カンチ	閑地(ひまな地位)	カンチヨ	艦長(軍艦の長)
カンダイ	緩意(なごたり)	カンチ	奸智(わるぢゑ)	カンチヨ	官廳(官省)
カンダイ	寛大(心の大きなる)	カンチ	含蓄(ふくむ)	カンツウ	貫通(とほりぬける)
カンタク	官宅(やくたく)	ガンチク	漢竹(竹の一種)	カンツウ	姦通(—罪)
カンタン	簡單(てみじか)	カンチク	寒竹(竹の一種)	カンツウ	感通(十分に感じる)
カント	感嘆(ほめる)	カンチユ	寒中(さむいうち)	カンツク	勘付(きがつく)
カント	寒暖(あつささむさ)				

カニテイ	鑑定(めき)	カントー	竿頭(さなのさき)	ガントー	岸頭(川ぎし)
カニテイ	官邸(大臣—)	カンドー	感動(感じうごく)	ガンドー	籠燈(—提燈)
カニテイ	函底(箱のそこ)	カンドー	間道(近みち)	カントク	感得(心に深く感じ)
カニテキ	陷溺(はまりこむ)	カンドー	巻頭(かきもの)	カントク	監督(とりしまり)
カニテツ	貫徹(つらぬきと)	カントー	官道(私道に對して)	カンドク	簡牘(てがみ)
カニテラ	燭臺(和蘭語の訛)	カントー	巻頭(書物のはじめ)	カンドクリ	燭德利(器の名)
カニテン	寛典(ゆるやかなお)	カントー	間投(—詞)	カンドリ	掛取(かちとり)
カニテン	寒天(さむそら)	カントー	關東(—八州)	カニナ	鑪(器械の名)
カニテン	旱天(ひでり)	カントー	官等(官の等位)	カニナイ	管内(管外に對して)
カニト	官途(官吏の地位)	カントー	勤當(父の—)	カニナメ	神嘗(—祭)
カニト	環堵(まはり一面の)	カンドー	撼動(ゆりうごく)	カニナン	艱難(難儀)
カンド	漢土(支那)	カンドー	巖頭(いはのほとり)	カニニン	堪忍(たへしのぶ)

ガニニン	願人(ねがひ人)	カンパ	看破(みやぶる)	カンバン	燭番(酒をかんする)
カニヌシ	神主(神官)	カンバ	悍馬(あら馬)	カンパン	干犯(なかす)
カニネイ	奸佞(よこしま)	カンバ	汗馬(走る馬)	カンビ	艦尾(軍艦の後部)
カニネン	觀念(覺悟)	カンバイ	感佩(ありがたく思)	カンビ	官費(政府の費用)
カニノ	官能(はたらき)	カンパク	寒梅(早くさくうめ)	カンビ	完備(十分)
カニノ	肝腦(からだの意)	カンパシ	關白(官の名)	ガニピシ	雁皮紙(紙の名)
カニノ	勸農(農をすゝめる)	カンパツ	芳(かうばし)	カンピョー	看病(介抱)
カニノ	堪能(上手)	カンパツ	早魁(ひでり)	カンピョー	干瓢(食品の名)
カニノ	完納(全くをさむ)	カンパツ	簡拔(えりぬく)	カンブ	幹部(おもな人)
カニノ	還納(返上)	カンパツ	煥發(天下に公に示)	カンブ	官府(政府)
カニノキ	貫木(門)	カンパン	甲板(舟の)	カンブ	姦夫(不正なとし)
カニノン	觀音(佛の名)	カンパン	看板(店の)	カンブ	姦婦(右に同じき女)

カンブ	奸婦(悪い女)	カンペキ	痛癖(かんしゃくも)	ガンボー	願望(ねがふ)
カンブク	官服(官給の服)	カンベツ	鑑別(みわくる)	カンボク	翰墨(てがみのこと)
カンブ	還付(かへす)	カンベン	勘辨(考へわきまへ)	カンボク	灌木(小さき木)
カンブク	感服(感心)	カンベン	簡便(てがる)	カンボツ	官没(官へとりあぐ)
カンブツ	乾物(干物)	カンペン	官邊(政府のがは)	カンボツ	陷没(城などがおち)
カンブツ	灌佛(一會)	カソポ	緩歩(ゆつくりある)	カンマン	緩慢(ゆるやか)
ガンブツ	玩物(もてあそびも)	カンボ	官房(官舎の名)	カンミ	甘味(あまみ)
カンブツ	奸物(悪者)	カンボ	觀望(みる)	ガンミ	玩味(あぢはふ)
カンブン	感奮(かんじふるふ)	カンボ	奸謀(奸計)	カンミ	鹹味(鹽のからみ)
カンブン	漢文(國語一)	カンボ	感胃(かぜひき)	カンミン	官民(一合同)
カンペイ	官幣(一一大社)	カンボ	官報(官の報知)	カンムリ	冠(被り物の名)
カンペイ	觀兵(一式)	カンボ	漢方(醫師の種類)	カンメ	貫目(おとぎ)

カンメイ	感銘(十分に感ずる)	カンユ	寛裕(ゆるやか)	カンラク	陷落(おちいること)
ガンメイ	頑迷(非常にかたく)	カンユ	悍勇(たげくしき)	カンラク	乾酪(食品の名)
カンメイ	簡明(てがるくあき)	カンユ	官有(一土地)	カンラン	橄欖(果の名)
ガンメン	顔面(ゐほ)	カンユ	勧誘(いざなふこと)	カンラン	觀覽(みること)
ガンモク	眼目(主要)	カンヨ	干典(たづさばること)	カンリ	監理(とりしまる)
カンモン	關門(せき所)	カンヨ	換用(かへ用ある)	カンリ	監吏(役の名)
カンヤ	寒夜(さむいばん)	カンヨ	涵養(養ひそだつる)	カンリ	姦吏(わるい役人)
カンヤク	簡約(つめること)	カンヨ	慣用(なれ用ある)	カンリ	官吏(役人)
ガンヤク	丸藥(藥の名)	カンヨ	肝要(大切)	カンリ	管理(とりしまること)
カンユ	肝油(油の名)	カンヨ	寛容(ゆるす)	ガンリ	元利(元金と利子と)
ガンユ	含有(ふくみもつ)	ガンライ	元來(もとより)	ガンリキ	眼力(見分くる力)
カンユ	姦雄(わるい英雄)	カンラク	歡樂(よろこび)	カンリツ	官立(一學校)

カンリヤク	簡略(てがる)	カンワ	官話(北京—)	キイ	貴意(御心)
カンリユ	貫流(つらぬきな) がれる	カンワ	閑話(川談に對して)	キイ	奇異(不思議)
カンリヨ	管領(古の官名)	カンワ	漢和(—字典)	キイ	忌諱(いむこと)
カンリヨ	完了(完結)			キイサン	妓生(朝鮮の妓)
カンルイ	感涙(感したるなみ)			キイト	生糸(練らぬ絹糸)
カンレイ	慣例(しきたり)			キイン	起因(原因)
カンレイ	寒冷(さむい)			キイン	歸因(基くところ)
カンレイシヤ	寒冷紗(織物の名)			ギイン	偽印(にせいん)
カンレキ	還曆(六十の賀)			ギイン	議員(會議にあづか る人)
カンレツ	艦列(ぐんかんのな) らび			ギイン	議院(貴衆兩院)
カンロ	甘露(あまきつゆ)			キウ	氣宇(心もち)
ガンロ	玩弄(おもちゃ)			キウケ	氣受(皆の—)

『キ』

キウツ	氣鬱(氣ふさぎ)	キオチ	氣落(失望、落膽)	キカイ	器械(道具)
キウリ	黃瓜(瓜の一種)	ギオン	祇園(社の名)	キカイ	機械(しかけのある 道具)
キウン	機運(—が向く)	キカ	貴下(あなた)	キカイ	機會(なり)
キエ	歸依(信仰)	キカ	机下(つくゑの下)	キガイ	氣概(元氣)
キエツ	喜悅(よろこぶこと)	キカ	歸化(外國の人とな ること)	キガイ	危害(あやうきこと)
キエル	消(きゆ)	キカ	奇貨(又と得られぬ たから)	ギカイ	議會(相談する會)
キエン	棄捐(すてること)	キカ	幾何(數學の一種)	キガク	器樂(聲樂に對して)
キエン	奇縁(ふしぎなえん)	キカ	奇禍(おまほわらざ らひ)	キカツ	飢渴(うきと咽のか)
キエン	氣煽(—を吐く)	キカ	麾下(したもと、旗)	キカン	旗艦(司令官の乗れ る軍艦)
キオ	既往(以前)	キガ	饑餓(うゑること)	キカン	汽罐(汽船などのか ま)
キオク	記憶(ものおぼえ)	キガ	起臥(おきふし)	キカン	機關(機械)
キオクレ	氣後(逡巡)	キカイ	奇怪(不思議)	キカン	奇觀(ふしぎなる 見え)

キカン	期間(にちげん)	キギ	危疑(あやふみうた)	キキユ	危急(危きにせまり)
キカン	既刊(すりだした)	キギ	巍々(いいたる山)	キキユ	歸休(かへりやすむ)
キカン	饑寒(うらとさむさ)	ギギ	疑義(うたがはしい)	キキユ	氣球(いー隊)
キカン	氣管(いきのくだ)	ギギ	黄頰魚(魚の名)	キキヨ	起居(安否)
キカン	龜鑑(摸鑑)	キキアワセ	聞合(とひあはせ)	ギキヨ	義舉(忠義のふるま)
キカン	歸艦(ふねへかへる)	キキウデ	利腕(いゝをとる)	キキヨ	歸京(みやこへか)
キカン	祈願(いのりねが)	キキズタエ	聞傳(つたへ)	キキヨ	桔梗(秋草の名)
ギカン	技監(技師の上官)	キキトドケ	聞届(ゆるす)	キキヨ	機業(はたおりの業)
ギガン	義眼(いれめ)	キギヌ	生絹(きなりのきぬ)	キキヨ	起業(業を起す)
キキ	歸期(かへるとき)	キキヤク	棄却(すてる)	キキヨ	企業(仕事をくばだ)
キキ	危機(あやふき處)	ギキヤク	義脚(人造のあし)	キキヨ	歸郷(ふるさとへ)
キキ	機誼(いーに適す)	キキユ	箕裘(父祖の業を)	ギキヨ	義俠(男だて)

キキヨク	棋局(いばん)	キグウ	奇遇(おもしろあふ)	ギゲイ	技藝(てわざ)
ギキヨク	戲曲(浄瑠璃などの稱)	キケザイ	鞫罪(つみなしらべ)	キケツ	既決(すでに定まり)
キキニン	飢饉(米がとれぬ年)	キグスリ	生薬(いー屋)	キケツ	已決(いー四)
キク	菊(草の名)	キクモン	鞫問(罪人をしらべ)	キケツ	歸結(結論)
キク	規矩(ふんまはしさ)	キクシ	貴君(人の尊稱)	キケツ	剞劂(出版)
キク	起句(詩の第一句)	キクンシ	偽君子(にせのくん)	ギケツ	議決(會議にてきま)
キク	危懼(あやぶみおそ)	キゲキ	喜劇(滑稽なしばゐ)	キケン	貴顯(たふとき人)
キク	崎嶇(山勢いー)	キケイ	畸形(なまはづれた)	キケン	棄權(權利をすつる)
キク	奇句(めづらしい句)	キケイ	奇計(めづらしいは)	キケン	危険(あやふきこと)
キグ	器具(どうぐ)	キケイ	機警(すばやいこと)	キゲン	起原(物のおこり)
キグ	木具(木つくりの道)	キケイ	貴兄(他人の尊稱)	キゲン	期限(定めし時期)
ギク	疑懼(うたがひおそ)	ギケイ	義兄(義理あるあに)	キゲン	紀元(國の成立のは)

キゲン	機嫌(心もち)	キコー	紀行(旅行の記事)	キコク	歸國(くにへかへる)
ギゲン	戲言(じやうだんをいふこと)	キコー	起工(工事をおこす)	キコク	鬼哭(幽霊の泣くこと)
キコ	騎虎(勢のつよきこと)	キコー	氣候(時候)	ギゴク	疑獄(うたがはしい獄屋さげき)
キゴ	綺語(あやのある語)	キコー	貴公(人の尊稱)	キコツ	氣骨(元氣)
キゴ	寄語(いひやること)	キコー	奇功(めづらしき手柄)	キコリ	樵(樵夫)
ギコ	擬古(—文)	キコー	奇行(かばつたおこ)	キコン	既婚(すでに結婚した)
キコー	歸航(船が歸ること)	キコー	氣孔(氣のでるあな)	キコン	氣根(根氣)
キコー	歸校(學校へかへる)	キゴ	記號(しるし)	キザ	危坐(正しくすわる)
キコー	寄稿(草稿を寄する)	キゴ	揮毫(文字をかきこ)	キザ	氣障(氣にさわる)
キコー	寄港(みなとへよる)	キコエ	聞(外聞)	キザ	跪座(ひざまづくこと)
キコー	起稿(文章をかきはじめむること)	キコク	枳殼(木の名)	キサイ	后(—の宮)
キコー	歸向(かへりむかふこと)	キコク	貴國(他國の尊稱)	キサイ	起債(公債をおこす)

キサイ	奇才(かはつた才智)	キサラギ	如月(二月)	キジ	奇事(めづらしいこと)
キサイ	既濟(すんだこと)	キサン	歸山(やまへかへる)	キジ	雉(きぎすとも、鳥の名)
キサイ	記載(かきしるす)	キサン	歸參(わが家へかへる)	キジ	木地(木質)
キザイ	器財(うつはもの)	キサン	起算(かぞへ始める)	ギジ	技師(技術に關する役人)
キサク	氣速(性質のさらつ)	キシ	岸(涯)	ギシ	義士(四十七—)
キサク	奇策(かはつた策略)	キシ	起死(—回生)	ギシ	義子(ぎりの子)
ギサク	偽作(にせのつくり)	キシ	季子(末の子)	ギジ	疑似(似て居ること)
キザシ	兆(萌)	キシ	旗幟(はた)	ギジ	疑字(うたがはしい字)
キザツ	貴札(おてがみ)	キシ	騎士(うまのり)	ギジ	議事(議する事柄)
キザハシ	階(だんげしこ)	キシ	奇士(かはつた男)	ギシキ	儀式(式典)
キサマ	貴様(汝)	キシ	貴紙(おてがみ)	キジク	機軸(始めて考へ出したもの)
キザム	刻(細く切る)	キジ	記事(かきしるせる)	キシツ	氣質(氣立)

キジツ	忌日(きにち)	キシユ一	貴衆(きしゆ) (一、兩院)	キジユン	基準(きじゆん) (もとゝめとする)
キジツ	期日(きにち) (定めたる日)	キシユ一	奇襲(きしゆ) (思ひもよらぬ)	キシヨ	貴書(きしよ) (御てがみ)
キシヤ	騎射(きしや) (うまにのつて)	キシユ一	蟻集(しんじふ) (多くあつまる)	キシヨ	奇書(きしよ) (めづらしい本)
キシヤ	喜捨(きしや) (神佛などへ金)	キシユク	寄宿(きしよ) (かりのやどり)	キシヨ	貴所(きしよ) (あなた)
キシヤ	記者(きしや) (新聞一)	キシユク	耆宿(きしよ) (老人がぶ)	キシヨ	寄書(きしよ) (よせたる書)
キシヤ	汽車(きしや) (蒸汽車)	キシユク	歸宿(きしよ) (やどへかへる)	キジヨ	貴女(きしよ) (貴き女子)
キシユ	騎手(きしゆ) (のりて)	キジユツ	奇術(きじゆ) (てじな)	キジヨ	鬼女(おにめ) (おそろしい女)
キシユ	旗手(きしゆ) (軍旗を捧持す)	キジユツ	記述(きじゆ) (しるしのべる)	ギシヨ	戯書(たはむれがき)
キシユ	喜壽(きしゆ) (七十七歳のこ)	ギジユク	義塾(ぎじゆ) (慶應一)	ギシヨ	偽書(いつはり) (にせのかきつ)
ギシユ	技手(ぎしゆ) (技師の下役)	ギジユツ	技術(ぎじゆ) (わざ)	キシヨ一	氣性(きしやう) (氣質)
ギシユ	義手(ぎしゆ) (人工の手)	キシユン	季春(きしゆ) (はるのすゑ)	キシヨ一	起請(きしやう) (誓ひ)
キシユ一	貴酬(きしゆ) (返事)	キジユン	歸順(きしゆ) (善心にかへり)	キシヨ一	毀傷(きしやう) (それやぶ)

キシヨ一	徽章(しやう) (しるし)	ギジヨ一	議場(ぎじやう) (議席)	ギジン	義人(ぎじゆん) (義のかたい人)
キシヨ一	稀少(せうせう) (まれなること)	キシヨ一	氣象(きしやう) (一、臺)	ギジン	擬人(ぎじゆん) (一、法)
キシヨ一	奇勝(きしやう) (よいけしき)	キシヨク	嬉色(きしやう) (うれしい顔色)	キス	鱸(きしやう) (魚の名)
キシヨ一	記誦(きしよ) (おぼえよむ)	キシヨク	饑色(きしやう) (ひもじい色)	キズ	疵(きしやう) (創、瑕)
キシヨ一	起床(きしやう) (あさおきる)	キシヨク	寄食(きしよ) (あさふらふ)	キズ	生酢(まじらない酢)
キシヨ一	奇捷(きしよ) (めづらしいか)	キシル	札(きし) (しるし)	キスイ	既途(きしよ) (しとげた)
キシヨ一	氣丈(きしやう) (健康)	キシン	鬼神(おにがみ)	キズイ	氣隨(きしよ) (氣儘)
ギシヨ一	偽證(ぎしよ) (うその證明)	キシン	歸心(かへりたい)	キズイ	奇瑞(きしよ) (めでたきしる)
キジヨ一	騎乘(きじよ) (馬にのる)	キシン	寄進(きしよ) (寄附)	キスウ	基数(きしよ) (一より九まで)
キジヨ一	机上(きしよ) (つくゑのうへ)	キシン	規箴(きしよ) (いましめの規)	キスウ	奇數(きしよ) (二でわれぬ數)
ギジヨ一	議定(ぎじよ) (議し定むる)	キジン	奇人(きしん) (奇人)	キスウ	記數(きしよ) (かすなかくこ)
ギジヨ一	儀仗(ぎじよ) (儀式の兵隊)	ギシン	疑心(うたがひの心)	キズカイ	氣遣(きしよ) (配意)

キズキ	生涯(—の紙)	キセキ	軌跡(あと)	キセン	汽船(蒸汽船)
キズク	築(建築)	キセキ	奇石(めづらしい石)	ギゼン	巍然(山の高い形容)
キセイ	期成(成功を期する)	キセキ	奇蹟(基督の—)	ギゼン	毅然(しつかりした形容)
キセイ	氣勢(いきほひ)	ギセキ	議席(議員の席)	ギゼン	偽善(うばばかりの善)
キセイ	歸省(歸郷)	キセツ	季節(時節)	キソ	稀疎(まばら)
キセイ	祈誓(いのりちかふこと)	キセツ	既設(すでにまうけ)	キソ	基礎(もとゐ)
キセイ	既成(出来上りたること)	キセツ	氣節(きがいみさを)	キソ	起訴(訴へを起すこと)
キセイ	寄生(他物によりて生命を有つこと)	キゼツ	氣絶(いきのたえること)	キソ	奇想(思ひがけぬ思)
ギセイ	擬製(まがへつくる)	ギゼツ	義絶(絶交する)	キソ	起草(又章をかき始むること)
ギセイ	擬勢(つけげんき)	キセル	烟管(喫烟の道具)	キソ	寄贈(おくること)
ギセイ	犠牲(いけにへ)	キセン	機先(さきて)	ギソ	儀装(船のしたく)
キセキ	鬼籍(死ぬること)	キセン	貴賤(身分の上下)	ギソ	議奏(議して天子へ申上げる)

ギゾー	偽造(にせものをつくる)	キタイ	氣體(空氣や蒸氣など)	キタル	來(くること)
ギゾー	擬造(眞似して造る)	キタイ	期待(まちうける)	キタン	起端(おこり)
キソウ	競(人にまけぬやうにする)	キタイ	危殆(あやうい)	キタン	忌憚(いみはかかる)
キソク	規則(きまり)	キダイ	稀代(世に稀なること)	キダン	奇談(めづらしいはなし)
キソク	羈束(しげること)	ギダイ	議題(會議の種)	ギダン	疑團(うたがひのかたまり)
キソク	驥足(駿馬の足)	キタク	寄托(たのむ)	キチ	既知(すでにわかる)
キソク	貴族(華族)	キタク	鍛(きたふる)	キチ	貴地(御地)
ギソク	義足(こしらへ足)	キタク	歸宅(歸家)	キチ	危地(あやふき地)
キソバ	生蕎麥(まじりもの)	キダテ	氣立(氣質)	キチ	機智(頓智)
キソバ	歸村(むらへかへる)	キタナシ	穢(汚穢)	キチガイ	氣違(狂人)
キソバ	毀損(こぼすこと)	キダハシ	段階(だんのこと)	キテジョー	吉祥(幸福)
キタ	北(方角の一)	ギダユ	義大夫(俗曲の一種)	キチニチ	吉日(よいひ)

キチズイ	吉瑞 <small>(めでたいしる)</small>	キツキョー	吉凶 <small>(よきとわる)</small>	キツリ	氣相 <small>(顔つき)</small>
キチヤク	歸着 <small>(かへりつくこ)</small>	キツクツ	倍屈 <small>(かみちま)</small>	キツリ	吉左右 <small>(よきことの)</small>
キチユ	忌中 <small>(物忌の中)</small>	キツケイ	喫驚 <small>(びつくりする)</small>	キツタン	詰旦 <small>(あさはやく)</small>
キチヨ	貴著 <small>(典の日用辭)</small>	キツケイ	吉慶 <small>(よるこび)</small>	キツチヨ	吉兆 <small>(よききざし)</small>
キチヨ	几帳 <small>(とばり)</small>	キツコ	龜甲 <small>(紋所の名)</small>	キツツキ	啄木鳥 <small>(鳥の名)</small>
キチヨ	貴重 <small>(たいせつ)</small>	キツコ	拮抗 <small>(はりあふ)</small>	キツテ	切手 <small>(郵便)</small>
キチヨ	歸朝 <small>(外國よりかへ)</small>	キツコ	桔槔 <small>(はねつるべ)</small>	キツト	屹度 <small>(必)</small>
ギチヨ	議長 <small>(議事をまとむる人)</small>	キツサ	喫茶 <small>(ちやをのむ)</small>	キツネ	狐 <small>(獸の名)</small>
キチン	木賃 <small>(安泊り)</small>	キツサキ	銚 <small>(刀のさき)</small>	キツパン	喫飯 <small>(飯を食ふこと)</small>
キツエン	喫烟 <small>(たばこをのむ)</small>	キツシン	吉辰 <small>(めでたき時)</small>	キツプ	切符 <small>(切手の類)</small>
キツキヨ	拮据 <small>(勉強すること)</small>	キツスイ	生粹 <small>(江戶兒)</small>	キツポ	吉報 <small>(よいしらせ)</small>
キツキヨ	喫驚 <small>(おどろく)</small>	キツゼン	屹然 <small>(しやんとした)</small>	キツモン	詰問 <small>(問ひつめる)</small>

キツリツ	屹立 <small>(しやんと立つ)</small>	ギテン	疑點 <small>(うたがひの點)</small>	キドク	奇特 <small>(感心の意)</small>
ギテ	技手 <small>(ぎしゆ)</small>	キト	歸途 <small>(かへりみち)</small>	キナ	幾那 <small>(藥の名)</small>
キテイ	規程 <small>(きそく)</small>	キト	企圖 <small>(くはだて)</small>	キナイ	畿内 <small>(京都の附近)</small>
キテイ	規定 <small>(さだめ)</small>	キド	木戸 <small>(出入り口)</small>	キナカ	半錢 <small>(一文)</small>
キテイ	既定 <small>(定まりたる)</small>	キド	喜怒 <small>(よろこびとい)</small>	キナガシ	着流 <small>(袴をばかぬ)</small>
ギテイ	義弟 <small>(義理のおと)</small>	キト	祈禱 <small>(いのり)</small>	キナコ	黄粉 <small>(餅)</small>
ギテイ	議定 <small>(議し定める)</small>	キト	貴答 <small>(おへんじ)</small>	キナン	危難 <small>(あやふいこと)</small>
キテキ	汽笛 <small>(蒸汽などの笛)</small>	キド	奇童 <small>(めづらしい子)</small>	キニン	歸任 <small>(任地へかへる)</small>
キテン	起點 <small>(起りの點)</small>	キド	軌道 <small>(地球などの大陽をめぐるみち)</small>	キニチ	忌日 <small>(めいにち)</small>
キテン	機轉 <small>(心の働)</small>	キド	機動 <small>(一演習)</small>	キニユ	記入 <small>(かきいれる)</small>
キデン	記傳 <small>(人の傳)</small>	キトク	既得 <small>(すでに得た)</small>	キヌ	衣 <small>(ころも)</small>
キデン	貴殿 <small>(あなた)</small>	キドク	危篤 <small>(病のあつき)</small>	キヌ	絹 <small>(織物の名)</small>

キヌギヌ	後朝(一の別れ)	キノー	昨日(今日の前一日)	キハツ	揮發(氣體の上昇)
キヌケ	氣脫(ぼんやりする)	キノー	歸納(一論理)	キハツユ	氣發油(揮發油)
キヌゴシ	絹漉(一の豆腐)	キノエ	甲(十千の一)	キバツ	奇拔(すぐれたるこ)
キヌタ	礎(砧)	キノコ	菌(茸)	キバヤ	氣早(性急)
キネ	杵(臼をつく)	キノト	乙(おつ)	キバラシ	氣晴(鬱散)
キネイ	歸寧(さがへり)	キノドク	氣毒(御一ですが)	キバル	氣張(心をふりおこ)
キネン	祈念(いのり)	キノメ	木芽(樹木の新め、特に山椒の芽)	キハン	軌範(手本)
キネン	暮年(一年)	キノリ	氣乘(一がしない)	キハン	羈絆(ほだし)
キネン	記念(かたみ)	キバ	牙(きつき齒)	キハン	歸帆(かへる舟)
ギネン	疑念(うたがふ)	キバ	騎馬(うまのり)	ギハン	偽版(にせのぼん)
キノー	機能(心や體のはた)	キハイ	氣配(氣くばり)	ギハン	擬判(試に判決して見る)
ギノー	技能(技術)	キハク	稀薄(すくなぐらす)	キヒ	忌避(いみさくるこ)

キビ	黍(穀物の名)	キフウ	氣風(氣質)	キヘン	機變(はづみ)
キビ	驥尾(しりうま)	キフク	起伏(おきふし)	キベン	詭辯(迷はすやうに)
キビシ	殿(緊)	キフク	歸服(つきしたがふ)	キボ	規模(くはだて、か)
キビス	躡(かゝと)	キブク	忌服(喪にこもる間)	ギボ	義母(義理あるはは)
ギビツ	偽筆(にせのかき)	キブツ	奇物(めづらしいもの)	キボ	既報(すでにしらせ)
ギビョー	儀表(手本)	キブツ	器物(うつはもの)	キボ	既望(舊曆十六日の月)
キビョー	奇病(ふしぎな病氣)	ギブツ	偽物(にせもの)	キホ	機鋒(心のほたらき)
キヒン	氣品(きぐらゐ)	キブリ	着振(きたやうす)	キボ	欺罔(あざむく)
キヒン	貴賓(えらいおきや)	キブン	氣分(心持)	キボ	奇謀(めづらしきは)
キビン	機敏(すばやし)	キヘイ	騎兵(うまのりの兵)	キボ	希望(のぞみ)
キフ	寄附(金品を贈ること)	ギヘイ	義兵(忠義のための兵)	キボ	匱乏(ともしきこと)
ギフ	蟻附(むらがりたか)	キベイ	器皿(うつはとさら)	ギボ	擬寶珠(欄干などの飾物の名)

キボネ	氣骨(しんぱい)	キミヤク	氣脈(氣脈を通ずる)	キモン	鬼門(王城の東北の方角)
キホン	基本(もとゐ)	キミヨ	奇妙(不思議)	ギモン	疑問(うたがひとふこと)
キマエ	氣前(氣立て)	キミヨ	歸命(1-1頂禮)	キヤク	奇薬(よくきくくすり)
キママ	氣儘(わがま)	ギミン	義民(義のたいたい人)	キヤク	既約(やくそくすみ)
キマリ	極(おきて)	ギム	義務(義理あるつと)	キヤク	規約(規則)
キマン	期滿(期限が満ちる)	キメイ	忌明(忌あけ)	ギヤク	瘡(病氣の名)
キマン	欺瞞(あざむき)	キメイ	記名(名をか)	キヤクイン	客員(特別會員)
キミ	君(主君)	ギメイ	偽名(つばり名)	ギヤクゲキ	逆撃(むかへうつこ)
キミ	氣味(心地)	キモ	肝(膽)	ギヤクサツ	虐殺(なぶりころし)
キミ	黄味(卵の)	キモイリ	肝煎(せわやき)	キヤクシツ	脚疾(かつけ)
キミガヨ	君が代(1-1の歌)	キモチ	氣持(こもち)	キヤクシヤ	客車(人ののる車)
キミツ	機密(内々のこと)	キモノ	着物(衣裳)	ギヤクシユ	逆襲(むかへおぞふこと)

ギヤクジヨ	逆上(のぼせ)	キヤクマ	客間(おさしき)	キヤラ	伽羅(香の一種)
キヤクシヨク	脚色(しぐみ)	キヤクライ	客來(客のくること)	キヤリ	木遣(1-1ぶし)
ギヤクシン	逆心(むほんの心)	ギヤクリユ	逆流(さかしまに流るること)	キユ	覬覦(はんとねらふこと)
ギヤクシン	逆臣(むほんする臣)	キヤクリヨク	脚力(あしのちから)	キユ	貴論(おさとし)
キヤクソ	客僧(山伏)	キヤツ	彼奴(あやつ)	キユ	消(消滅)
ギヤクゾク	逆賊(君にそむくわらもの)	キヤツカ	脚下(あしもと)	キユ	杞憂(づまらぬ心配)
ギヤクタイ	虐待(むごく取扱ふこと)	キヤツカ	却下(さげもどすこと)	キユ	級(階級)
キヤクデン	客殿(おもてごてん)	キヤツキ	客氣(カツキ)	キユ	灸(やいと)
キヤクト	脚湯(腰下の沐浴)	ギヤツキヨ	逆境(不仕合)	キユ	柩(ひつぎ)
ギヤクフウ	逆風(反對にふく風)	キヤシヤ	花車(華奢)	ギユ	義勇(1-1兵)
キヤクブン	客分(1-1としての扱ひ)	キヤハン	脚絆(はつき)	キユア	舊痼(ふるいやまひ)
キヤクホン	脚本(狂言の仕組の本)	キヤミ	氣病(氣でしんぱいする)	キユア	舊惡(ふるい悪事)

キユ一イ	休意(あんしん)	キユ一カツ	衰葛(一年間)	キユ一キヨ一	窮境(くるしいば)
キユ一イン	吸引(すひつける)	キユ一カツ	久瀾(ひさしぶり)	キユ一ギヨ一	休業(やすみ)
キユ一ウ	急雨(にはかあめ)	キユ一カン	舊観(もとの容子)	キユ一キヨク	究極(とりのつまり)
キユ一エン	久遠(久しく遠ざ)	キユ一カン	休刊(刊行をやすむ)	キユ一キン	給金(給料)
キユ一エン	救援(たすける)	キユ一カン	球擲(體操器械の名)	キユ一ク	窮苦(くるしみ)
キユ一エン	舊怨(むかしのう)	キユ一カン	嗅感(鼻のかんじろ)	キユ一クツ	究屈(せまくろしき)
キユ一オン	舊恩(むかしの恩)	キユ一カン	舊慣(ふるいなら)	キユ一ケイ	求刑(検事のー)
キユ一カ	舊家(ふるいいへ)	キユ一キ	舊記(ふるき記録)	キユ一ケイ	休憩(休むこと)
キユ一カ	救火(ー衣)	キユ一ギ	舊證(ふるき交り)	キユ一ゲキ	舊劇(新派ならぬし)
キユ一カ	休暇(やすみ)	キユ一ギ	球戯(たまつき)	キユ一ゲキ	急激(はげしきこと)
キユ一カク	嗅覺(鼻のはたらき)	キユ一キユ一	救急(急をすくふ)	キユ一ケツ	宮闕(天子のおすま)
キユ一ガク	休學(學校をやすむ)	キユ一キヨ一	究竟(畢竟)	キユ一ケツ	泣血(大いに悲むこ)

キユ一ゴ	舅姑(しうとしう)	キユ一コン	窮困(くるしむ)	ギユ一ジ	牛耳(ーをとる)
キユ一ゴ	九五(ーの位)	キユ一サイ	救濟(たすける)	キユ一ジ	給仕(小間使)
キユ一コ	舊故(むかしなじみ)	キユ一サイ	舊債(ふるいかり)	キユ一ジ	灸治(灸にて病をな)
キユ一ゴ	救護(たすけまもる)	キユ一サク	窮策(究したる計略)	キユ一シキ	舊式(むかしのかた)
ギユ一ゴ	牛後(雑口に對して)	キユ一サク	舊作(むかしつくつ)	キユ一シキ	舊識(むかしなじみ)
キユ一コ	舊好(ふるいよしみ)	キユ一シ	九死(ー一生)	キユ一ジツ	休日(やすみひ)
キユ一コ	躬行(みづから行ふ)	キユ一シ	仇視(悪むこと)	キユ一シユ	舊主(むかしの主人)
キユ一コ	舊交(むかしのつき)	キユ一シ	舊趾(ふるきあと)	キユ一シユ	仇讎(あだ)
キユ一コ	舊稿(ふるい草稿)	キユ一シ	舊師(まへの先生)	キユ一シユ	吸收(すひとる)
キユ一コ	急行(いそぎゆく)	キユ一シ	急使(いそぎのつか)	キユ一シユ	舊習(ふるいなら)
キユ一コ	休校(學校をやすむ)	キユ一シ	給資(入費を與へる)	キユ一シユ	九州(四國ー)
キユ一コ	休講(講義をやすむ)	キユ一シ	休止(やすむ)	キユ一ジュツ	弓術(弓をひくわざ)

キユーー ジョツ	救恤(すくひめぐむ)	キユーー ス	急須(茶道具の一)	キユーー セン	九泉(地の下)
キユーー ショ	急所(大事なる所)	キユーー スイ	給水(水を與ふる)	キユーー ゼン	弓箭(ゆみや)
キユーー ジョ	救助(たすくること)	キユーー スウ	級數(數學上の語)	キユーー ゼン	翕然(一としてあ)
キユーー ジョ	宮女(宮中の女官)	キユーー セイ	舊製(ふるくこさへ)	キユーー ソク	休息(休憩)
キユーー ジョ	休場(やすむ)	キユーー セイ	舊制(むかしのさま)	キユーー ソク	急速(すみやか)
キユーー ショ	求償(つくなひを)	キユーー セキ	急性(はやき性質)	キユーー ソク	窮措大(貧乏書生)
キユーー ジョ	窮狀(こまつたわ)	キユーー モイ	救世(世をすくふ)	キユーー ズク	舊俗(ふるい風俗)
キユーー ジョ	球狀(たまのかた)	キユーー セキ	求積(數學の一法)	キユーー タイ	舊態(むかしのあり)
キユーー ジョ	宮城(天子の御住居)	キユーー セキ	舊蹟(ふるきあと)	キユーー タイ	及第(試験をうまく)
キユーー ショク	休職(やくを休む)	キユーー セキ	休戚(安危)	キユーー タク	舊宅(むかしのいへ)
キユーー シン	休心(あんしん)	キユーー セツ	急設(いそぎまうけ)	キユーー チ	舊知(ふるきなじみ)
キユーー シン	舊臣(元の家來)	キユーー セン	休戦(戦を休む)	キユーー チ	救治(たすくること)

キユーー チュー	宮中(みやのうち)	キユーー トー	舊冬(ふゆのをはり)	キユーー ハイ	九拜(丁寧な禮)
キユーー チョ	九重(朝廷)	キユーー トー	舊套(ふるくさい)	キユーー ハク	究迫(せまること)
キユーー テイ	宮廷(朝廷)	キユーー トー	牛痘(牛にでくる痘)	キユーー バク	舊幕(舊幕府の略)
キユーー テキ	仇敵(かたき)	キユーー ドー	舊道(ふるいみち)	キユーー ハン	舊藩(一主)
キユーー テン	舊血(ふるきまじり)	キユーー ナン	急難(きふなる難儀)	キユーー ヒ	給費(費用を給する)
キユーー テン	炙點(やいと)	キユーー ニク	牛肉(うしのにく)	キユーー ヒ	求肥(菓子の名)
キユーー テン	九天(そら)	キユーー ニユ	吸入(すひこむ)	キユーー ヒ	牛皮(うしのかは)
キユーー テン	急轉(きうにてんず)	ギユーー ニユ	牛乳(うしのちち)	キユーー ビョ	急病(急に起りし病)
キユーー デン	宮殿(貴人の住居)	キユーー ニン	舊任(まへのやく)	キユーー ビン	急便(いそぎのたよ)
キユーー ト	舊都(ふるきみやこ)	キユーー ネン	舊年(ふるいとし)	キユーー ブン	舊聞(ふるいうばさ)
キユーー ト	繼燈(丸きちやう)	キユーー バ	急場(いそぎの場合)	キユーー ヘイ	舊弊(ふるき弊害)
キユーー ト	舊冬(去年のふゆ)	ギユーー バ	牛馬(うしうま)	キユーー ヘン	急變(急な變事)

キユーーホー	急報(急なる知らせ)	キユーーヨ	給與(あたふること)	キユーーリヨ	舊領(もとの領地)
キユーーミン	窮民(貧民)	キユーーヨ	急用(いそぎの用事)	キユーーリヨ	給料(給金)
キユーーム	急務(急にすべきつ)	キユーーヨ	給養(あたへる)	キユーーレイ	舊例(先例)
キユーーホー	舊法(ふるい法律)	キユーーヨ	休養(やすめる)	キユーーレキ	舊曆(大陰曆)
キユーーホー	白砲(大砲の一種)	キユーーライ	舊來(もとから)	キユーーロ	舊臘(去年の冬)
キユーーメイ	糺明(たしあきら)	ギユーラク	牛酪(牛乳を乾かし)	キユーワ	舊話(むかしのばな)
キユーーメイ	究命(くるしい運命)	キユーリ	究理(道理をきはむ)	キヨ	豐饗(ほめそしり)
キユーーモン	糺問(とひたす)	キユーリ	胡瓜(瓜の一種)	キヨ	器川(巧)
キユーーモン	宮門(みやのもん)	キユーリヨ	急流(勢の早き流れ)	キヨ	今日(こんにち)
キユーーヤク	舊約(—全書)	キユーリヨ	穹窿(天のこと)	キヨ	京(みやこ)
キユーーヤク	究厄(災難)	キユーリヨ	丘陵(なか)	キヨ	卿(貴人の尊稱)
キユーーユ	舊友(むかしのとも)	キユーリヨ	舊僚(もとの同役)	ギョ	行(おこなひ又す)

キョーアイ	狹隘(せげきこと)	キョーカ	狂花(時候はづれ)	キョーカン	郷關(くにもと)
キョーアク	兇惡(わるもの)	キョーカ	教化(をしへ)	キョーカン	兇漢(惡漢)
キョーアン	教案(教授する案)	キョーカイ	教誡(をしへいま)	キョーキ	兇器(きれもの)
キョーイキ	境域(さかひ)	キョーカイ	教誨(をしふること)	キョーキ	驚喜(おどろきよる)
キョーイク	教育(をしへそだつ)	キョーカイ	境界(さかひ)	キョーキ	狂氣(きちがひ)
キョーイン	教員(教師)	キョーカイ	教會(宗教上の集會所)	キョーキ	強記(よくおぼえる)
キョーエキ	共益(なかまのりえ)	キョーガイ	境涯(ありさま)	キョーキ	俠氣(おとこぎ)
キョーエツ	恐悅(おそれよる)	キョーガク	驚愕(おどろく)	キョーキ	教義(教のすぢ)
キョーオ	響應(もてなし)	キョーカク	俠客(男達する人)	キョーキ	經水(ひのきなど)
キョーオン	嬌音(やさしいこわ)	キョーカツ	恐喝(おどすこと)	キョーギ	協議(相談)
キョーカ	狂歌(ざれうた)	キョーカシ	教官(教育を掌る官)	ギョーギ	澆季(末世)
キョーカ	教科(—書)	キョーカシ	叫喚(さけぶこと)	ギョーギ	行儀(作法)

キヨ一ギ	キヨ一キユ一	キヨ一キヨ	キヨ一キヨ一	キヨ一ク	キヨ一ク	キヨ一ク	キヨ一ク	キヨ一ケイ	キヨ一ゲキ	
擬議(よく相談する)	供給(求に應じて)	僑居(かりすまひ)	競々(恠々)	仰(大層らしい)	恐懼(おそるゝこと)	狂句(発句の一體)	教具(教授に用ふる具)	境遇(身のゆぐりあはせ)	教訓(をしへ)	行啓(皇后、皇太子などの御出行啓)
キヨ一ケツ	キヨ一ゲキ	キヨ一ケン	キヨ一ケン	キヨ一ケン	キヨ一ケン	キヨ一ゲン	キヨ一コ	キヨ一コ	キヨ一コ	
凝結(こりかたまる)	挾撃(はさみうち)	恭謙(へりくだる)	強健(ちやうぶ)	狂犬(きちがひいぬ)	恭儉(まやかにする)	狂言(歌曲の名)	強固(ちやうぶ)	鞏固(かたきこと)	凝固(こりかたまる)	強硬(手がたきこと)
キヨ一コ	キヨ一コ	キヨ一コ	キヨ一コ	キヨ一コ	キヨ一ゴ	キヨ一ゴ	キヨ一コ	キヨ一サ	キヨ一サイ	
恐惶(おそれる)	強剛(つよくたけし)	向後(これよりのち)	凶荒(ふさぐの年)	凶行(あらわいおこ)	強行(むりにやり)	校合(しらべあは)	行幸(天子の御出行幸)	儂倖(さひい)	教唆(そのかすこと)	凶歳(米のできぬと)

キヨ一ザイ	キヨ一サク	キヨ一サツ	キヨ一サン	キヨ一サン	キヨ一サン	キヨ一サン	キヨ一サン	キヨ一シ	キヨ一シ
教材(教へる材料)	凶作(ふさく)	恐察(さつしる)	協賛(共に心を盡す)	胸算(胸中のつもり)	共産(財産を一にする)	迎山(澤山)	經師(表具屋)	教旨(をしへの旨)	教師(をしへる人)
キヨ一ジ	キヨ一シツ	キヨ一シヤ	キヨ一シヤ	キヨ一シヤ	キヨ一シヤ	キヨ一ジャク	キヨ一ジャク	キヨ一シユ	キヨ一シユ
行司(相撲の審判者)	行事(年中一)	教室(教場)	驕奢(おごり)	香車(将棋のこまの名)	行者(行をす人)	強弱(つよきとよわ)	強弱(つよいよわい)	拱手(手をこまねく)	梟首(悪漢の頭)
キヨ一シユ一	キヨ一シユ一	キヨ一シユク	キヨ一ジュツ	キヨ一ジュン	キヨ一シヨ	キヨ一シヨ	キヨ一シヨ	キヨ一シヨク	キヨ一シン
教習(をしへる)	凝集(凝取れ)	恐縮(おそれちむ)	供述(のべたてる)	恭順(おとなしくし)	狭小(せまく小さい)	教場(教室)	驍將(つよい大将)	行状(行儀)	教職(教員)
キヨ一ジン									キヨ一ジン
狂人(きちがひ)									強震(つよいちしん)

キヨ—シン	共進(一會)	ギョ—ソ	翹楚(すぐれたもの)	ギョ—タイ	業體(業のなり)
ギョ—ズイ	行水(水をつかふ)	ギョ—ソ	行装(出る時のす)	キョ—タク	教卓(教員のテーブル)
キヨ—セイ	強制(無理にさせる)	キョ—ゾ	経藏(經のくら)	キョ—タク	供託(出しそなへる)
キヨ—セイ	共棲(ともにすむ)	ギョ—ソ	行草(楷一)	キョ—ダツ	劫奪(おびやかした)
キヨ—セイ	匡正(たすこと)	キョ—ソク	教則(教授上の規則)	キョ—タン	驚歎(おどろくこと)
ギョ—セイ	行政(政を行ふこと)	キョ—ソク	脇息(ひちかけ)	キョ—チュ	胸中(むねのなか)
ギョ—セイ	曉星(夜明けのほし)	キョ—ダ	怯懦(臆病)	キョ—ツウ	共通(両方にある)
ギョ—セキ	行迹(おこなひ)	キョ—タイ	嬌態(なまめくさま)	キョ—テイ	教程(教へる程度)
キヨ—ソ	強壯(壯健)	キョ—タイ	狂態(きちがひの如)	キョ—テイ	協定(はかり定める)
キヨ—ソ	競争(はげみあふ)	キョ—ダイ	鏡鑿(かみたて)	ギョ—テン	仰天(驚く)
キヨ—ソ	競走(はしりくらべ)	ギョ—タイ	凝滞(とこほる)	キョ—テン	晴天(あかつき)
キヨ—ソ	競漕(舟をこぎく)	キョ—ダイ	兄弟(同胞)	キョ—テン	驚天(一動地)

キヨ—ト	京都(みやこ)	キョ—ハ	教派(宗教のわかれ)	キョ—ホ	凶報(人の死んだ)
キヨ—ト	兇徒(わるもの)	キョ—バイ	競賣(せりうり)	キョ—ホ	襁褓(むつき)
キヨ—ド	郷土(ふるさと)	キョ—ハク	脅迫(おどすこと)	キョ—ボ	共謀(共にもくる)
キヨ—ト	教頭(教師の長)	キョ—ハン	教範(體操一)	キョ—ボ	狂暴(あれくるふ)
キヨ—ト	郷黨(村のなかま)	キョ—ハン	共犯(共にをかす)	キョ—ボ	強暴(あらくつよし)
キヨ—ド	教導(をしへ導く)	キョ—フ	驚怖(おどろきおそ)	キョ—ボ	凶暴(大いにあら)
キヨ—ド	協同(力をあはす)	キョ—フ	恐怖(おそる)	ギョ—ボ	翹望(大にのぞむ)
キヨ—ド	嚮導(案内)	キョ—フウ	矯風(一會)	キョ—ボク	喬木(大きくなる木)
キヨ—ド	共同(共にすること)	キョ—フウ	驚風(病の名)	キョ—ホン	狂奔(くるひはしる)
キヨ—ナ	京菜(野菜の名)	キョ—ヘイ	強兵(つよい兵)	キョ—マン	驕慢(おごりたかぶ)
ギョ—ネン	行年(一七十歳)	キョ—ヘキ	胸壁(戦場にて敵弾を拒ぐに作る)	キョ—ミ	興味(面白味)
キョ—ネン	享年(年を歴たる)	キョ—ベン	教鞭(をしへのむち)	キョ—ム	教務(教育上の務め)

ギョーメイ	驍名(つよい名)	ギョーリ	郷里(故郷)	キョイ	虚位(むなしき位)
ギョーモン	經文(御經の文)	ギョーリ	篋裡(はこのうち)	ギョイ	御衣(おんころも)
ギョーユ	教諭(をしへさとす)	ギョーリョク	橋梁(はし)	ギョイ	御意(おこころ)
ギョーユ	共有(ともに有つ)	ギョーリン	杏林(醫者)	ギョウ	御宇(みよ)
ギョーユ	享有(うけたもの)	ギョーレツ	行列(御祭のー)	キョエイ	虚榮(みえをかざる)
ギョーユ	驍勇(たけくつよ)	ギョーレン	鏡座(かみげ)	キョカ	許嫁(いひなづけ)
ギョーユ	教養(をしへやし)	ギョーレン	教練(をしへれる)	キョカ	舉家(うちぢう)
ギョーヨ	強要(むりやり)	ギョーワ	共和(ー政治)	キョカ	炬火(松明)
ギョーヨ	共用(一つしよに)	ギョーワ	協和(心を一つにあ)	ギョカ	許可(ゆるし)
ギョーユ	梟雄(わるつよい)	ギョーワケ	誑惑(たぶらかしま)	ギョカ	漁家(れふしのいへ)
ギョーラン	狂亂(くるひみだる)	ギョーワラベ	京童(みやこのこと)	キョカイ	漁火(いさりび)
ギョーラン	狂瀾(大波)				巨魁(かしらだつ者)

ギョカイ	魚介(魚や貝)	ギョクガイ	局外(ー中立)	キョクセキ	跼蹐(せぐまりぬ)
ギョカク	巨額(たくさん)	ギョクガン	玉顔(天子の御顔)	ギョクセキ	玉石(ー混淆)
ギョカツ	虚喝(おどすこと)	ギョクゲイ	曲藝(いるおもしろ)	ギョクセツ	曲折(なれまがる)
ギョキ	歎歎(すーりなき)	ギョクゲン	極言(言をつくす)	ギョクセン	曲線(直線に對して)
ギョギ	虚偽(いつはり)	ギョクゲン	極限(かぎり)	ギョクタイ	玉體(天子の御身)
ギョギョ	虚業(實業に對して)	ギョクゲン	曲言(いひまげる)	ギョクタン	極端(物のほし)
ギョギョ	漁業(さかなをとる)	ギョクザ	玉座(天子の御座)	ギョクチ	極致(こく)
ギョキン	贖金(金銭を出しあ)	ギョクジ	玉璽(天子の御印)	ギョクチョ	局長(土木ー)
ギョグ	漁具(漁の道具)	ギョクジ	曲事(まがつたこと)	ギョクチョク	曲直(まがりと正直)
ギョクアン	玉案(机の敷語)	ギョクジツ	旭日(あさひ)	ギョクテン	極點(とどのつまり)
ギョクイン	局員(郵便ー)	ギョクシヨ	局所(局部)	ギョクド	極度(つまり、はて)
ギョクオン	玉音(天子の御聲)	ギョクシヨ	玉章(たまづさ)	ギョクト	極東(ひがしのはて)

キヨクト	玉兔(月のこと)	ギヨクホ	玉歩(天子のおあゆみ)	キヨコ	虚構(虚言をつくる)
キヨクバ	曲馬(一乗り)	キヨクメン	局面(ばづら)	キヨコ	舉行(おこなふこと)
キヨクハク	玉帛(たまときぬ)	キヨクリヨ	局量(胸中)	キヨゴ	倨傲(いばること)
キヨクノリ	曲乘(自轉車の一)	キヨクリヨク	極力(ちからかぎり)	キヨコク	舉國(國中すつぱり)
キヨクヒ	曲庇(かばひする)	ギヨクロ	玉露(茶の一種)	キヨサイ	巨細(大なること)
キヨクヒツ	曲筆(ふでをまげる)	ギヨクロ	玉樓(金殿一)	キヨザイ	巨材(大きな材木)
キヨクビキ	曲彈(三味の一)	キヨクロク	曲家(椅子の一種)	キヨサツ	巨利(大きなてら)
キヨクフ	曲譜(音楽の)	キヨクロン	曲論(むりな論)	キヨシ	清(淨)
キヨクフ	局部(ある部分)	ギヨケイ	魚形(うのかたち)	キヨシ	舉止(舉動)
キヨクフウ	極風(南北極のかぜ)	ギヨケイ	御慶(新年の一)	ギヨジ	御璽(天子の御印)
ギヨクヘン	玉篇(字引の一種)	キヨゲツ	去月(あとげつ)	キヨジ	虚字(實字に對して)
キヨクホ	曲浦(長汀一)	キヨゲン	虚言(うそ)	キヨシツ	居室(へや)

キヨジツ	虚實(うそとまこと)	キヨシヨ	居所(あところ)	キヨセツ	虚説(うその説)
キヨジツ	虚日(ひまな日)	キヨシヨ	舉證(證據をあげる)	キヨゼツ	拒絶(こばむこと)
ギヨシヤ	漁舍(漁夫のいへ)	キヨジヨ	居城(しる)	キヨリ	舉錯(ふるまひ)
ギヨシヤ	馭者(馬を御する人)	キヨジヨ	居常(平生)	ギヨリン	漁村(れふしむら)
キヨジヤク	虚弱(よわきこと)	キヨシヨク	虚飾(うはべのかざ)	キヨタ	許多(夥多)
キヨシユ	舉手(手をあげる)	キヨシン	虚心(平氣)	キヨダイ	巨大(大きなこと)
キヨシユ	據守(より守ること)	ギヨシン	御寢(おやすみ)	キヨタク	居宅(すまひ)
キヨシユ	醵集(金などをだしあふ)	ギヨス	御(馭、馬をつか)	キヨダク	許諾(承知)
ギヨシユ	漁舟(すなごりのふね)	キヨスイ	渠帥(かしら)	キヨタン	虚誕(うそ)
キヨジユ	去就(進退)	キヨセイ	虚勢(からいばり)	キヨツカイ	曲解(むりなきか)
キヨジユ	居住(すまふこと)	キヨセイ	去勢(いきほひをそ)	ギヨツカイ	玉階(玉のきざはし)
ギヨシユ	漁舟(いさりぶね)	ギヨセイ	御製(天子の御歌)	キヨツキ	旭旗(日の丸のはた)

キヨツコ	旭光 (あさひのひかり)	キヨブン	虚聞 (いつぱりの風)	キヨヨ	許容 (ゆるし)
キヨテン	虚傳 (うそのつたへ)	キヨホ	巨砲 (大砲)	キヨライ	去來 (きたりかへつ)
キヨド	舉動 (ふるまひ)	キヨボ	虚妄 (うそ)	キヨリ	巨利 (大きな利益)
ギヨニク	魚肉 (うなのにく)	キヨマン	巨萬 (多大)	キヨリ	距離 (へんたり)
キヨネン	去年 (昨年)	キヨミン	居民 (住んでゐる人)	ギヨリ	漁利 (利を食ふこと)
キヨハク	巨舶 (大船)	ギヨミン	漁民 (いさりする人)	キヨリユ	居留 (りゅう)
キヨハク	巨擘 (親指)	ギヨミン	御民 (民をなさむる)	ギヨリヨ	漁獵 (すなどりかり)
キヨヒ	拒否 (こばむ)	キヨム	虚無 (空しきこと)	ギヨルイ	魚類 (さかな類)
キヨビョ	虚病 (うそのやまひ)	キヨメイ	虚名 (うはべの名)	キヨレイ	虚禮 (うはべの禮)
ギヨフ	漁夫 (川海のれふなする人)	ギヨメイ	御名 (おんな)	キラ	綺羅 (美麗)
ギヨフク	魚腹 (うなのばら)	キヨメル	淨 (清、きよむ)	キラウ	嫌 (いやがる)
ギヨベツ	魚籃 (うなやすっぱ)	キヨモ	虚耗 (キヨモ、ののへること)	キラキラ	煌煌 (燈がー)

キラク	氣樂 (香氣)	キラカエ	切替 (か、手形のー)	キリドオシ	切通 (きりとほすこ)
キラク	歸洛 (都にかへること)	キリギリス	蟋蟀 (虫の名)	キリヌキ	切抜 (新聞のー)
キラズ	雪花菜 (豆腐のから)	キリコ	切籠 (ー燈籠)	キリボシ	切乾 (ー大根)
キラメク	煌 (燦然)	キリシマ	霧島 (木の名)	キリマク	切幕 (能のー)
キララ	雲母 (礦物の一種)	ギリシヤ	希臘 (國の名)	キリミ	切身 (まぐろのー)
キラン	貴覽 (ごらん)	キリスト	切捨 (きりすてるこ)	キリユ	寄留 (かりすまひ)
キリ	錐 (器の名)	キリスト	基督 (ー教)	キリヨ	羈旅 (たび)
キリ	桐 (木の名)	キリズケ	切漬 (漬物の一種)	キリヨ	器量 (人のねうち)
キリ	霧 (水氣より生ずるもの)	キリツ	規律 (風紀)	キリヨ	技術 (うでまへ)
ギリ	義理 (人の道)	ギリツ	擬律 (ある事件を設けて法を擬す)	ギリヨ	議了 (會議しをはる)
キリアイ	切合 (きりあふこと)	キリツ	起立 (たちあがる)	キリヨク	氣力 (元氣)
キリアゲ	切上 (きりあげるこ)	キリド	切戸 (戸の一種)	キリヨ	貴慮 (おかんがへ)

キリン	麒麟(めでたき獸)	ギロン	議論(意見をたしか	キニン	禁烟(烟草をやめる
キル	切(截、斬、剪、伐)	キワ	際(はて、あたり)	キニン	金圓(金錢)
キル	着(着川)	ギワク	疑惑(うたがひまど	キニン	禁苑(御所の御庭)
キルイ	着類(さしもの)	キワマル	極(きはまる)	キニカ	近火(—見舞)
キレイ	綺麗(うつくしい)	キワモノ	際物(一時の物)	キニカ	金貨(金製の貨幣)
キレツ	龜裂(ひわれ)	キン	斤(目方の名、百	ギンカ	銀河(天のがは)
ギレツ	義烈(忠義の盛なる	キンアツ	禁遏(とむること)	ギンカ	銀貨(貨幣の一種)
キロ	歸路(歸途かへりみ	キニイツ	均(均しくすること)	キンカイ	襟懷(心の中)
キロ	耆老(宿老残りたる	キニイン	近因(ちかい原因)	キンカイ	近海(りくに近い海)
キロ	生蠟(まじもの、な	キニイン	金員(かれ)	キンカク	巾幗(女のこと)
キロ	妓樓(おちやや)	ギンエイ	吟咏(詩歌をうたふ	キンカク	金閣(—寺)
キロク	記録(かきもの)	キンエン	禁厭(まじなひ)	キニガク	勤學(學問をつとむ

キニガク	金額(金高)	キンキョク	琴曲(琴の歌曲)	キンコ	金海鼠(動物の名)
ギニカク	銀閣(—寺)	キンギョク	金玉(—の文)	キンコ	禁錮(牢におしこむ
キンカラカ	金唐皮(革の一種)	キンケイ	錦雞(鳥の名)	キンコ	金庫(かれのくら)
キンカン	金環(金のわ)	キンゲキ	罨隙(すきま)	キンコ	謹厚(つししみ、手
キンカン	金柑(果の名)	キンケツ	禁闕(天子のおすま	キンコ	勤功(つとめのいさ
キンガン	近眼(ちかめ)	キンケツ	金穴(かれあな)	キンコ	噤口(口をつぐむこ
キンキ	欣喜(よろこぶこと)	キンケン	近縣(—旅行)	キンゴ	近郷(近き在所)
キンキ	近畿(都の近邊)	キンケン	勤儉(けんやく)	ギンコ	銀行(金融機關の—)
キンキ	錦旗(にしきのはた)	キンゲン	金言(結構なる言葉)	キンコク	金穀(かれやこめ)
キンキユ	緊急(急なること)	キンゲン	謹言(つししみいふ	キンゴク	近國(ちかいくに)
キンギョ	金魚(魚の一種)	キンゲン	謹嚴(つししみおご	キンゴツ	筋骨(すぢとほね)
キンキョ	近況(近頃の景況)	キンコ	近古(ちかむかし)	キンコン	金婚(—式)

ギンコン	銀婚(一—式)	キンシガン	近視眼(ちかめ)	キンシヨ一	襟章(えりのしろし)
ギンザ	銀座(一—通)	キンジサン	禁治産(財産をつかふ力を禁じること)	キンジヨ一	今上(今上天皇)
キンザイ	近在(都に近き村里)	キンシユ	禁酒(さけなやめる)	キンジヨ一	金城(堅固なる城)
キンサク	金策(金の工面)	キンシユ	金主(かねをたす人)	ギンシヨ一	銀將(將棋のこまの名)
キンサ	欽差(一—大臣)	キンシユ一	錦繡(立派なる織物)	キンシヨク	金色(きんのいろ)
キンザンジ	金山寺(一—味噌)	キンジユ一	近習(近侍)	ギンシヨク	銀燭(うつくしい燈)
キンシ	禁止(とゞむること)	キンジユ一	禽獸(鳥とけだもの)	キンシン	近臣(おそばのけら)
キンシ	金枝(一—玉葉)	キンシユク	緊縮(ちぢむること)	キンシン	近親(みよりの人々)
キンシ	金鷄(一—勳章)	キンシユク	簪(くるしむこと)	キンシン	謹慎(つししみ)
キンシ	金糸(金色のいと)	キンジヨ	近所(きんべん)	キンス	金子(金圓、金銭)
キンジ	近侍(おそばの人)	キンシヨ一	焮衝(熱のためにいたみを感じずること)	キンセイ	金星(星の名)
ギンシ	銀糸(銀色のいと)	キンシヨ一	僅少(わづか)	キンセイ	近世(ちかごろ)

キンセイ	禁制(とゞめ制する)	キンゾク	勤續(つとめつゝく)	キンチユ一	禁中(御所の内)
ギンセイ	吟聲(詩吟)	キンゾン	近村(近邊のむら)	キンチヨ一	謹聽(つししみき)
ギンセカイ	銀世界(雪の形容)	キンダ	勤惰(出精となまけ)	キンチヨ一	金打(刀をうちあ)
キンセキ	金石(かれやいし)	キンタイ	近體(このごろのてい)	キンチヨク	謹直(つししみ正直なること)
キンセツ	緊切(大切)	キンダイ	近代(ちかき世)	キンツバ	金鏢(菓子の名)
キンセン	金錢(かれのこと)	キンダカ	金高(かれだか)	キンテイ	欽定(勅定)
キンセン	飲羨(うらやむこと)	キンダチ	公達(上流の子弟)	キンテイ	禁庭(御所の御庭)
キンゼン	欣然(よろこぶ)	キンダン	禁斷(禁止)	キンデイ	金泥(金箔をとかし)
キンセン	金盞(一—花)	キンダン	金談(金についての)	ギンデイ	銀泥(銀箔をとかし)
キンソ一	金創(双物のきず)	キンチサン	禁治産(法律上財産権を行使すること)	キンテキ	金的(まとの一種)
キンソク	禁足(足どめ)	キンチャク	巾着(金入れ)	キンテツ	金鏡(かたきこと)
キンゾク	金屬(金類の總稱)	キンチャク	巾着(金入れ)	キンテン	均霑(ひとしくうる)

キンテン	金殿(立派なる御殿)	ギンパイ	銀牌(銀の賞牌)	キンペン	近邊(ちかきあたり)
キンド	襟度(むねのうち)	ギンパイ	銀盃(銀杯)	キンボ	欽慕(したふこと)
キントー	均等(ひましい)	ギンパク	銀箔(銀色のはく)	キンボー	近傍(近邊)
キントキ	金時(食物の名)	キンパク	金箔(金色のはく)	キンマンカ	金満家(富家)
キントン	金團(食物の名)	キンバク	緊縛(きびしくしば)	ギンミ	吟味(しらぶること)
ギンナン	銀杏(木の名)	キンバン	勤番(勤めの番)	キンミツ	緊密(ひみつな大事)
キンニク	筋肉(からだの筋肉)	キンピラ	金平(一午夢)	キンム	勤務(つとめ)
キンネン	近年(このころ)	キンブン	金粉(金色のこな)	キンモツ	禁物(してならぬ)
キンノー	金納(金をなまむる)	ギンブン	銀粉(銀色のこな)	キンヤク	欣躍(よろこびなど)
キンノー	勤王(王事に勤むる)	キンペイ	金幣(かね)	キンユ	金融(金まはり)
キンパイ	金杯(金盃)	キンベン	勤勉(つとむること)	キンヨ	緊要(大事)
キンパイ	金牌(金の賞牌)	キンベン	欣抃(よろこぶこと)	キンヨ	金曜(七曜の一)

キンライ	近來(近頃)	ク	苦(くるしみ)	クイスギ	食過(たべすぎ)
キンラン	金襴(織物の名)	クーリー	苦力(支那の人足)	クイテガイ	喰違(齟齬)
キンリ	金利(りそく)	グアイ	工合(有様)	クイナ	水雞(鳥の名)
キンリ	禁裏(皇居のこと)	グアン	愚按(おろかなる考)	クイモノ	食物(たべもの)
キンリヨク	金力(かれのちから)	クイ	杭(地にうちこむ)	クイル	悔(くゆ)
キンリン	近隣(ちかどなり)	クイ	悔(くやむこと)	クウ	食(たべる)
キンルイ	金類(かれるゐ)	クイ	區醫(區のいしや)	グウイ	寓意(事によせるこ)
キンレイ	禁令(禁止の命令)	グイ	愚意(自分のおもは)	クウイ	空位(位がむなし)
キンロー	勤勞(つとめ骨折り)	クイキ	區域(くぎり)	クウカン	空間(くりの間)
		クイキリ	食切(かみきるこ)	クウキ	空氣(大氣)
		クイコム	食込(くひいるこ)	クウキョ	空虛(むなしきこ)
		クイサシ	食殘(たべのこし)	グウキョ	寓居(假住居)

『く』

クウゲキ	空隙(すきま)	クウゼン	空前(これより前に なきこと)	クウリ	空理(根のなき理)
クウケン	空拳(からのこぶし)	グウゼン	偶然(たまたま)	クウロン	空論(れなしの議論)
クウゲン	空言(空談、空論)	クウソ	空想(あてなき考)	クエキ	苦役(くるしきつと)
グウゲン	寓言(作りごと)	グウゾ	偶像(木石などにて 作りし像)	クエキ	驅役(つかひまはす)
グウジ	宮司(神官の長)	クウダン	空談(からげなし)	クエル	崩(くづ、くづれ)
クウシツ	空室(あいたへや)	クウチ	空地(あきち)	クガ	陸(陸地)
クウシユ	空手(からで)	クウチュ	空中(そら)	クカイ	區會(區の會)
グウシン	耦進(ならびすすむ)	クウバク	空漠(ひろくした ること)	クカイ	苦界(くるしき世界)
クウシヨ	空所(あいたところ)	グウハツ	偶發(ふとできたこ と)	クカク	區劃(しきり)
クウジン	偶人(人形)	クウヒ	空費(むだづひえ)	クガク	苦學(くるしき學ぶ)
グウスウ	偶數(二でわられる數)	クウフク	空腹(はらのへるこ と)	グガン	具眼(物がよくわか る)
クウセツ	空説(うそなせつ)	クウホ	空砲(からつ)	クキ	莖(草のくき)

クギ	釘(うちつくるく ぎ)	クゲン	苦患(くるしみ)	クサナギ	草薙(草の劔)
クギヌキ	釘貫(道具の名)	クゴ	供御(天子のおあが りもの)	クサビ	楔(物のゆるみに さすくさび)
クギョ	公卿(公家衆)	グコ	愚考(おろかなる考)	クサボーキ	草箒(草にてつく りし箒)
クギョ	苦行(つらきおこ なひ)	クサ	種(じゆるゑ)	クサムラ	叢(草のしげれる 處)
クク	九九(乗算一)	グサイ	愚妻(わが妻の稱)	クサメ	噓(くしやみ)
クク	區區(まちく、つ まらぬ)	クサイバン	區裁判(一處所)	クサリ	鎖(鏈)
クグム	屈(かゝめる)	クサカリ	草刈(草をかる人)	クサル	腐(腐敗)
ククム	含(ふくむ)	クサギル	耘(草を除く)	クサワケ	草分(はじめのこと)
ククル	括(すべむすぶ)	クサシ	臭(あしき香のす ること)	クシ	串(魚などを貫き ておくもの)
クグル	潜(水中を)	クサス	眨(けなす)	クシ	苦思(くるしいおも ひ)
クゲ	公家(官家)	クサズリ	草摺(よろひの腰か ら下)	クシ	苦使(むごくつかふ)
クケル	紉(くけぬひにす る)	クサトリ	草取(一人夫)	クジ	公事(おほやけのこ と又うつたへ)

クシ	櫛 (髪をけづる具)	グジヨ—	具狀 (ありさまを申し立てる)	クズス	崩 (こぼす)
クジ	鬪 (運にまかせ事を定むるもの)	クジラ	鯨 (海獣の名)	クスダマ	藥玉 (裝飾の名)
クシアゲ	髪上 (かみあげ)	クジル	抉 (えぐる)	クスノキ	楠 (木の名)
クシガキ	串柿 (串にさしたかき)	クシン	苦辛 (くるしみ)	クスベル	燻 (くすぶる)
クジク	挫 (なりまぐ)	クシン	苦心 (心を苦しむる)	クスリ	藥 (病をいやすもの)
クシケズル	梳 (髪をけづる)	グシン	具申 (具狀申し立つ)	クズレル	壞 (崩、くづる)
グシヤ	愚者 (おろかな人)	グジン	愚人 (ばかもの)	クセ	癖 (悪習)
クジヤク	孔雀 (鳥の名)	クス	楠 (樟、木の名)	クセゴト	曲事 (正しからぬこと)
グジュ	口授 (口にて授くる)	クズ	葛 (澱粉をとる草の名)	クゼツ	口舌 (いさかひ)
クジヨ	驅除 (かりのくること)	クズ	屑 (すたれもの)	クセマイ	曲舞 (能舞の一種)
クシヨ—	苦笑 (にがわらび)	グズ	愚圖 (遅緩)	クセモノ	曲者 (悪者)
クジヨ—	苦情 (不平)	クスグル	摑 (抓癢)	クセン	苦戰 (くるしきた)

クソ	糞 (大便、尿)	クダリ	行 (三、ぎやう)	クチク	驅逐 (おひはらふ)
クソ	苦楚 (くるしみ)	クダリバラ	痢腹 (下痢)	クチゴタエ	口答 (抗論)
グソ—	愚僧 (僧の自稱)	クダン	件 (一の通)	クチザ	口座 (帳面の一)
グソク	具足 (そなはること)	クダン	九段 (一、阪)	クチサキ	口先 (吻)
グソク	愚息 (おろかなる子息)	グチ	愚痴 (おろか)	クチズサム	口號 (何となぐうた)
グダ	管 (中空にて細長きもの)	クチアイ	口合 (しやれの一)	クチトリ	口取 (一皿)
グダク	碎 (摧)	クチイレ	口入 (一、屋)	クチナシ	梔子 (染料に供する木の名)
グダサレ	被下 (一、度)	クチエ	口繪 (雑誌の一)	クチナワ	蛇 (へび)
グダス	下 (瀉、降)	クチオシ	口惜 (残念)	クチバシ	嘴 (喙)
クタバヒレ	草臥 (疲勞)	クチカル	口輕 (よくしやべる)	クチビル	唇 (口の周圍)
クダモノ	菓 (食用にする草木の實)	クチキキ	口利 (しやべり上手)	クチモト	口許 (くちの様子)
クダラ	百濟 (國の名)	クチキ	朽木 (くちたる木)	クチヨ—	區長 (區役所の長)

クチヨ	口調(言葉の調子)	クツタク	屈托(くよくよする)	グドン	愚鈍(おろか)
グチヨク	愚直(馬鹿正直)	クツタビ	靴足袋(靴下)	クナイ	区内(一區のうち)
クツ	履(靴)	クツプク	屈伏(屈服、屈從)	クナイ	宮内(一省)
クツ	朽(くさる)	クツログ	寛(のびのびする)	クナン	苦難(くるしみ)
クツウ	苦痛(いたみ)	クツワ	轡(馬具の名)	クニガラ	國柄(國體)
クツガエル	覆(ひつくりかへる)	グテイ	愚弟(わがおとうと)	クニツコ	國造(古の官名)
クツキヨ	偏竟(つよきこと)	クテン	句點(〇のこと)	クヌギ	櫟(薪にする木の)
クツキヨク	風曲(かままり)	クデン	口傳(くちづたへ)	クネル	迂(うれる)
クツシ	屈指(ゆびをり)	クトー	句讀(よみきり)	クノ	苦惱(くるしみ)
クツジユ	屈從(まげしたがふ)	クドク	功德(いさを)	クバル	醜(わりあて)
クツジヨク	屈辱(はつかしめらるること)	クドク	口説(しきりにかこ)	クビ	頸(首)
クツシン	屈伸(のびちぢみ)	クドシ	啼々(うた)	グビ	具備(そなはること)

クビカセ	盤枷(刑具の名)	クベツ	區別(ちがひ、けち)	クミ	苦味(にがみ)
クビス	踵(かかと)	クボ	公方(將軍の尊稱)	グミ	菜黄(胡蘆子)
クビスジ	頭筋(襟のとこ)	クボム	窠(中くぼになる)	クミアイ	組合(結社)
グヒツ	愚筆(自分の書いたもの)	クマ	熊(猛獸の名)	クミウチ	組討(格闘)
クビヒキ	首引(字引と一す)	クマ	隈(曲、阿)	クミス	興(仲間入をする)
クビマキ	頸巻(えりまき)	クマイ	供米(そなへるこめ)	クミタテ	組立(くみたてるこ)
クビル	縊(絞)	グマイ	愚妹(わがいもと)	クム	汲(水を)
グブ	供奉(天皇の御供)	グマイ	愚味(おろか)	クム	酌(酒を)
クフウ	工夫(考へこむこと)	クマザサ	隈笹(笹の一種)	クメ	久米(一部署)
グフウ	颯風(まひかせ)	クマツ	熊襲(古の人種の名)	クメン	工面(都合すること)
グブツ	愚物(おろかなもの)	クマドル	鞆取(くまをとる)	クモ	蜘蛛(虫の名)
クブン	区分(くわけ)	クマデ	熊手(道具の名)	グモ	愚蒙(おろか)

クモジ	漬菜(つけもの)	クラ	鞍(馬具の名)	グラム	瓦(重量の名、わが二分六厘餘に當る)
クモイ	雲居(そら)	クラ	内藏(一寮)	クラヤミ	暗闇(くらいこと)
クモスケ	雲助(かごかきなど)	クライ	位(位階)	クラワス	暗(たましこむ)
クモツ	供物(おそなへもの)	クラク	苦樂(くるしみとたのしみ)	クリ	栗(菓樹の名)
クモル	曇(雲のおふこと)	クラゲ	海月(水母、海中動物の名)	クリアゲ	繰上(日限をーる)
クモン	苦悶(くるしみが)	クラシキ	倉敷(一料)	クリアワセ	繰合(萬障ー)
クヤクシヨ	區役所(役所の名)	クラス	暮(生活)	クリキ	功力(神佛の力)
クヤム	悔(くゆること)	クラシ	暗(昏、冥、昧、闇)	クリコト	繰言(老人のー)
クユラス	薰(烟草をー)	クラブ	較(比較)	クリコシ	繰越(ー金)
クヨ一	九曜(星の名)	クラブ	俱樂部(集會所)	クリコミ	繰込(くり入れる)
クヨ一	供養(佛に供ふること)	クラマス	晦(縮晦)	クリヤ	腐(庖腐)
クラ	倉(庫、藏)	クラム	眩(目のまふこと)	クル	繰(ひきたぐる)

クル	剝(はぐる)	クルワ	廓(かこひ)	クロート	黑人(それを職とせ)
クルウ	狂(気がー)	クルワス	狂(くるはしめる)	クロード	藏人(くらびとの音)
クルウ	歪(ゆがむ)	クレ	晚(暮)	クロカミ	黒髪(け)
クルシ	苦(嘗)	クレグレ	呉々(ーもたのむ)	クロガネ	鐵(てつ)
クルマエビ	車蝦(えびの一種)	クレタケ	呉竹(竹の名)	クロシオ	黒潮(海洋中の暖流)
クルマザ	車座(まるくすわる)	クレナイ	紅(あかいろ)	クロダイ	黒鯛(魚の名)
クルマドメ	車止(車をとめる)	グレル	齟齬(くひちがふ)	クロマク	黒幕(顧問)
クルマヨセ	車寄(宮中の御一)	グレン	紅蓮(あかいはす)	クロヤキ	黒焼(よくこがす)
クルミ	胡桃(菓物の名)	クロ	畔(田のあぜ)	クロンボ	黒坊(黒い顔の人)
クルメ	久留米(ー一耕)	クロ一	苦勞(くるしみ)	クワ	鍬(農具の名)
クルメル	包(つみこむ)	グロ一	愚弄(馬鹿にする)	クワ	桑(木の名)
グルリ	周圍(まはり)	グロ一	愚老(老人の自稱)	クワイ	慈姑(烏芋)

クワエル	加 <small>くは</small> (よせる)	クンカイ	訓誨 <small>くわい</small> (なしへること)	ダンギ	群議 <small>ぐんぎ</small> (多くの議論)
クワエル	唾 <small>くは</small> (口にくはへる)	グンカイ	郡會 <small>ぐんかい</small> (郡の會議)	ダンキョ	群居 <small>ぐんきょ</small> (むらがりある)
クワシ	委 <small>くはし</small> (精)	グンガク	軍學 <small>ぐんがく</small> (いくさの學問)	ダンク	軍區 <small>ぐんく</small> (軍事上のくか)
クワダツ	企 <small>くはたつ</small> (おもひたつ)	グンガク	軍樂 <small>ぐんがく</small> (軍中の音樂)	ダンケン	郡縣 <small>ぐんけん</small> (こほりとけん)
クンイ	勳位 <small>くんい</small> (勳等と位階と)	グンカン	軍艦 <small>ぐんかん</small> (いくさぶね)	クンコ	勳功 <small>くんこう</small> (手柄)
グンイ	軍醫 <small>ぐんい</small> (陸海軍の醫者)	グンカン	軍監 <small>ぐんかん</small> (軍を監督する)	グンコ	軍港 <small>ぐんこう</small> (横須賀—)
グンエイ	軍營 <small>ぐんえい</small> (陣屋)	クンキ	勳記 <small>くんき</small> (勳章にそへた)	グンコ	軍功 <small>ぐんこう</small> (いくさのてが)
グンエキ	軍役 <small>ぐんえき</small> (いくさのやく)	グンキ	軍旗 <small>ぐんき</small> (聯隊旗)	クンコ	君公 <small>きんこう</small> (とのさま)
クンオン	君恩 <small>きんおん</small> (きみの御恩)	グンキ	軍紀 <small>ぐんき</small> (軍中の紀律)	グンコ	群口 <small>ぐんこう</small> (多くの人の口)
グンガ	郡衙 <small>ぐんが</small> (郡の役所)	グンキ	軍機 <small>ぐんき</small> (軍の機密)	クンシ	君子 <small>くんし</small> (有徳の人)
グンカ	軍歌 <small>ぐんか</small> (軍隊にてうた)	グンギ	軍議 <small>ぐんぎ</small> (軍中の相談)	クンシ	訓示 <small>くんし</small> (なしへしめす)
クンカイ	訓誨 <small>くんかい</small> (なしへいましむること)	グンキ	軍記 <small>ぐんき</small> (いくさのきき)	グンシ	軍資 <small>ぐんし</small> (いくさの資本)

グンシ	軍師 <small>ぐんし</small> (はかりごとの上手な人)	クンシン	君臣 <small>きんしん</small> (きみとけらい)	グンダン	軍團 <small>ぐんだん</small> (軍隊を若干あつめたるもの)
グシン	軍使 <small>ぐんしん</small> (敵陣へ赴く使者)	グンシン	軍神 <small>ぐんしん</small> (いくさのみ)	グンダン	軍談 <small>ぐんだん</small> (いくさのはなし)
グンジ	軍事 <small>ぐんじ</small> (軍隊に關すること)	グンシン	群臣 <small>ぐんしん</small> (多くの臣)	グンチョ	郡長 <small>ぐんちやう</small> (郡吏の長)
クンシユ	薩酒 <small>さくしゆ</small> (にほひのするもの)	グンジン	軍人 <small>ぐんじん</small> (いくさびと)	クンテン	訓點 <small>くんてん</small> (漢文の—)
グンジュ	軍需 <small>ぐんじゆ</small> (いくさに入川のもの)	グンジン	軍陣 <small>ぐんじん</small> (軍營)	クント	薰陶 <small>くんと</small> (なしへそだて)
グンシユ	群集 <small>ぐんしゆ</small> (むらがりあつまる)	クンズ	薰 <small>くんず</small> (かゝる)	クント	勳等 <small>くんと</small> (勳章の等級)
クンジュ	群衆 <small>ぐんじゆ</small> (むらがりあつまる)	グンゼイ	軍勢 <small>ぐんぜい</small> (兵士のむれ)	クンド	訓導 <small>くんど</small> (なしへみちび)
グンシヨ	群書 <small>ぐんしよ</small> (多くの本)	グンセキ	軍籍 <small>ぐんせき</small> (軍人のせき)	グント	軍刀 <small>ぐんたう</small> (いくさがたな)
グンシヨ	軍書 <small>ぐんしよ</small> (いくさの記録)	グンソ	軍曹 <small>ぐんそう</small> (陸軍下士の官名)	クンドク	訓讀 <small>くんどく</small> (くんよみ)
クンシヨ	勳章 <small>くんしよ</small> (勳功あるものに賜はる)	クンソク	君側 <small>きんがわ</small> (きみのおそば)	グンナイ	郡内 <small>ぐんない</small> (即のうち)
グンシヨ	群青 <small>ぐんしよ</small> (繪具の名)	グンゾク	軍屬 <small>ぐんぞく</small> (軍務に服する文官)	グンバ	軍馬 <small>ぐんば</small> (いくさに用ゐる)

ゲンビ	軍備(いくさぞなへ)	クンモイ	訓蒙(子供を教ふる)	クンレイ	訓令(法令の一種)
ゲンピ	軍費(いくさの入費)	ダンモン	軍門(軍營の門)	ダンレイ	軍令(いくさの命令)
ゲンピョー	軍票(戦場の紙幣代)	ダンヤクシヨ	郡役所(郡衙)	クンレン	訓練(をしへねること)
ゲンブ	郡部(市部に對して)	クンユ	訓諭(をしへさとす)	クンロー	勳勞(いさをしてが)
ダンブ	軍夫(いくさの人夫)	ダンユイ	群雄(多くの英雄)		
クンプ	君父(きみとおや)	ダンヨイ	軍用(いくさに用ゐる)		
クンプウ	蒸風(みなみかぜ)	ダンリ	郡吏(郡のやくにん)		
グンプク	軍服(軍人の服)	ダンリツ	郡立(一學校)		
グンポ	軍法(軍人の裁判)	ダンリツ	軍律(軍中の法律)		
グンポ	軍帽(軍人の帽)	ダンリヤク	軍略(兵略)		
グンム	軍務(いくさのつと)	ダンリヨ	軍旅(いくさ)		
クンメイ	君命(きみの命令)	クンリン	君臨(君としてのぞむこと)		

「け」

毛 (肌にはえる)
 傷 (佛道の詩)
 蹴上(けりあげる)
 毛穴(毛のはえる穴)
 罫 (しきりのすぢ)
 卿 (大臣の稱又は汝の意)

ケイアイ	敬愛(うやまひ愛す)	ケイガ	慶賀(よること)	ケイカン	桂冠(辭職)
ケイアン	慶庵(口入屋)	ケイカイ	輕快(少しく心地よし)	ケイガン	啓籠(開帳)
ケイイ	輕易(かるくやすし)	ケイカイ	境界(さかひ)	ケイガン	炯眼(きらくした)
ケイイ	敬意(うやまふこと)	ケイカイ	警戒(いましむること)	ケイガン	慧眼(眼力のさとき)
ケイイ	經緯(たてよこ)	ケイガイ	驚駭(おどろく)	ケイキ	刑期(刑の年限)
ケイイキ	埜域(ばかの土地)	ケイガイ	警咳(しはぶき)	ゲイギ	藝妓(一者)
ケイイン	契印(わり印)	ケイガイ	形骸(からだ)	ケイキ	景氣(模様)
ゲイイン	鯨飲(多く飲むこと)	ケイカク	計畫(もくろみ)	ケイキ	京畿(都のきんべん)
ケイエイ	經營(つくりかまへ)	ケイカク	主角(かど)	ケイキキョ	輕氣球(風船)
ケイエイ	警衛(いましめまほ)	ケイガク	谿壑(たに)	ケイキキョ	輕學(粗忽なるふる)
ケイエ	敬遠(うやまひ遠ざ)	ケイガク	驚愕(おどろくこと)	ケイキキョ	景況(様子)
ケイカ	經過(すぎゆくこと)	ケイカン	警官(警部や巡查など)	ケイキキョク	荆棘(いばら)

ケイキンコ	輕禁錮(刑罰の種類)	ケイコク	傾國(くにをかたむける)	ケイサン	傾産(身代をつくす)
ケイグ	敬具(うやまひまをすといふ意)	ケイコク	頃刻(しばし)	ケイシ	傾産(こと)
ケイケン	迎撃(むかへうつこ)	ケイコク	警告(いましめつけ)	ケイシ	桂枝(肉桂)
ケイケン	經驗(親しく試みたること)	ケイコク	經國(くにを治むること)	ケイシ	惠賜(めぐみたまはる)
ケイゲン	輕減(かるく減すること)	ケイコツ	輕忽(かるくしき)	ケイシ	警視(警察官の名)
ケイコ	稽古(古をかんがふこと)	ケイサイ	掲載(かかげのすること)	ケイシ	罌紙(けいのある紙)
ケイコ	警固(いましめかたむること)	ケイサイ	荆妻(愚妻)	ケイジ	輕視(かるく視ること)
ケイゴ	敬語(うやまふこと)	ケイザイ	輕罪(かるきつみ)	ケイジ	形而(一上)
ケイゴ	警護(いましめまはること)	ケイザイ	經濟(理財)	ケイジ	慶事(いはひこと)
ケイゴ	嚙語(うはごこと)	ケイサク	計策(はかりごと)	ケイジ	刑事(法律上の語)
ケイコー	傾向(かたむき)	ケイサク	警察(行政上の一部の名)	ケイシ	揭示(かかげしめす)
ケイコー	迎合(むかへあはす)	ケイサン	計算(勘定)	ケイシキ	形式(かたち)
ケイコー		ケイサン		ケイシツ	繼室(繼妻)

ケイジツ	頃日(このころ)	ケイシヨ	警鐘(非常がれ)	ケイセイ	形勢(ありさま)
ケイシヤ	傾斜(かたむき)	ケイシヨ	輕少(すくなきこと)	ケイセイ	警醒(いましめさま)
ケイシヤ	藝者(藝をうる女)	ケイシヨ	敬承(けたまはる)	ケイセイ	經世(世をなさむ)
ケイシユ	警手(宮中の巡查)	ケイシヨ	繼承(うけつぐ)	ケイセイ	傾城(遊女)
ケイシユ	稽首(拜禮)	ケイジヨ	啓上(申し上ぐる)	ケイセイ	警世(世をいましむ)
ケイシユ	閨秀(すぐれた女)	ケイジヨ	形状(かたち)	ケイセキ	形迹(あとかた)
ケイシユ	輕舟(こぶね)	ケイジヨ	刑場(刑を行ふ處)	ケイセツ	盤雪(ほたるとゆき)
ケ—ジユ	輕重(かるきとおもき)	ゲイシヨ	霓裳(一羽衣の曲)	ゲイセツ	迎接(人の来るをむ)
ゲイジユツ	藝術(學び得たるしわざ)	ケイシヨク	景色(げしき)	ケイセン	經線(地球の—)
ケイシヨ	經書(道德の書)	ケイシン	輕信(かるがるしく信ずること)	ケイソ	輕裝(身がるので)
ケイシヨ	敬稱(うやまひと)	ケイシン	敬神(かみをうやまふこと)	ケ—ソ	輕躁(おちつかぬ)
ケイシヨ	卿相(大臣や高官)	ケイズ	系圖(系譜)	ケイソ	係争(一物件)

ケイゾク	繫屬(かゝりあふ)	ケイテヨ	傾聽(ちやう) (耳をかたむけきくこと)	ゲイドー	藝道(げいのみち)
ケイゾク	繼續(つゞくこと)	ケイテイ	兄弟(あにおと)	ケイニク	鶏肉(にはとりのに)
ケイソツ	輕卒(かるはづみ)	ケイテイ	逕庭(ちがひ、差)	ゲイニン	藝人(遊藝を業とする人)
ケイタイ	形態(なりかたち)	ケイテキ	勁敵(つよきてき)	ゲイノ	藝能(藝術)
ケイタイ	形體(なりかたち)	ケイテン	經典(經書)	ケイバ	競馬(くらべうま)
ケイタイ	携帶(たづさふるこ)	ケイテン	驚天(一動地)	ゲイハ	鯨波(ときのこゑ)
ケイダイ	境内(さかひのうち)	ケイト	毛糸(毛をよつた糸)	ケイハク	輕瀟(人情のうすき)
ケイチユ	閨中(ねやのうち)	ケイド	經度(緯度に對して)	ケイハク	敬白(うやまひまなすこと)
ケイチユ	傾注(熱心)	ケイト	鶏頭(草花の名)	ケイハツ	啓發(知識をひらくこと)
ケイチヨ	輕佻(かるくしき)	ケイト	系統(すぢ)	ケイバツ	刑罰(法律上の制裁)
ケイチヨ	慶吊(いはひとむ)	ケイト	傾倒(かたむけたふ)	ケイハン	京阪(京都大阪)
ケイチヨ	敬重(うやまひおもんずること)	ケイト	惠投(めぐみあたへること)	ケイヒ	經費(入りめ)

ケイビ	警備(いましめそなふること)	ケイフク	慶福(さいはひ)	ケイホー	警報(用心のしらせ)
ケイビ	輕微(すくなきこと)	ケイフク	敬服(つゝしみ従ふ)	ケイボ	閨房(ねや)
ケイヒツ	警蹕(さきばらひのこゑ)	ケイフク	傾覆(かたむけくつ)	ケイマ	桂馬(將棋の駒の名)
ケイヒン	京濱(東京横濱)	ケイブ	警部(官名)	ケイミョ	輕妙(手がるくて妙なること)
ケイフボ	繼父母(まい父とま)	ケイブツ	景物(景品)	ケイメイ	雞鳴(五更)
ケイフ	系譜(けいぶ)	ケイヘイ	勁兵(つよい兵)	ケイメイ	刑名(一の學)
ケイフ	繼父(まいちち)	ケイベツ	輕蔑(ないがしるに)	ケイモ	啓蒙(訓蒙)
ケイフ	繼夫(あと入りの夫)	ケイベン	輕便(てがるきこと)	ケイモン	閨門(ふしど)
ケイフ	輕浮(かるくうかれ)	ケイホ	警保(一局)	ケイヤク	契約(約束)
ケイブ	輕侮(あなどること)	ケイボ	繼母(まいば)	ケイユ	經由(とほりゆく)
ケイフウ	勁風(つよき風)	ケイボ	景慕(したふこと)	ケイヨ	惠興(めぐみあたへること)
ケイフウ	輕風(そよぶかぜ)	ケイホ	刑法(法律上の語)	ケイヨ	形容(有様)

ケイラ	警邏(いましめみまはる)	ケイレイ	敬禮(うやまひ禮する)	ゲカ	外科(醫術の一種)
ケイラク	京洛(みやこ)	ケイレキ	經歷(履歷)	ゲカイ	下界(地球の上、天に對して)
ケイラン	鷄卵(にほとりのたまご)	ケイレシ	痲痺(節のひきつけ)	ケガス	汚(穢)
ケイリ	經理(さばきたさむ)	ケイロ	徑路(みち)	ケガレル	穢(けがる、汚)
ケイリ	警吏(警官)	ケイロ	經路(すぎ來しみち)	ケガワ	毛皮(獸類の)
ケイリク	刑戮(罪に處する)	ケイロ	毛色(色のいろ)	ケガワリ	毛更(毛のはえか)
ケイリツ	刑律(刑法)	ケイロク	雞肋(川なきも捨て)	ゲカン	下疳(病の名)
ケイリヤク	計略(はかりごと)	ケイワク	熒惑(まどはすこと)	ゲキサイ	擊碎(うちくだく)
ケイリユ	緊留(つなぎとむ)	ケウ	稀有(まれにある)	ゲキシヨ	激賞(ひどくほめる)
ケイリユ	溪流(たにがほのな)	ケウラ	毛裏(毛のシヤツ)	ケキシユ	鷓首(龍頭の船)
ケイリン	經綸(天下を治むる)	ケオリ	毛織(毛にておりた)	ゲキシヨ	擊攘(うちばらふ)
ケイルイ	係累(あしでまとひ)	ケガ	怪我(負傷)	ゲキジヨ	劇場(芝居をする處)

ゲキシヨク	劇職(いそがしい)	ゲキハ	擊破(うちやぶる)	ゲキレツ	激烈(極めてはげし)
ゲキシシ	劇震(大いなる地震)	ゲキハツ	激發(はげしく發す)	ゲキロー	逆流(さかまくなみ)
ゲキジン	劇甚(太甚)	ゲキヒョ	劇評(しばゐの評判)	ゲキロン	激論(はげしき議論)
ゲキセキ	閑寂(さびしく静なる)	ゲキブン	檄文(ふれがき)	ケギワ	毛際(毛のはえぎは)
ゲキゼツ	鳩舌(外國人の物い)	ゲキヘン	劇變(はげしきかは)	ゲクウ	外宮(伊勢の)
ゲキセン	劇戰(はげしきいく)	ゲキム	劇務(はげしきつと)	ゲケン	下弦(曆の語、廿日)
ゲキタイ	擊退(うちしりぞく)	ゲキヤク	劇藥(きついくすり)	ゲコ	下戸(酒を好まぬ人)
ゲキタク	擊柝(拍子木をうつ)	ケギライ	毛嫌(毛をいやする)	ゲコ	下向(都よりあな)
ゲキタン	激湍(はげしきみづ)	ゲキリユ	激流(はげしいなが)	ケコミ	蹴込(人力車の)
ゲキチン	擊沈(うちしづめる)	ゲキリヨ	逆旅(やどや)	ゲコン	下根(思想の)
ゲキド	激怒(甚しく怒る)	ゲキリン	逆鱗(天子の怒り)	ケサ	今朝(今日のあさ)
ゲキド	激動(はげしきうご)	ゲキレイ	激勵(つよくはげま)	ケサ	袈裟(僧衣の上)

ゲザ	下座(しもざ)	ゲジキ	下直(やすいれだん)	ゲジョー	下乗(馬車より下ること)
ゲザイ	下劑(くだしぐすり)	ゲジゲジ	蜘蛛(虫の名)	ケシン	化身(うまれがばり)
ケサク	下作(品格のないこと)	ケシツボ	消壺(道具の名)	ケス	消(きやすこと)
ケサン	卦算(文鎮)	ケジメ	區別(さべつ)	ガス	下衆(いやしきもの)
ケシ	芥子(罌粟、草の名)	ゲシヤ	下車(車をおりる)	ガス	解(原とくすること)
ゲシ	夏至(曆の語、夏の最中)	グシユク	下宿(寄宿)	ゲスイ	下水(きたない水を流すどぶ)
ゲジ	下知(命令)	ケジユス	毛織子(毛織の名)	ケズル	梳(櫛で)
ケシイン	消印(消したるしる)	ゲシユニン	下手人(手をおろしたる人)	ケズメ	蹴爪(堅くて大きな爪)
ケシカク	嗾(俗にいふ、けし)かけること	ゲジユン	下旬(下浣)	ケズル	削(剗、削)
ケシカラヌ	異(甚しい、ことなる)	ゲジヨ	下女(下婢)	ゲセン	下賤(いやしきもの)
ケシキ	氣色(かたち、やうす)	ケシヨ	化粧(假粧)	ケロー	懸想(おもひなかけ)
ケシキ	景色(けいしよく)	ケシヨ	化生(妖怪)	ゲソク	下足(ぬぎたるはきもの)

ケタ	桁(柱に横ふる材)	ケツイン	訣飲(わかれの宴)	ケツカイ	決潰(きれくづれる)
ゲタ	下駄(あしだ)	ケツイン	関員(定員のかけたる)	ケツカイ	血塊(ちのかたまり)
ケダシ	蹴出(赤の—)	ケツエン	血縁(ちつゝき)	ゲツカン	月刊(—雑誌)
ケタテル	蹴立(けりあげる、けたつ)	ケツエキ	血液(ちのこと)	ケツギ	決議(評議のとりにき)
ゲダン	下段(したのだん、次の方)	ケツカ	結果(なれのはて)	ケツキ	血氣(はやり心)
ゲダイ	外題(となへ、なま)	ケツカ	結跏(あぐら)	ケツキ	蹶起(勢よく立ち上ること)
ケダカシ	氣高(風采のよきこと)	ケツカ	缺課(課業をかく)	ゲツキユ	月給(月俸)
ゲダツ	蓋(たぶん、思ふ)	ゲツカ	闕下(朝廷のもと)	ケツキヨ	穴居(穴にすまふこと)
ケダモノ	獸(けもの)	ゲツカ	月下(月の光の下)	ケツキヨク	結局(つまり)
ケチエン	結縁(縁をむすぶこと)	ケツカク	結核(—症)	ケツク	結句(つまり)
ケチンボ	吝嗇坊(りんしよく)	ケツカン	血管(ちのくだ)	ケツキン	缺勤(やすむこと)
		ケツカン	缺陷(かけおちいる)	ゲツキン	月琴(樂器の名)

ゲツケイ	月經(つきやく)	ゲツサン	決算(勘定のしあげ)	ゲツシヨク	月蝕(月の面の暗く)
ゲツケン	擊劍(劍術)	ケツジ	闕字(一字あけて敬意を表すること)	ケツシン	決心(心を定むること)
ケツコ—	結構(ありがたし)	ケツシ	決死(死を覚悟すること)	ケツゼイ	血税(兵役のこと)
ケツコ—	決行(決心して行ふ)	ケツシヤ	結社(社を結ぶこと)	ケツセイ	血清(一—薬)
ケツゴ—	結合(むすびあふこと)	ゲツシヤ	月謝(授業料)	ケツセン	闕席(一—届)
ゲツコ—	激昂(怒ること)	ケツシテ	決(きつと)	ケツセン	血戦(はげしいた)
ケツコン	月光(つきのひかり)	ケツシユツ	傑出(すぐれいづる)	ケツセン	決選(一—投票)
ケツコン	血痕(血のあと)	ケツシヨ	血書(ちでかく)	ケツソク	決戦(死を決してた)
ケツサ	譎詐(いつはり)	ケツシヨ—	決勝(勝ちをきめる)	ケツソク	血相(氣相)
ケツサイ	潔齋(からだなきよ)	ケツシヨ—	結晶(礦物の晶形)	ケツゾク	結束(しげる)
ケツサク	傑作(詩文などのよくできたる者)	ケツシヨク	血色(いろつや)	ケツソク	血族(血つぎの一)

ケツタク	結託(ばらなあはす)	ゲツパク	月迫(つきすゑに近)	ゲツポ—	月報(毎月しらす)
ケツダン	決断(さだめ)	ケツパツ	結髪(髪を結び上ぐ)	ケツマツ	結末(をばり)
ゲツタン	月旦(しなさだめ)	ケツパン	血判(指の血にて判を捺すこと)	ゲツマツ	月末(つきのすゑ)
ケツチャク	決着(落着)	ケツビ	結尾(とちめ、をばり)	ゲツヤ	月夜(つきよ)
ケツテイ	決定(きまり)	ゲツピヨ—	月評(一月の終に批評すること)	ケツヤク	結約(約束をむすぶ)
ケツト	毛布(まうふ)	ゲツプ	月表(月末につくる表)	ゲツヨ—	月曜(日曜の次の日)
ケツト—	決答(たしかかなへん)	ゲツプ	嘆氣(おくび)	ケツラク	脱落(かけおつること)
ケツト—	決闘(はたしあひ)	ケツペキ	月賦(つきわり)	ケツリヨ—	結了(なほること)
ケツト—	血統(ちすぢ)	ケツベツ	潔癖(きれいすき)	ケツルイ	血涙(ちのなみだ)
ケツト—	結黨(黨なくむこと)	ケツボ—	訣別(わかれ)	ケツレイ	缺禮(禮をかく)
ケツパク	潔白(不正ならぬこと)	ゲツポ—	缺乏(缺けてとぼし)	ケツロ	血路(僅のにげみち)
		ゲツポ—	月俸(月給)	ケツロ—	缺漏(かけもれる)

ケツロン	結論(論をむすぶこと)	ゲネツ	解熱(ねつさまし)	ケモノ	獸(畜)
ゲテン	外典(佛書外の本)	ケネン	懸念(心にかくること)	ケヤキ	樺(材木にする木の名)
ゲト—	下等(下級)	ゲバ	下馬(うまをおりる)	ケラ	螻蛄(蟲の名)
ゲド—	外道(よこしまなる道)	ケハイ	假粧(けしやう)	ケラ	啄木(鳥の名)
ケト—ジン	毛唐(西洋人をいやる人)	ゲハイ	下輩(つまらぬ者)	ケライ	家來(臣、召使)
ゲトク	解毒(—劑)	ケハエ	毛生(—藥)	ゲラク	下落(物價のさがること)
ケナゲ	健氣(神妙)	ゲビョ—	假病(うそやまい)	ケリ	鳧(鳥の名)
ケナス	貶(くさすこと)	ゲヒン	下品(品のないこと)	ガリ	下痢(はらくだり)
ゲナン	下男(しもべ)	ケマリ	蹴鞠(けるまり)	ゲリヤク	下略(あとははぶく)
ゲニ	實(もつとも、じつ)	ケミス	閱(しらべみること)	ケル	蹴(足にてけとばす)
ゲニン	下人(いやしき人)	ケムシ	毛蟲(蟲の名)	ゲレツ	下劣(いやしきもの)
ケヌキ	毛拔(道具の名)	ケムリダシ	烟出(煙突)	ゲロ—	下郎(賤しき召使)

ゲロ—	下臈(身分のひくい)	ケンイ	健胃(胃をつよくす)	ケンエン	慷慨(あき足ること)
ケワイ	氣色(そぶり)	ケンイ	權威(威勢)	ケンオン	驗溫(熱をはかる)
ケワシ	險(峻)	ケンイチ	見一(和算の語)	ケンカ	縣下(縣の支配する土地)
ケン	拳(あそびの名、—を打つ)	ケンイン	檢印(検査の印におす印)	ケンカ	喧嘩(いさかひ)
ケン	件(何々の—)	ゲンイン	原因(事のおこり)	ケンガ	懸河(流の早き河)
ケン	軒(—の家)	ゲンウン	眩暈(めまひ)	ケンガ	犬牙(いぬのきば)
ケン	間(六尺)	ゲンエイ	幻影(なきものが見ゆること)	ゲンカ	減價(ねさげ)
ゲン	弦(ゆみづる又數)	ケンエキ	檢疫(流行病をしらぶること)	ゲンカ	原價(もとね)
ケンアイ	險隘(けはしくせま)	ゲンエキ	現役(現に服役に従ふこと)	ゲンカ	嚴科(きびしいとが)
ケンアク	險惡(きこちのけはし)	ケンエツ	檢閱(しらぶること)	ゲンカ	現下(たゞいま)
ケンアン	檢案(しらべる)	ケンエン	倦厭(うみあくこと)	ケンカイ	縣會(けんのかい)
ケンアン	原案(もとのまゝの文案)	ケンエン	嫌厭(いやになること)	ケンカイ	見解(さとるかた)

ケンカイ	狷介(かたき性質)	ゲンカク	減額(数をへらすこと)	ケンギョー	牽牛(ひこぼし)
ケンガイ	懸崖(けはしきがけ)	ケンカン	兼官(かげもちのやく)	ケンキョ	檢舉(しらべにか)
ゲンカイ	限界(かぎり、さか)	ゲンカン	嚴寒(つよきさむさ)	ケンギョ	言語(ことば)
ゲンカイ	嚴戒(きびしきいま)	ケンカン	支關(家の正面のくわん入口)	ケンギョ	牽強(こじつけ)
ゲンガイ	言外(ことばのほか)	ケンキ	嫌忌(いみきらうこと)	ゲンキョ	現況(現在の有様)
ケンカク	懸隔(かけはなれたること)	ケンキ	顯貴(身分の高き人)	ゲンギョ	現業(一員)
ケンカク	劍客(劍術つかひ)	ケンギ	權義(げんり、ぎむ)	ケンギョ	檢校(古の盲人の官)
ケンガク	兼學(かねまなぶ)	ケンギ	嫌疑(うたがひ)	ケンギョ	兼業(業をかめること)
ケンガク	見學(みてまなぶ)	ケンギ	建議(意見を申立つこと)	ケンギョ	險囁(魚のあざと)
ケンガク	見學(見習)	ゲンキ	元氣(勢よきこと)	ケンキン	獻金(金を差上ぐる)
ケンカク	嚴格(きびしい)	ゲンキヤク	減却(ひく、なくなること)	ケンキン	兼勤(かねつとむること)
ケンカン	堅艦(つよい軍艦)	ケンキョー	研究(みがききほめ)	ケンキン	嚴禁(きひしくとむること)

ゲンキン	現金(俗のげんなま)	ケンケン	拳々(うやくしい)	ケンコ	堅硬(かたきこと)
ケング	賢愚(かしこいとおろか)	ケンゲン	權限(權利の限度)	ケンコ	肩胛(かたの骨)
ケンダウ	險囁(あきと、ケン)	ケンゲン	建言(建白)	ケンコ	堅甲(丈夫なるよろ)
ケンクン	賢君(かしこいきみ)	ゲンケン	嚴謹(きびしきとが)	ケンゴ	喧囂(やかましきこと)
ゲンクン	嚴君(父の尊稱)	ケンコ	眷顧(ひいき)	ゲンコ	言行(ことばとおこ)
ゲンクン	元勳(國家に大功ある人)	ケンコ	堅固(かたきこと)	ゲンコ	元寇(弘安の役)
ケンケイ	賢見(他人の尊稱)	ゲンコ	拳固(俗の拳骨)	ゲンコ	原稿(したがき)
ゲンケイ	嚴刑(刑をかるくす)	ゲンゴ	言語(ことば)	ゲンコ	現行(めのまへに行)
ゲンケイ	嚴刑(きびしき刑罰)	ゲンゴ	原語(ものことば)	ゲンコ	減耗(へらすこと)
ゲンケイ	原形(ものまゝの形)	ケンゴ	健康(たつしや)	ケンゴク	建國(國をおこすこと)
ケンゲキ	劍戟(つるぎとほこ)	ケンコ	軒昂(氣のあがること)	ゲンゴク	嚴酷(むごきびし)
ゲンゲツ	弦月(ゆみはりづき)	ケンコ	權衡(つりあひ)	ゲンゴク	原告(訴を起す方)

ケンコン	乾坤(天地)	ケンサン	檢算(答の正不正を)	ゲンシ	原紙(もとのかみ)
ゲンコン	現今(たゞいま)	ケンサン	研鑽(研究)	ケンジ	檢事(團家を代表し て上訴する官 吏)
ケンサ	檢査(しらべ)	ケンザン	見參(面會)	ケンジ	健兒(つよき人)
ケンサ	研鑽(みがくこと)	ゲンザン	減算(ひきざん)	ゲンシ	元始(はじめ)
ケンサイ	賢宰(えらい大臣)	ケンシ	檢屍(死骸をあらた める)	ケンシキ	見識(かんがへ)
ケンサイ	賢才(かしこい人)	ケンシ	檢視(しらべみる)	ゲンシツ	原質(したちのもの)
ケンザイ	健在(たつしやであ る)	ケンシ	檢使(見届る使)	ゲンジツ	現實(實際のまゝな ること)
ゲンザイ	現在(まのあたり)	ケンシ	劔士(撃劔家)	ケンシヤ	縣社(神社の格の名)
ケンサキ	劔先(つるぎのほさ き)	ケンジ	劔璽(つるぎとたま)	ゲンシユ	殿守(かたく守るこ と)
ケンサケ	獻策(はかりごとを いひたてる)	ゲンシ	原子(化學の語、分 子の分子)	ゲンシユ	元首(かしら)
ケンサツ	賢察(察するの數語)	ケンジ	謙辭(けんそんのこ とば)	ゲンシユ	減收(収入がへる)
ケンサツ	檢察(しらべ吟味す ること)	ゲンジ	言辭(ことば)	ケンシユ	獻酬(杯をとりかは すこと)

ゲンジユ	現住(現に住める こと)	ケンシヨ	謙稱(ひげしたと なへ)	ゲンシヨ	減少(へらすこと)
ゲンジユ	嚴重(きびしくお もくしき こと)	ケンシヨ	懸賞(賞をかけた 物をつのる)	ゲンシヨ	現象(あらはれた ること)
ゲンシユク	嚴肅(いかめしきこ と)	ケンシヨ	憲章(おきて)	ゲンシヨ	絃誦(學問の意)
ゲンジユツ	幻術(魔法)	ケンシヨ	顯彰(あらはすこと)	ケンシヨク	顯職(官職)
ケンジユツ	劔術(撃劔)	ケンシヨ	肩章(大禮服の肩 のかざり)	ゲンシヨク	現職(休職に對し)
ケンシユン	險峻(けはしきこと)	ケンシヨ	健勝(すこやかな ること)	ゲンシヨク	原色(もとのいろ)
ケンジユ	拳銃(ピストル)	ケンジヨ	獻上(さしあげる)	ゲンシヨク	減食(食をへらす)
ゲンジヨ	原狀(もとのかたち)	ケンジヨ	謙讓(へりくだる こと)	ケンシン	權臣(はぶりのよい)
ゲンシヨ	嚴暑(大暑)	ケンジヨ	喧擾(さばかしき こと)	ケンシン	獻身(命をさぐる こと)
ゲンシヨ	原書(もとの書物)	ゲンジヨ	現狀(いまのあり さま)	ケンシン	檢診(病人をみため ること)
ケンシヨ	檢證(しらべて證 を立てる)	ケンジヨ	堅城(ちやうぶな城)	ケンシン	見神(かみをみる)

ケンジン	賢人(かしこいひと)	ケンセキ	言責(ことばの責任)	ケンソク	牽束(拘泥)
ゲンスイ	元帥(總大將)	ケンセツ	建設(たてつくる)	ケンゾク	眷屬(うから、やか)
ケンヌウ	軒數(いへかす)	ケンゼツ	懸絶(かけへだたる)	ゲンゾク	還俗(僧籍を脱する)
ケンヌウ	件數(件々のかず)	ケンゼン	健全(すこやかなる)	ケンソク	謙遜(へりくだる)
ゲンスイ	減水(水のへること)	ゲンゼン	泫然(涙下る)	ゲンソク	玄孫(ひまごの子)
ケンセイ	憲政(憲法政治)	ゲンゼン	儼然(いかめかしい)	ゲンソク	現存(現に在ること)
ケンセイ	權勢(ゐせい)	ケンソ	險阻(けはしき)	ケンソク	謙退(へりくだる)
ケンセイ	牽制(ひきつけて自)	ゲンソ	元素(すべての物體)	ケンソク	兼帶(かれあひ)
ケンセイ	嚴正(嚴重にて正し)	ケンソ	喧噪(さわがしき)	ケンソク	獻替(よきをすいめ)
ケンセイ	現世(この世)	ケンゾ	建造(たてつくる)	ケンソク	倦怠(うみなこたる)
ケンセキ	譴責(叱ること)	ケンソク	賢息(人の子の尊稱)	ケンソク	見棄(本名のせる臺)
ケンセキ	原籍(寄留に對して)	ケンソク	減速動(物理學の語)	ケンソク	兼題(數日前にだす)

ゲンダイ	現代(今の世)	ケンチク	建築(ふしんする)	ケント	見當(めあて)
ケンダイ	賢臺(他人の尊稱)	ケンチヤン	卷織(料理の名)	ケント	劍道(擊劍の道)
ケンタツ	顯達(出世すること)	ケンチュ	繭紬(織物の名)	ゲント	嚴冬(冬の最中)
ケンタツ	嚴達(きびしき令達)	ケンチヨ	顯著(いちじるしき)	ゲント	眩燈(ふなばたの燈)
ケンダン	檢斷(しらべ定むる)	ケンチヨ	縣廳(縣の役所)	ゲント	幻燈(かげゑ)
ゲンダン	嚴談(きびしき談判)	ケンテイ	檢定(しらべさだめる)	ゲント	減等(罪をかるめる)
ケンタン	健談(よく物をくふ)	ゲンテイ	限定(かぎりさだめ)	ゲンド	原動(運動を起す)
ゲンタン	嚴探(きびしくさぐ)	クンテキ	涓滴(水のしたり)	ゲンド	言動(ことばと行ひ)
ケンチ	軒輕(優劣)	クンテツ	賢哲(かしこい人)	ケントク	謙德(へりくだる德)
ケンチ	檢地(土地をしらべ)	クンテン	圈點(まるのしるし)	ケントク	賢德(一士の)
ケンチ	見地(かんがへ)	クンデン	驗電(一器)	ケントク	捲土重來(もりかへ)
ケンチ	縣治(一局長)	ゲンテン	減點(てんをへらす)	ケントク	堅食(じやけん)

ケンナイ	権内(権限のうち)	ケンナイ	圈内(区域のうち)	ケンピョー	堅氷(かたきこほり)
ケンナマ	現生(金圓のこと)	ケンバ	犬馬(いぬとうま)	ゲンピン	現品(實際のしな)
ケンナン	劔難(刃物の災難)	ケンパイ	現場(めのまへのさ)	ケンブ	賢婦(かしこい女)
ケンナン	嶮難(けんそ)	ケンバク	獻盃(さかづきをさ)	ケンブ	劔舞(刀をぬいてま)
ケンニン	堅忍(かたくこらへ)	ゲンバツ	建白(建議)	ケンブ	絹布(きぬもの)
ケンニン	兼任(やくをかねさ)	ケンバン	殿罰(きびしき刑罰)	ゲンブク	元服(子供が一人前)
ゲンニン	現任(現に今任せら)	ケンピ	見番(検番)	ケンブツ	見物(一一人)
ケンニンジ	建仁寺(一一垣)	ケンピ	建碑(石碑をたてる)	ゲンブツ	現物(正物)
ケンロー	獻納(たてまつりな)	ケンビ	兼備(かねそなふる)	ケンブン	検分(しらべ)
ケンロー	権能(権力のはたら)	ケンピイシ	原被(原告と被告と)	ケンブン	見聞(見又はきくこ)
ケンロー	賢能(かしこく腕前)	ケンピキョー	検非違使(昔の官名)	ゲンブン	原文(もとの文)
			顯微鏡(細きもの 見せる鏡)		言文(一一一致)

ケンペイ	兼併(かねあはすこ)	ケンポ	憲法(くにの根本の)	ゲンマイ	現米(一一百石)
ゲンペイ	源平(源氏と平家)	ケンポ	劔法(撃劔の法)	ケンマク	嶮幕(恐ろしい一一)
ケンペイ	権柄(いきほひ)	ケンポ	言貌(ことばすがた)	ゲンミツ	殿密(きびしくこま)
ケンペイ	憲兵(軍人の非違を)	ゲンポ	減俸(月給をへらす)	ゲンミョー	玄妙(幽玄にして且)
ケンペキ	疝癖(病の名)	ケンホク	研北(すりのそば)	ケンム	兼務(兼任)
ケンベツ	軒別(一戸毎に)	ケンポン	見本(みほん)	ケンメイ	賢明(かしこくあき)
ケンペン	權變(變に應じかり)	ケンポン	原本(もとのかきつ)	ケンメイ	賢命(他人の命の尊)
ケンポ	兼補(かねて職を命)	ケンポン	獻本(人におくる本)	ゲンメイ	言明(あきらかにい)
ケンポ	原簿(どだいの帳簿)	ケンポナシ	玄圃梨(木の名)	ゲンメイ	殿命(きびしき命令)
ケンポ	減法(ひきざん)	ケンマ	研磨(とぎみがく)	ケンメン	券面(一一百圓)
ケンポ	健忘(物忘れする病)	ケンマ	肩摩(かたのすれあ)	ケンモン	權門(位高く權重き)
ケンポ	權謀(ばかりごと)	ゲンマイ	玄米(くるこめ)	ケンモン	遺悶(うさをばらす)

ゲンモン	諺文(朝鮮の文字の名)	ケンリョ	賢慮(おかんがへの意)	ゲンロン	言論(議論)
ゲンヤ	原野(のほら)	ケンリョー	見料(見たる代とし拂ふ賃錢)	ゲンワク	眩惑(くらみまどふ)
ケンヤク	儉約(入費をつまやかにする)	ケンリョー	賢良(才徳すぐれ)	ケンワン	懸腕(ちよくひつ)
ゲンユ	原由(よりどころ)	ゲンリョー	減量(分量をへらすこと)		
ケンユ	縣有(一財産)	ゲンリョー	原料(物のたれとなるもの)		
ケンヨ	權輿(物のはじめ)	ケンリョク	權力(權威)		
ケンヨ	兼川(かねもちふる)	ケンルイ	堅壘(丈夫なるとり)		
ケンヨ	兼川(かねもちふる)	ケンレイ	嚴令(きびしき命令)		
ケンヨ	兼川(かねもちふる)	ケンレン	眷戀(こひしたふ)		
ケンヨ	兼川(かねもちふる)	ゲンロ	言路(下の事情を上へつづけるみち)		
ケンリツ	縣立(一學校)	ケンロー	堅牢(かたく丈夫)		
ケンリヤク	權略(ばかりごと)	ゲンロー	元老(元勳)		
				コーア	粉(こな)
					子(こども)
					故(一伊藤公)
					碁(遊びの具)
					切(圍碁のことば)
					鵠(鳥の名)
					考案(かんがへたる)

コーアン	苟安(一時のがれ)	コーウ	膏雨(よきおしめり)	コーエン	廣遠(ひろくとほ)
コーイ	好意(しんせつな)	ゴウウ	強雨(きついなめ)	コーエン	口(口にてのぶる)
コーイ	高位(たかいくらゐ)	コーウン	幸運(仕合せよき)	コーエン	公園(公衆の遊ぶ園)
コーイ	更衣(ころもがへ)	コーウン	耕血(田島をたがや)	コーエン	講演(えんぜつ)
コーイ	皇威(天子の御ゐ)	コーエイ	後裔(血統の末)	コーオ	後援(うしろだすけ)
コーイ	厚意(あつきなき)	コーエイ	幸榮(さいはひ)	コーオ	好悪(すききらひ)
コーイ	行爲(おこなひ)	コーエイ	光榮(ほまれ)	コーオツ	甲乙(甲と乙)
コーイ	合意(意にあふこと)	コーエキ	公益(おほやけの利)	コーオン	鴻恩(大恩)
コーイン	拘引(官署に引立て)	コーエキ	鴻益(大いなる利益)	コーオン	厚恩(あつき恩)
コーイン	勾引(かどはかす)	コーエン	光焰(ひかりほのほ)	コーオン	皇恩(天子の御恩)
コーイン	後胤(血統の末)	コーエキ	交易(品をかへて商)	コーオン	高音(たかいおと)
コーウ	好雨(よきあめ)	コーエツ	校閱(しらべる)	コーカ	高價(たか)

コーカ	高歌(たかくうたふ)	コーカイ	後悔(くやむこと)	コーカク	口角(くちさき)
コーカ	校歌(学校のうた)	コーカイ	公會(おほやけの會)	コーカツ	狡猾(わるがしこ)
コーカ	皇化(天皇の御政治)	コーガイ	筭(髪をかき上ぐ)	コーカツ	廣瀾(ひろきこと)
コーカ	効果(できあがり)	コーガイ	慷慨(心をふるひ起)	コーカン	槓杆(てこ)
コーカ	高架(高くかけるこ)	コーガイ	郊外(まちはずれ)	コーカン	交感(互に感じる)
コーカ	降嫁(皇女を臣下に嫁すること)	コーガイ	校外(学校のそと)	コーカン	後患(がとのうれへ)
コーカ	考課(成績を調ぶ)	コーガイ	梗概(大略のすぢ)	コーカン	高官(たかいやく)
コーカ	交架(互ちがひにわたす)	コーガイ	口外(口に出すこと)	コーカン	向寒(寒さに向ふこ)
コーカ	豪家(富家)	コーガイ	號外(號のほか)	コーカン	浩翰(廣く大なるこ)
コーカ	業果(前世のむくみ)	コーガイ	鴻學(ひろいがくも)	コーカン	交換(とりかへ)
コーカイ	狡獪(わるがしこい)	コーガク	工學(工科の學問)	コーガン	聖丸(きんたま)
コーカイ	航海(船たび)	コーガク	後學(あとから學ぶ)	コーガン	紅顏(年若きうるはしきかほ)

コーガン	厚顔(あつかは)	コーギ	巷議(町のどりさた)	コーキョー	恒久(久しき長き)
コーガン	強姦(こゝろ犯)	コーギ	抗議(他人の説にさかふこと)	コーキョー	講究(しらべぬく)
コーガン	傲岸(いばること)	コーギ	交誼(まじはり)	コーキョー	皇宮(天子のおすまゐ)
コーキ	興起(おこり立つこ)	コーギ	公儀(おほやけ)	コーキョー	購求(買い求める)
コーキ	香氣(にほひ)	コーギ	講義(解釋)	コーキョー	號泣(なきさけぶ)
コーキ	高貴(たふとききこ)	コーギ	廣義(ひろき意義)	コーキョ	公許(おほやけのゆ)
コーキ	降旗(降参のしるし)	コーギ	強氣(つよいこと)	コーキョ	溝渠(みぞ)
コーキ	皇基(天事の御事業)	コーキ	豪氣(猛きこと)	コーキョ	薨去(三位以上の人死ぬること)
コーキ	口氣(ことばさき)	コーキ	剛毅(心のつよきこ)	コーキョ	皇居(天子の御すま)
コーキ	好奇(ものずき)	コーキョ	後宮(后妃の在す)	コーキョ	薨御(天皇の失せた)
コーキ	廣軌(一鐵道)	コーキョ	高級(たかい階級)	コーキョ	公共(世間一般の)
コーキ	光輝(ひかりかッヤ)	コーキョ	高給(たかい給金)	コーキョ	口供(くちさき)

コーキョー	廣狹(ひろいせばい)	コーク	鑛區(鑛山のしきり)	コーゲイ	工藝(美術)
コーキョー	好況(よいけいき)	コーグ	校具(學校の器具)	コーゲイ	虹霓(にじ)
コーギョー	工業(工作の業)	コークン	紅裙(あかきすそ)	ゴークイ	合計(合した高)
コーキョー	孝經(本の名)	コークン	功勳(いさを、てが)	コーゲキ	攻撃(せめうつこと)
コーギョー	宏業(大きな業)	コーゲン	行軍(軍をやること)	コーケツ	高潔(けだかくいさ)
コーギョー	皇業(天皇のおし)	コーゲ	香華(かうとはな)	コーケツ	皎潔(けつげく)
コーギョー	鑛業(鑛山業)	コーゲ	高下(たかいひくい)	コーケツ	膏血(あぶらと血と)
コーギョー	鴻業(大きなしごと)	コーケイ	紅閨(うつくしいね)	ゴークツ	豪傑(すぐれたる人)
コーギョー	功業(てがらのし)	コーケイ	口徑(大砲のー)	コーケン	後見(うしろみ)
コーギョー	興行(なふしおこ)	コーケイ	光景(ありさま)	コーケン	効驗(きりめ、しる)
コーギョー	鑛業(金ほりの業)	コーケイ	後繼(あとつぎ)	コーケン	公權(國民として一)
コーギン	合番(婚禮)	コーケイ	公卿(上の貴人)	コーケン	貢獻(世の爲めに)

コーゲン	巧言(うまいいふ)	コーコー	皎皎(白い形容)	ゴークー	轟々(とどろく形容)
コーゲン	郊原(のほら)	コーコー	浩浩(ひろびる)	コーゴシ	神々(たふとし、も)
コーゲン	高原(たかいほら)	コーコー	孝行(よく父母に)	コーコク	公告(広く知らすこ)
コーゲン	高言(大言)	コーコー	郊行(野あるき)	コーコク	抗告(上告すること)
コーゲン	廣言(口びるくいふ)	コーゴ	交合(まじはり)	コーコク	皇國(御國)
コーコ	江湖(世の中)	コーコー	港口(みなとのぐち)	コーコク	抗告(反對の申立)
コーゴ	交互(互にくみあふ)	コーコー	煌々(火のきらきら)	コーコク	廣告(新聞ー)
コーコー	鑛坑(鑛物をほり)	コーゴ	皇后(天子の御嫡妻)	コーコク	闔國(全國)
コーゴ	行伍(くみ、隊列)	コーゴ	香合(香盒)	ゴークク	號哭(なきさけぶ)
コーゴ	向後(こののち)	ゴーク	噉々(やかましい形)	コーコツ	硬骨(操のかたきこ)
コーコー	公行(廣く世に行)	ゴーク	苟合(かりそめに)	コーコツ	恍惚(うつとりする)
コーコー	耿耿(あかるい形容)	ゴーク	囂々(さわがしい)	コーコン	後昆(あとつぎ)

コーキョー	廣狹(ひろいせばい)	コーク	鑛區(鑛山のしきり)	コーゲイ	工藝(美術)
コーキョー	好況(よいけいき)	コーグ	校具(學校の器具)	コーゲイ	虹霓(にじ)
コーギョー	工業(工作の業)	コークン	紅裙(あかきすそ)	ゴークエイ	合計(合した高)
コーキョー	孝經(本の名)	コークン	功勳(いさを、てが)	コーゲキ	攻撃(せめうつこと)
コーギョー	宏業(大きな業)	コーゲン	行軍(軍をやること)	コーケツ	高潔(けだかくいさ)
コーギョー	皇業(天皇のおし)	コーゲ	香華(かうとはな)	コーケツ	皎潔(けつげく)
コーギョー	鑛業(鑛山業)	コーケイ	高下(たかいひくい)	ゴークツ	膏血(あぶらと血と)
コーギョー	鴻業(大きなしごと)	コーケイ	紅圍(うつくしいね)	コーケン	豪傑(すぐれたる人)
コーギョー	功業(てがらのし)	コーケイ	口徑(大砲のー)	コーケン	後見(うしるみ)
コーギョー	興行(おもしろい)	コーケイ	光景(ありさま)	コーケン	効驗(きいめ、しる)
コーギョー	鑛業(金ほりの業)	コーケイ	後繼(あとつぎ)	コーケン	公權(國民として一)
コーキン	合登(婚禮)	コーケイ	公卿(くげ、五位以)	コーケン	貢獻(世の爲めに)

コーゲン	巧言(うまいいふ)	コーコー	皎皎(白い形容)	ゴークー	轟々(とどろく形容)
コーゲン	郊原(のほら)	コーコー	浩浩(ひろびろ)	コーゴシ	神々(たふとし、も)
コーゲン	高原(たかいほら)	コーコー	孝行(よく父母に)	コーコク	公告(広く知らす)
コーゲン	高言(大言)	コーコー	郊行(野あるき)	コーコク	抗告(上告すること)
コーゲン	廣言(口びるくいふ)	コーコー	交合(まじはり)	コーコク	皇國(御國)
コーコ	江湖(世の中)	コーコト	港口(みなとのぐち)	コーコク	抗告(反對の申立)
コーゴ	交互(互にくみあふ)	コーコト	煌々(火のきらきら)	コーコク	廣告(新聞)
コーコー	鑛坑(鑛物をほり)	コーゴト	皇后(天子の御嫡妻)	コーコク	闔國(全國)
コーゴ	行伍(くみ、隊列)	コーゴト	香合(香盒)	ゴークク	號哭(なきさけぶ)
コーゴ	向後(こののち)	ゴークー	嗽々(やかましい形)	コーコツ	硬骨(操のかたき)
コーコー	公行(広く世に行)	ゴークー	苟合(かりそめに)	コーコツ	恍惚(うつとりする)
コーコー	耿耿(あかるい形容)	ゴークー	鷺々(さわがしい)	コーコン	後昆(あとつぎ)

コーコン	黄昏(日ぐれ)	コーサク	交錯(入りくむこと)	コーシ	講師(講義する人)
コーサ	交叉(ぶつちがひに)	コーサツ	高札(たかふだ)	コーシ	孝子(孝行な子)
コーザ	講座(大学のー)	コーサツ	絞殺(しめころす)	コーシ	公私(おほやけとわ)
コーザ	高座(たかいざせき)	コーサン	恒産(つねの財産)	コーシ	厚志(あつきこころ)
コーサイ	公債(おほやけの借財)	コーサン	降参(敵にくだる)	コージ	小路(こみち)
コーサイ	交際(つきあひ)	コーザン	高山(たかいやま)	コージ	公事(私事の反)
コーサイ	光彩(あざやかなひ)	コーザン	鑛山(かなやま)	コージ	工事(土木ー)
コーサイ	口才(べんせつによ)	コーシ	孔子(支那の聖人の名)	コージ	好事(よきこと)
コーサイ	公裁(おほやけのさ)	コーシ	行使(使用)	コージ	糶(糶)
コーザイ	絞罪(罪人をしめこ)	コーシ	公使(國命を帯びて外國に使用する)	コージ	柑(みかん)
コーサク	工作(たくみつくる)	コーシ	格子(窓のかうし)	コーシ	合資(ー會社)
コーサク	耕作(たがやしつくる)	コーシ	嚙矢(物のはじめ)	コージ	公示(おほやけにし)

コージキ	高直(高きあたへ)	コーシヤク	講釋(解義)	コージョ	孝女(孝行なむすめ)
コーシツ	膠漆(ーの交)	コーシユ	校主(學校の經營者)	コージョ	工女(女の職工)
コーシツ	皇室(天皇の御いへ)	コーシユ	叩首(おじきをする)	コーシヨ	高尚(品の高きこと)
コーシツ	後室(ごさい、又未亡人)	コーシユ	攻守(せむるとまも)	コーシヨ	行商(たび商人)
コージソ	口實(いひごと)	コージュ	鴻儒(おほいなる學)	コーシヨ	翹翔(空を飛びか)
コージツ	曠日(日を空しくす)	コーシユ	講習(夏期ー)	コーシヨ	公證(ー人)
コーシヤ	功者(たくみ、じく)	コーシユ	公衆(世の人々)	コーシヨ	洪笑(大聲にて笑)
コーシヤ	巧者(上手)	コージユツ	口述(口にてのぶる)	コーシヨ	交渉(かけあひ)
コーシヤ	校舍(學校のいへ)	コージユン	孝順(親によく従ふ)	コーシヨ	工匠(大工)
コーシヤ	豪奢(おごり)	コージユン	交詢(交際の親密な)	コーシヨ	考證(考へたるし)
コーシヤク	公爵(爵位の第一)	コーシヨ	荷且(なほざりに)	コージヨ	厚情(あつきなさけ)
コーシヤク	侯爵(爵位の第二)	コージョ	皇女(天子の女の御子)	コージョ	交情(まじはり)